

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載，複製を禁じます。

以下日記頁のみ撮影

（1月1日～12月31日）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



「一年明けて」初日の影に軒をすべる。薄霜の降りた庭土に藁で囲つた寒牡丹も勢よい姿を見せてゐる。いつも寝床できく雀の聲も何となく晴れやかで障子に映る梅の枝も花こそ咲かね、温かな影をひいてゐる。重い賀狀に交つてスキヤ〳〵へ行つた友からの繪葉書。妙高田口のあたり既に丈餘の白雪を見ると記されてゐる。ポツポツ見える江東の相撲便り。依然霸を揚るは豐國か。夜の巷路には寒念佛の鉦に交つて襤衣一枚のマラソン選手。青年の元氣こそ羨しい。

年中行事

三十日 屠蘇・雑煮・着衣始・廻禮・名刺交換會
元日 四方拜・參賀・父兄宅訪問・初詣・盛方詣
二日 初荷・書初（初夢）・初湯・初商・初荷・書初（初夢）・初湯・初商・初荷・書初（初夢）・初湯・初商・

今暁積雪一五寸満目銀世界ヲ
午後3時頃近藤寅次郎三男作二郎ヲ伴ニ年始ニ来ル
晴ルヽヲ待チ兼テ約束ノ件ヲ依頼シ且ツ雑談ニ時ヲ移シ
夕食ヲ共ニシ7時過ギ帰ル
雑煮ノ味ヲ喜ビ共ニ山ノ芋談ヲ推賞ス相
伴ヲ奈田芹太郎夫人ヨリ村芹治夫婦ヲ始メ来ル
来ル一又ヨリ送リ来ル夜食ヲ済シテ暫ク雑談ヲ交ヘ
奈田夫人ノ一行帰ル
夜十時ヨリ林城ノ予前ニテ寿美江六ト薄茶ヲ点ツ
回周辺一夜ヲ時仏ヨリ正宗弁天町ニ泊ル
来ル年ヲ存ジ張リテ度ヲ変ヘ年ノ重ネ
折ル柴ノ枝 (庚前ノ料教所ニ)
伴ヲ積ルヨリモ高ヘ初メテ
本ノ元年萌ス初メテ

朝7時ヨリ神田氏ヲ始メ奈良八武夫人来ル
午後2時ヨリ三人共ニ出ヅ正彦ヲ残シテ梅巷ヲ
シメ寿美ト共ニ年賀ニ帰ヒ寿美ハ直ニ九州
帰盤ノ為ニ親戚ノ会合ニ忙ハシク暫ラクシテ午時ヨリ
4時ヨリ迎ヒ会歌会ノ様通知アリタルヨリ以テ見
合セタリ夜一トキ妹帝ヨリ昨夜ヨリ泊リ居リ
今日ハ昔年夫婦正彦夜ノ為ニ京劇場観
覚ノ午若ヲシ置キタル処ヨリ先ニ来劇ヲ勧キタリ
ノヲシテ入場券ヲ求メ来リ先ニ来劇ヲ勧キタリ
時十九分来劇ニ到ル四時開演ト張ハシ猛キタリ
ヌシ劇ハ仇十九分ヨリ開始ス右衛門ト茶ヲ
劇ヲテ迎ヒ太鼓、賊役、幸小使、三年歳、芋ヲ面
白ク見物ス面ヒ太鼓及ヒ幸小使ヲ観テ夜ヲ
名優ノ芸ノ妙ヲ尽セルヲ以テ感ヲ深ク
十時半帰宅会十一時夜一ヲ午ヲ伴ニ吉祥寺ニ帰庄、

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

社會の今日

八時起床九時半食一汁十菜雑煮ヲ祝ヒ木村家一流ノ雑煮ノ講釈アリ

十一時頃食一ハ女子ヲ伴ヒ坂駒ノ為メ五町キタリ余ハ書斎ニ入リテ元日以来ノ日誌ヲ認ム

夕刻食一帰荘

壽美ハ今日一時正五反帰神、白河雞洋未亡人ト其娘ト共ニ為、茸ヲ狩天竹ニ宿残リ夜十時頃来荘セリ

天候 晴

社會の今日

正月は皆あそぶ日の初湯 宋序

近来稀ナ好天気温暖春陽ノ如シ午後一時壽美ト一、五田ヲ伴ヒ来村山、山口ノ新水池ニ赴リ下段ノ堤防往来自由ホテル完成シ面目ヲ一新セリ池中ニ遊泳ズル鴨家五羽禁猟ズトテリタルヲ知リ優然タリ

日なうらゝ釣文群なり遊ぶなり池の面さゝ、波もなし

下段ノ堤防ハ従来中央ノ堤防ハ自動車ヲ往来シ車ヲ進メテ知澤ノ飛行場ヲ展望シ来リシテ一両室相集ヒテ喫ヲ喫シ且ツ遊ビテ帰荘四時ト近シ往復三時間清快ヲ叫カズ

晩餐後井上逢一母堂命名ノ為メ電話アリ壽美ハ之ヲ見舞フ叫ヤ名ハ（幸ニ出産帰宅ノ通知ノ一件ノ外ノ身寒中夜分ノ行動ヲ以テ壽ト謀ヘバ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

收支	收入	支出	殘高
記事			雲雨

午前十時發車ニテ兵ニ十一時歸宅洋裝ニ改メ十一時半ヨリ社金次家庭事務所ニ支店ヨリ某町男爵ノ新年宴會ニ招ヲ受ケ

會堂ニ於テ諸員ノ祝詞ヲ受ケリ

山内豊政男ヨリ備前山ノ件ニ付來訪新年祝ヒヲ述ブ

三宅川商事會社會長ヨリ招キカ藤鮮銀條藏ヨリ書面アリ其ニ四日午ニテ二宮別莊ニ申送リタル通日露講和條約鮮銀融資ノ意思ヲ明ニセラレ一以上ハ大藏及農林兩相ノ意見ヲ別ニ其ニテ最後ノ決心ヲ述ベ外ナカルヘキヲ告ケ三宅川氏ハ一應兒玉正金頭取ニ融資ノ意思ヲキヤ否ヲ乞ヒ上井上藏相面會ノコトニタレトモ之ヒ之ヒ

四時支度ヲ終リ正月ノ祝杯ヲ受ケ七時半ヨリ壽美子時頃ヨリ悉寒發熱三十九度寒氣ト思ハルヽ何トナリ心ヲカリリ

愚迫や古き江戸裏の日水桶　朗雪

社會の今日

收支	收入	支出	殘高
記事			雪

池田、

午前ヨリ起キテ未ダ七草ノ用意モ致サヌ内ニ日ハ暮レカヽリテ六ツノ花ハ咲ク

壽美ハ昨夜下痢劑ノ為發汗悪寒ニ今朝迄三十八度五分ノ高熱アリ青柳博士ヲ煩ハシテ三時半診ノ上

井上達一郎堂今朝四時半逝去ノ報アリ十一時半頃ノ上出社

平田青木ト懇談三時半ニ引取

株主總會ニ付會社會長中ノ大阪更新株主總會ニ付會社役員ノ分前代リノ件ハ先ツ手ノ株ヲテ（壹役一人ヲヌ）交換ヲ可ト申渡リ代償モ株物七十圓見當

午後四時半若原社ニ於會圓死去ノ悔ヤ會式ノ御ヲ申込ム

五時池田ヨリ新年ノ招來ヲ受ケ飯坂八人ヨリ八時歸宅夜半ヨリ雪

七草を祝へど餅に遠ひて　ほのかに雪の香にあらにけり　西尾武仁

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

雪 寒暖 晴雪

昨夜より雪積ム二寸許 壽美今朝お伴迄三十八度
ヲ下ラズ 青柳村ヨリ電話ヲ以テ知セ午後三時
来ル筈、十八時ヤ社
八日会当番ニ付
午後一時四十五分 川上後ニ代来ル方外務大臣より 頼モ
当所 駐日露大使トラヤスキー 氏ト面語シタル模様ヲ聴
未帰夫人ハ別ニ 取ス
自ニ二時ヨリ三時迄
公二時十分前宮内省迄参ル人力自宅ニ別ニ 引キ降雪ノ
為自動車停滞混雑ヲ極ム約四十分ヲ費シテ会
社ヲ出ヅ
三時十分前ヨリ青木三好両村、仰久、其他ト共ニ伏見
町ニ、ガソリン製造、石炭ヨリガソリン製造、三五七年ノ小規
模ノ竈ヲ発明セリ 諾ス 井川村駅ニ 注意
ヲ与ヘリ 四時ニ井上馨侯来訪 即チ 風邪
相ト合見ノ人物ヲ為ス
六時某地着、後ニ於テ
八日会ニ忘レ 井上馨侯来訪ニ付 共ニ食ス

寿美昨日午後ヨリ下熱 三十七度四分トナル 今朝 三十六度
九分ヨリ十一時半ニ社 理事会列席
大連汽船会社ニ於テ田社ヤ旧藩士宗族抔ヲ集メ但ヲ少
帰行ノ告
別ニ午後四時三十分川ヨリ正金銀行ニテ五百円両替貨
幣請取ノ為メ大井大尾ノ両ヲ訪ヒ 井上馨相
八今一度紛議候ニ注意ヲ与ヘレトノ意ヲ伝
ヤハリ 馨相依頼 会見ニ依果ニ而日勘考ノ上直接ニ
川ニ会見返答スルトノ事ヲ 馨相ニ電話ヲ以テ
帰宅ノ
午後五時頃湯島 林花村ニ於テ井上馨代ヲ以テ
ヨリ来ル 三時半宗庭事務ヲ知ラセ而会
会三時四十五分ニ来ル 相ノ上ニ卿ヨリ
ノ行会ヲ以テ十七日午後一時半四相庭卿ニ会合ノコトニ確々
意見ノ交換ヲナシ 帰宅ニ来倶楽部ニ卿ヨリ電ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

正午前より晴天トナルサレド風強ク寒威後烈シ
十一時半ヨリ社
午後一時倉敷文太氏来社
三宅川南幸会長ヨリ見舞鮮銀取締役加藤氏ヨリ路ニ
御賛条件ニ付報告アリ全部鮮銀ヲ介シテ荷
為替取組ノ件ハ拒絶セラレタルコトヲ
仙石氏十二日ノ案内状ヲ発スル直ニ請ケ
午後三時半茗地ノ会合ニ赴リ晩餐ヲ以前帰
宅ノ心組ナリシモ話ノ後鳥鷺ノ碁ニ入リ十時過キ
テ帰ル
寿ヒ夫今朝二十六度六分夜分正意ニテ入浴

朝十時ヨリ十一時マデ三之川、高橋、小友ノ三氏
来訪井上蔵相初メ鮮銀トノ取引ヲ懇請スルヲ以
テ鮮銀ヨリ社ヘ来ラル筈ナリシモ終ニ何等ノ地位ヲ
授ケル話ナカリシトノコトナリ
午後四時井上真下来ル井上辞シ後リ話リテアラ
ヌ事ヲ病人ニ口走リタルニハ驚キタリ病気ニモ止メヲサリシモカヤキニハ著シ
不快ヲ覚ユ夜十時帰ル自動車ニテ送ル
昨日寒威凛烈氷点下六度一分降雨ノ兆アリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

記事	晴	欠勤	遅参	早退
摘要				

社會の全日

十一時出社

午後斗時三七川商事會社より鮮鮭か五拾箱ト松茸ノ信書ニ方捉ニ来ル通り五拾ケオールフーチングニテ渡リタリトヲリ

午後四時帰宅和服ニ改メ五時半山口ニ到リ町田農相来リ仙石、某外撰テ見ユ六時用意相伴、客田、青木、三七川、三名、三好、松田ノ六氏ナリ料亭ノトテテ藝子数人カワリ立カワリ其数ヲ詳ニセス余興ハ津田正夫ノ浪花節ナリ十一時ナリ九時宴終リ夜客退ケス田中文相ヲ待ケルモ十時ヲ過キテ来ラス依テ精ニ寒気強シ愛ニ女下ヲ一人

記事	晴	欠勤	遅参	早退
摘要				

社會の全日

工業倶楽部ニ赴キ新年宴会ニ列ス

大日会遊説ニ付キ午前十一時ヨリ十一時出社

午後斗時添田敬一郎氏来訪労働問題ニ関シ意見交換ヲナス

四時ヨリ五時迄来訪

藤田政輔氏ヲ訪ヒ印刷料（英国製ニテヤリケース持参ス）ノ事ヲ依頼ス

夜帰宅、夜迎両氏ト依頼ノ通リ満足ス（午後四時）

今五時後藤文夫氏青年会報ニ三年目ニ五千円ノ年斗百円（七百円ニセヨトノ事）ニ付会頼ニテ断ル

六時工業倶楽部ニ於ケル新年宴会ニ列ス会員三千百余人ニ成ル男子ノミ

天氣	晴
寒暖	
雨雪	

發信	受信

社會の今日

午前九時半内相宅卯ノ祝ナル失世未防止会ニ出ニ官公衛ノ宮膳物探上ケ作業ノ件（約三千万円）ヲ可決シ十一時半ニ社

失世未防止本部会

内相官邸ニ於ケル閣僚

午後四時半退出 大悦ニ於ケル会合ニ列席シ九時半帰宅

午五々喜家屋が七味唐辛子屋

花押式關江門江城を取る（大永四）　始めて濃青を置く（明一五）　上毒諸外國間諸無所給（昭和四）

天氣	晴
寒暖	
雨雪	

發信	受信

社會の今日

午前十一時半社

壽美ハ午後一時半ヨリ鳥居坂岩井夫人ノ催シヤル新年会合ニ列席ノ為

高輪卿夫人新年宴会

卿ト交ヲリ七時頃帰宅 晩餐ヲ共ニス

出社ノ途次郵船会社ニ立寄リ小松原専務ト面会

藤田政輔ヨリ依頼ノレドハンド、ペイントノローセリ千一獲得ノ件ニ付郵船ノ助力ヲ依頼シ

「ス」ニ付政輔ヲ呼ビ之ヲ伴フ

其節各所ニ於テ面談

其為メ請工ヲ十五百人以上ニ於テ

仆金寺有方風ヲ以テ整理其金ハ

郵船保証ニテ銀行ヨリ借入ノ件ヲ

仍談ス

余ハ此際ニ義盛船ト称スルノ新船ヲ

トレンとし席ニテ之ヲ見ヲ立ベ各最モ

余ハ之ヲ

仍テ此ニ道ヲ以テ双方ノ呼吸ヲ合スル

布哇群島発見（一七七八）　鐵線電設置（明七）　小型風速計発明（大正一五）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 晴 雨雪

收信 發信

朝十時板野並迎氏、来訪山口銀行向翌廿五日午後一時ニ件打合ノ件打合ノ件

正午家庭集会知ラセ有リ 新年祝賀ノ午餐ヲ列シ其ノ席ニ会ス 其他ハ午餐ヲ五時半後ニ終ル

午後五時工業倶楽部ニ於テ佐藤代表片岡、小畑高柳、竹井、名古屋代表青木錠太郎来京側代表藤条卿、井上、吉田、近友、湯浅後ニ勝ノ諸氏ト明日ノ相談ヲ為ス為メ会合ス 午餐ヲ終ル

正午某所ニ於テ某ト会食後昨日谷守氏ト演説ノ件ハ之ヲ男爵ニ告ケ置キ得タリ

天氣 晴 寒暖 晴 雨雪

收信 發信

午前十一時半出社

午後一時半内相官邸ニ於テ昨日貴族側ヨリ出席ノ来京、風、御、自分、藤条、井上毅二名、吉田宇雄、近友、湯浅武係、後回銭并勝任ニ付、近友、稲畑勝太郎、片岡谷、小畑原ニ名、高柳松一郎、竹内綱夫

名古屋、青木錠太郎

中立側、近友文慶、牧善吉郎、関直彬、添田敬一郎、前田多門、馬場鉄一

政府側 伊藤内相、吉田社会局長官、富田内閣書記官、傍聴者井上馨相、小泉逓相、田島南上次官、奈良潤四郎次官、一ノ宮内次官、其他

内相官邸ニ於テ次ノ風、片岡、藤条、小畑順ニ意見ノ開陳アリ内相ノ御ニ貴族院ニ於ケル小畑原ニ藤条、勝、高柳、稲畑之ヲ聞キ時分ヲ見テ会ハ内相ニ打切リヲ促シ九時頃帰宅

午餐 新年祝賀ニ付名刺ノ交換ヲ為シ九時頃帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖計 午前 午後 朝

食 昼 夕

社會の今日

朝十時国司浩介来訪南事ノ面事ヲ打ト共ニ従業ノ冷水並ニ蟹錐ヲ取寄ス輸ヲ付テ辨リタル方ヨリ返却アリ

午後一時兵楽倶楽部ニ到ル三時半帰ル七面髪ヲ立ツル

寿美ハ福井ヨリ不二子氏ノ令嬢ヲ観ル為メ来校能楽堂ヨリ帰来矣望ノ色アリ

裏もすなる日記始を学大型 五冬

天候 晴 寒暖計 午前 午後 朝

食 昼 夕

社會の今日

午前十一時半出社

正午後斗酒庵ニ迎来ル氏ノ依介名刺持参人事課ヲ午田氏ヲ以テ来訪ノ趣意ヲ乞ヒシトテ趣意ヲ西ベシトテ去レリトテ

若狭勝介氏来訪小半ヤリテブ、金百圓ヲ寄贈ス井上角五郎氏通信教授ノ件ス、ル事件金ノ様ナリ来ル

午後四時半御用済ニ到ル午田製鉄所長官及ビ野田校医ヨリ（ 針改善次列席一製鉄創合ヒ

「風ス目論見ヲ聴取ス」全午後四十分退出地ニ帰ル十九日今ヨリ応席十時出ル分帰宅迄及ビ来リ在リ百富来ヨリ送リ帰ヘス

たゞ、とこに朝の窓のいろのまんげつがかゝりあつた冬の朝 土岐五二

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午後一時製鉄会社重役会ヲ後ニ時半ヨリ十分ノ間ニ引続キ塩船会社重役会ヲ四時半ヨリ及ブ
午後三時半大軌会社ヨリ金ヲ
出シ桟敷ニ来ル
四時四十分退出帰宅
会後中島橋誼来訪（明日宅ニ来ル面会ヲ謝ル）由原人
事係ヨリ原稿ヲ督促セラル書物壱冊ヲ
借ル

社会の今日

午後一時半出社
本日江ノ橋ニ新築ニ
庫造成ニ付落ノ為メ午
招待ニ与リ午後
串田及ビ
米ヲ
リ来資
市長望月前田
松坂屋ニ
外ニ無尽
庫ニ
帰宅

[illegible]

社会の今日

午前十時半出社
本日ハ橋ノ新築ニ
庫落成ニ付落ノ為メ午
招待ニ与リ午後
串田及ビ
米ヲ
リ来資
市長望月前田
松坂屋ニ
外ニ無尽
庫ニ
帰宅

[illegible]

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣	寒暑
晴	

十一時半出社

本日ヨリ議院再開セラレ勅奏外相首相代理トシテ
陣臨シ立ツテ衆議院ニ於テハ政友会ハ党外首相代理
ヲ質問シ改進ハ政府ノ針路ヲ質問シ各〻其主義ヲ
陳述シ後会始末ハ別紙ニ記スルガ如シ
夕ニ至リ来訪者皆無ニ付早目ニ退出帰宅
共楽落札呉春筆 掛幅(四円)一軸(二円)雨雪四季
景梅(四枚四円)二枚共ニ幅 他一筆墨絵(五円)
天神 絵色紙(三枚四円)梨子地蒔絵(三枚
三円)萩焼茶碗花生(八円)七人手錠(十二円)ノ七
点合計弐百拾三円ヲ支取ル

天氣	寒暑
晴	

十一時半出社

午後一時半濱田益根会社ノ件ニ付来訪
社長ヨリ別室ニ於テ朝鮮水電打切ノ儀ニ
付種々ノ御話アリ尚明日ニ於テ重役会ヲ
開キ決議ノ上ニ非レバ理事会ノ決議ニ
ハ難シト云フ事ニテ帰ル
午後三時半郵船重役会ニ臨ム 社務報告会社
ノ件ニ付種々ノ御話アリ 散会後各〻ニ日清
戦争ノ話ヲ為シ 八時半ニ帰宅
夕刻ヨリ会社ノ役員ヲ招キ 各〻ニ本年四月九日外征ノ答
礼ノ為メ清国ニ赴キ 寿美ハ新田忠佗男死去ノ為メ帰国ニ赴ク

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴

風除耕盟不会
十一面談放会午後
一時半散

朝十時支村利之来訪
十一時四十分出社
午後一時半 松村憲太郎氏来訪
午後二時半 谷中斉場ニ於ケル 新田忠他男ノ告別
式ニ会葬シ 三時半帰宅 桑田芳太郎氏来リ在
四墓地ニ 晩餐ヲ共ニシ 八時十時辞去 八氏トハ 数
年ヰ会セヲサズ 式ノ進捗ヲ耳ニスルモ 依然 二目ヲ
置カセテ 好句セリ 三勝三敗呉下ノ阿蒙タルヲ脱セ
ザリキ
廿日二好室益氏ヨリ 水産問題ニ付社友ヘ叱責セラレ
タル旨ヲ告ゲラレ 社長病気ノ後退セルニアラザルヲ 疑フ

天氣 雪

曇リテ寒シ
午後一時半一人出社ヰ 庭内ヲ一巡シテ見分ス 四
時帰宅 公時半 寿美会道 新橋演舞場ニ赴ク
五郎劇ヲ観ル 頗ル面白シ 而シテ演ル処 勤善
懲悪ヲ主トスル 小泉亜相モ会場ト共ニ後列ニ
アリ 十時半帰宅 雨降リ来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

ほしいものつこ何もありません つよく強く抱きしめられることのほかには 泉 ふな子

朝九時半 御用有来訪 製鉄会社ノ件ニ関ス
山地土佐太郎氏ヨリ去ル廿四日成式 熱海ニテ脳貧血ノ為メ倒レ止ヌ 荒根腰炎ヲ起シ堀田、福田両友 其外一二医伯 今朝午後ヨリ各行セリト電話アリ
本社ヨリ通知ヲ羽鳥氏ニ依頼シ 昨晩電話ニテ正午工業倶楽部ニ参集ノ事ヲ通知セシメテ置キシ処 昨晩ニ至リ 工業倶楽部ハ本年評議員 理事事務理事ノ改選期ニ当ル因テ理事会、御大橋、中島各常務理事ノ改選ヲ為ス為メ午後ヨリ終テ午餐ヲ共ニスル筈ニテ 午餐後 御用、用、余三人昇座 製鉄会社ノ件ヲ御伝ヘ置キシ処 其後ヨリ国氏ノ意向ヲ伝ヘ 御退出後 国氏ト懇談ヲ為シ 三時半帰社 四時半退出
夜分成田秀雄氏ヨリ 横氏令嬢安東ニ入婿ノ件ニ付 電話アリ

社会の全日

清瀬氏
工業倶楽部ニ出席
帰途今ニ後藤氏ヲ訪ヒ
銀座御改造ノ件ニ付
談

昨夜半雨変ニテ列風トナリ天気ハ晴レ後リタルモ終日強ク西北ノ風吹ケリ

十二時半 社
長沢林太郎氏ヲ重役室ニ懇談会
ヲ開キ、会長沢伯ノ一日葉会長ノ件ニ付 其趣旨ヲ以テ春日ノ宴ヲ催シ 且ツ来ル二月一日ヨリ 営業ヲ再開スル事ニ決シ 其旨ヲ通知シ置ケリ

池田貞太郎氏 紹介状ヲ以テ来訪（実業家 亜細ヤ男ニ来訪）何レモ就職ノ件ニ付キ 後藤ノ履歴書其他ハ人事課ニ渡シ置ケリ

会長沢文太郎来訪 文村正場隆天保寺附近ニ石八十ニ万今暁煙失ノ旨ヲ告ケリ

四時過ヨリ其筋ニ倶楽部ニ立寄リ九時半帰宅

毒矣ハ井上連一母堂ノ三七日ノ法要ニ参列ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖計

發信 受信

午前十一時半社會社廻壽美會同壽美小共樂倶
樂部ニ到リ
昨夕中井兩作（裂銭次ニ依リ提供セラレタル冬ニ境
夏猿表其他ノ書類一封ハ先キノ日諭見書ト共ニ
松田河村ノ兩製銭取仲筏ヲ招キ自分ノ意向ヲ語シ
其取扱ヘヲ命ス
午後四時退出歸途赤坂三會堂ニ立寄リ相馬氏（大
阪市長若クハ松ノ）書面藏相ノ競馬ノ模様ヲ見
ル大阪ヨリ相馬家ト林ハ共著ヲ以テ招カレシ
ニ本氏ハ兩ノ為メ會見ヲ延期ス

雪中ノ梅
埋もるる雪併いもやの梅の軒の梅
淀殿をうち移り香のよする
夕刻より寒威烈

夜を破る國鐵の噴きくろんぼの
しみき目に似る風の上の月　與謝野晶子

天氣 晴 寒暖計

發信 受信

午前十時半社會社廻壽美會同壽美小共樂倶
樂部ニ到リ
昨夕中井兩作（裂銭次ニ依リ提供セラレタル冬ニ境
夏猿表其他ノ書類一封ハ先キノ日諭見書ト共ニ
松田河村ノ兩製銭取仲筏ヲ招キ自分ノ意向ヲ語シ
其取扱ヘヲ命ス
午後四時退出歸途赤坂三會堂ニ立寄リ相馬氏（大
阪市長若クハ松ノ）書面藏相ノ競馬ノ模様ヲ見
ル大阪ヨリ相馬家ト林ハ共著ヲ以テ招カレシ
ニ本氏ハ兩ノ為メ會見ヲ延期ス

雪中ノ梅
埋もるる雪併いもやの梅の軒の梅
淀殿をうち移り香のよする
夕刻より寒威烈

灯の影に降り積りはじめ雪の音　綾水

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴　温度 摂氏 華氏

起床 晴　就寝 晴

十一時半出社
午前一時三妓倉庫にて会社の慰安会ありしが八分余興にて
会一時半三妓倉庫にて会社の慰安会ありしが八分余興にて
会社時半前倉庫帝都加藤義三郎氏日出子
午後四時
帝都夜典に於ける支店（一月廿八日付）
工業倶楽部例会
午後四時
有志と市内某料亭にて
帝正幸ニテ執行ノ筈
会四時工業倶楽部ニ到キ倶楽部ノ例会ニ出ス
浅草并ニ玉ノ井ノ娼妓ヲ大多数ノ従来ノ例ニ
等ニ補欠ニ止ム 終テ国式ト割烹ニ
コフレ 五時半頃出 帰宅 久本清十及政輔来リ在リ
北日共栄港（北九州）ハ点ヲ取ル（山中氏）
浪ノ雀料亭支庫（松川）新湖ホ点山水大阪（松川）紫鷹
青貝入盆（斗斗屋）鈴島椿楼楼中四郎（八国松家）
支那座等楼楼中四五（四円）右今宝五隻帰四松政行
一次ナリ（一三円八〇銭）糸目蒋絵松ノ葉十重七円八〇銭）

泊 玉春日屋（二二円）

天候 曇　温度 摂氏 華氏

起床 晴　就寝 晴

雪空ナリ午ヲ降ル十時頃止ム
朝九時半藤田伊三郎氏出記下依頼ノ件ニ付来訪
十一時半出社
午後四時ヨリ友ノ会ニ馳セ告別式ニ参列ノ為メ早ク
キ会半帰社
御用金割製銭合同ノ件ニ付未決ニ付夕刻ヨリ
三名会業会長ト朝鮮興業会社ノ件ニ付打合ノ積ノ
能見ヲ陳述セシガ不ト決ニ付三井ノ小林ハ大橋ニ
ヲ練ラスルコトヲ
四時退出帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



雪解　蓋をしておく硯箱のなかの硯石にさへ薄氷を見た日の幾日かつゞいた。古老の話にきく四十何年来の寒さとやらはこゝ湘南の避寒地にも稀な降雪さへみせた。枯芝のなかに蜜柑が黄ばみ、椿は真紅の花のかずかずを緑の葉からのぞかせる。雪の切れ間から暖かな日が流れのやうに照り出すとどこの軒からもポタポタの雨のやうな滴。折々は固つて屋根を滑る雪解の響。それも懐しい春の訪れの先驅に思はれる。窮では頼白がもう啼いてゐる。

行事

一日　枚岡祭（河内・綿戸祭（日待）・饒人形賓出始まる・二高記念祭
二日　聖燭節（雛祭マヲケの酒醪を供ふ）・二日灸
四日　節分（京阪地方では此夜の夢を初夢と称して年中の吉凶を判ず）・初午（稲荷神社祭礼）・春日神社萬燈籠始・鉄鉾鳥神社祭礼・厳島神社祭礼・四十七士忌（泉岳寺に於て法会あり）
八日　正月事納・針供養・初午祭（雷除祭）
十日　太平洋婦人展覧会（～十五日）
十一日　紀元節・二笠山焼き
十二日　四條畷祭（河内）
十四日　深川八幡新年祭（～十八日・深川八幡祭）
十五日　涅槃会・西行忌・火焚（護摩）・高野山常楽会
十六日　日蓮上人誕生会
十七日　天神祭・契神忌・法然上人御忌・日本橋及兩國に雛市立つ（～廿三日迄）
廿六日　八専
廿八日　利久忌（茶人是れから行よ）

○中等諸学校入学試験期日発表さるゝ筈（別掲）・分類職業別電話帳発行
○中等諸学校入学試験期日発表さるゝ筈（別掲）・分類職業別電話帳発行
友の訪問又は贈の整理反古調べなどをなす。

二月異聞　**牽牛**　漢語、ひこぼしの意味。　**眼鏡の改善に希望いたしませう。**

季寄

時令　春の雪、淡雪、雪解、春嵐、春寒、除寒、下萌、春浅し、青麦、春霞、霞、岩燕、鶯、雲雀、魚上氷、つばめ、早わらび。

花　梅、椿、寒紅梅、葉牡丹、木仙、迎春花、金縷梅、パピアナ、ガラントウス、アルボコデユーム、シラリス。**魚鳥**　鰯、鰊、鰒、月刺、浅蜊、鰹、鳥貝、貝の柱。小鳥、鳩。**野菜**　蕗、蕨、八ツ頭、慶菜、うど、蓮根、里芋、三つ葉、蕪、独活、ぜんまい。

外異　春ほこりの梅から動く。東京杉田、久地、水戸公園或は月ヶ瀬、金無谷等半開の風我人多く、また軽暖の郊外に線菜、蕗の薹など見出でゝかすかな緑に興ずる者も尠くない。川崎大師、成田不動尊、大阪或神社等節分豆撒式見物。此夜行はる奈良春日神社の燈籠二千、寒路二千燈一斉に点火の大行事で都やかにもまた壮観をも極める。初午祭には滑稽服を抱ふべき見童の狂言あり。天神祭囃ひ、鐘市鎌香する。白魚網、たなご釣り。太平洋婦人展覧会早春の上野公園を彩りて賑ふ。

梅の名所　（編集部調査）（梅園は二月下旬から三月上旬頃）小石川の梅（小石川植物園梅林）・向島梅屋敷・亀戸天神・水戸公園（水戸には三百種の梅林）・久地梅林（神奈川県）・川崎大師河原・小田原（見晴台下梅林）・熱海梅園・静岡梅林（静岡の名物梅林）・静岡梅屋敷（見晴台下梅林）・静岡梅園（静岡梅林）・静岡梅林（静岡の名物梅林）・静岡梅園（静岡梅林）・静岡梅屋敷（見晴台下梅林）・静岡梅林（静岡

天候 晴 晨 曇 寒 暖

記事

午前十時五十分出社

午後一時半福沢桃介氏来訪昔儘但会長出勤ノ必要ナカルベシ旨ヲ告ゲ帰ラシム

午後五時工業倶楽部ニ於テ国民ト会合銭会可ノ来ニ対スル態度ニ付キ懇談ヲ遂ケ国民ヨリ金六千ノ分ハ来ル十日迄ニ支払フ事ニ決ス

午後七時半散会

午後一時半ヨリ銭相自宅ニ国業劇ニ関シ打合セノ為メ来訪ス

一、銭相ノ持株ハ銭相自宅ノ

受信	晝	書	夜
發信			

卿大卿俵商相ト
会見 午後五時

明日濱幸侯令、於予邸奈首相代理荅弁、尚ホ政治（海軍大臣問題ノ件）ヲ注ダモノニシテ失言ヨリ幾瑞大混乱ヲ来タシ収拾カラザルノ混乱ニ陥リタリ為メ、閣会トナル

十一時半在

午後二時川上日露在京来訪リーブル問題ノ件露大使トラヤノスキート懇談ノ模様ヲ報告了進渉ノ見込ナレ大使ハ三十七銭迄ハ譲歩スルノ意アルヤノ如シ川上ハ非常手物値段ニテ一万五千迄ハ譲歩スベキヲヒント物語レリ

午後二時工業倶楽部ヨリ招キ明日江木鉄相ト会見ノ段取ヲ荅ヘ、小畑（汪日）勝ノ件ニ付荅ヘ置キ其午順ヲ定メ自分ノ代リニ三菱（二代ヲ出シ（国民病院ヲ欠席ス）従前ノ人数ノ外ニ九州北海道神戸ヨリ各一名ヲ加フルヲ主メタリ

午後五時御男邸ヘ赴キ俵商相、中井次官、岡田叔父ヲ対シ御寄席ニテ久シ宴ヲ開キ、夜ニ入リ三井ヨリハ団氏ヲ招カレ

天氣 雪

昨夜半より雪今暁積ム事二寸
午後三時川井電機支店より此日重役会ト市況ノ件報
告アリ
今午三時針生会長より江木銭相会見ノ模様ト今朝
宇垣陸相官邸ノ模様並ニ午後川崎氏訪問ノ模様ト
会ノ前ト騒乱ノ為メ会見ヲ得ザリシ顛末ノメリ
会此時半退出支度、於テ会合ニ臨ム十時半帰宅

天氣 晴

朝十一時半会社
松田製鋲支店より小槌製、鋲外提出ノ書類
ヲ返却ス、
高橋商事支店より日着送状ノ計算ヲ聴取ス
松岡均平来訪ノ見
武田電機会社ニ日電気工業会社ニ廻シ会理
谷中島鍛冶より根岸ノ鋼ヲ受ク
午後三時永井外吉次女(松太郎)来訪ルーブル相定
ノ件ニ付談歩ノ金地ヤキ不ヲ引取ル様ニ申聞ケ
ヲ約ス引キ取リ後ニ金地ヤレ此上ハ政治的解決外
ナシトノ意見ヲ述ベ次官ニ頼ム苦心ノ辞ヲ毒ス
夜後帰ル市役所ニ立寄リ明日ハ血ヲ見ルニ至ラザル
本日モ引続キ市会ニ出会ヲ乞フ
カリシ政党ハ基礎ヲ堅メ
四時半退出床屋ニ立寄リ帰宅 寿夫八十後江

戸竹倉庫ノ見物ニ出ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 曇 寒暖 昨夜 今朝

發信 受信

八日会 福井中島西氏
幹事、江木鉄相
被待 話

午後四時宅ヲ出デ三好、小友、板本、三氏ノ病ヲ
見舞フ三好重盛氏ハ風邪ニ引キ愛テ昨朝病ト
今朝カ養中カ板氏雁男氏ハ風邪全快今日鳥店
改メ、開キ不在リ故本店ハ面疔盛田博士ニ掛カリテ
加減危険ヲ脱シテ退院シタルモ未タ床中ヨリ起キ
ス子供ハ皆全病情ヲ聴キ五時半帰宅盤ヲ取リ祖
井氏ノ招キニ応ジ行キ来集スル者大橋半田、御
内藤中島、池田、浦氏ノ外ニ藤山西氏欠席六時頃
江木鉄相見エ貞山ノ講談アリ鉄相ハ議会ノ権動
取締ノ件ニテハ時半退席 会員中ニテ意見ノ
交換ヲセシ十時半帰宅

天氣 晴 寒暖 昨夜 今朝

發信 受信

板垣 榎本 陸奥 京来訪
公人帰神ノ便ニ托シ
島村久雄ヨリ金
午後ヨリ踏返ス

發信 受信

晴 曇
山下彦次郎氏来
後青山春陽亭ニ開
ヨリ工部省
仔有代麦母堂
金五十後病平ヨリ
ニ付

朝十一時青山春陽亭ニ赴キ山下彦次郎氏ノ告別式ニ参ス
セシ 十社ヘ此日余ト前後シテ高橋フロリノ服装ニテ山
本権兵衛伯ノ令弟ニ当ル人ノ後輩ニテ山
工業倶楽部ノ幹事ニ来訪
午後一時芳町男爵子家庭事情知ル所ニ依テ製鉄会ヨ
リカル注意ヲ報告シ尚製鉄会ノ目論見書ヲ渡ス
リ公時男爵ヨリ呼ニ来ル依テ赤坂
断ニ帰宅ス
午後 時半ヨリ商事会社ノ定例会ニ臨ム重要案件
多キヲ以テ仔藤信彦母堂ノ葬式ニ会葬ス事ヲ得
ス青木君ニ代理ヲ托ス 浅草ハ三時半ニ終リ其内ニ池川
銭工所ヲ訪ヒ仔ノ 紅川芳介ヲ訪ヒ仔ノ 場ニ依頼ス
四時半ニ松板組ニ到リ仔ニ澤田鐘所社長病気全所
ニテ加養中ノヨシナリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昨夜半ヨリ雪降リ今暁積ル事仍四寸 終日降リ止マス
六時頃ニ至リテ止ム 新旧ノ教ハ如ニコレハ日本洲全体ニ
亘リテノ大雪ニテ大阪一人神ノ立ス、大阪ニテモ積ル事六寸
以上淺草一八五寸廿八日ニ降リ積リ候ハ、ニテ吹雪ノ為メ明石海
峡ニテハ仏船ト(三百斗ノ船也)ト瀬戸内ニ数百ノ船舶ノ碇泊リ
後者就中淺草ニ於テ舎屋ノ内潰ル、モノ凡ソ千余ノ由 死傷
実ニ無数ノ事ニ候リ

午前十一時半出社

午後九時 山口、斗キ仍々木貴之助 青石井徹ノ(銀行頭取
変迭ニ就テ新旧(教区)廻ノ意ニ添ハサル者ヲ主人トシ取勢
トシテ、半田、青木、三宅川、三善、瀬下、前、横、手部、赤星
三橋、山宮ノ捲人未着ハ仍々木石井両主着ノ外牧田、大
澤明石、浜辺、西岡、伯雀ノ会興、主着ニ有ラス、寧ロ用談時
ヲ移シテ九時半頃散ス

帰途 住来ノ寒威凛烈

発信 大雪 雨雪
着信

受信 発信

発信 晴 雨雪
着信

受信 発信

寒サ稍ニ為ル 昨夜ヨリ飲酒ヲ今朝十時迄ニ休ム
タリ本日ハ仁矢ノ也

夕刻 美介大帰春ス 泳一ト共ニ来訪
春美ハ仁矢ノ住吉ノ甘竹中、春生、亀山ノ内銀座
ヲ集メテ 加宝木荘ニテ催シ在リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半社債の不審に就き疾病を見舞
午後四時辰吉康島角次郎氏訪問 全快明後十二日頃
神戸着

午前十一時半社
午後四時辰吉康島角次郎氏訪問 全快明後十二日頃
神戸着

雪晴

今朝雪積ル事一尺近来未曾有ノ大雪昨夜十一時ヨリ
文園社他銀座街ニスキーヤーノ跳梁ニ任ス
十一時半ヨリ社
午後一時ヨリ村尾太郎氏来訪
三七川南事会ノ件ニ付打見
午後四時新吳楽ニ赴キ伴暮会ニ臨ミ生田氏ト午合七一番
五時半ヨリ悦ニ於ケル打合セ会ニ臨席十時半帰宅

晴

午後五時半所用ニ赴キ男爵西会理事会ニ出席ス
事会ニ案ヲ呈シ其他委員会ニ席ニ懐談ス
五時帰宅
八時半富田幸次郎氏ヲ来訪代官山ノ私邸ニ訪問シ方
面ノ合併ニ関シ意見ヲ交換ス十時往ス
島村秀雄ヨリ千円ヲ支援シ度旨ノ懇切ナル手紙ヲ
受ケ取ル
小林茂神戸ヨリ帰京庭石三百石ヲ購入ノ件ニ付
電報アリ

九時半栄楽ヶ参り森屋様ニ而八ヶ井様ニ而、午後拾一、高須屋ニ而文七並家ニ而ヲル（「ヲル」の上に「ヲ」を重ねて書いている）
（「ヲル」の上に「ヲ」を重ねて書いている）

午前十一時銀行重役会ニ出席会所ニテ午餐ヲ共ニシ十二時半工業倶楽部ニ於ケル実業団ノ会合ニ列ス運動費用ノ分拠ヲ有実投文ヲ以テ打合ス処アリ御用邪ヨリ到ル銭合四ニ来ノ今後会役ヲ望断ヲヨリ午後二時帰社仝半刻会ノ信托会社重役会ニ列ス
（「ヲル」の上に「ヲ」を重ねて書いている）

新波直船常務ヲ招キ研究所ニ来項ノ合理化ニ付藤井専務ト意見ヲ交換ス

午後九時退出共栄倶楽部ニ立寄リ六時錦水ニ於ケル復興調査会ノ徳川会長ノ歓迎ノ宴ニ臨ム後ニ来リ

ダル六中重内相ヨリ松室致顧問ヨリ顧問本会役内相ト打合中脳溢血ニテ急逝セル旨ヲ報ス徳川会長ハ能役者松本某外二名ノ陳期セル会ニ出ニ十時過ニ一番ヲ以テ帰ル

（「ヲル」の上に「ヲ」を重ねて書いている）
（「ヲル」の上に「ヲ」を重ねて書いている）

徳川公爵ニ而ヲル（「ヲル」の上に「ヲ」を重ねて書いている）

正午土社
午後一時製鉄会社重役会ニ臨席
仝五時半坂本一氏故川渕氏孫正美ノ仮座
書村氏就職依頼ノ事ニ付来ル
某官衙男ヨリ二井会名職制取調ノ件ニ付一時見合セノ
電話ヨリ
製鉄会社仝役田原豊氏来訪本期損失金処分ノ
相談ヨリ数本ノ様ニテ決定ヨリ帰ル
島像一氏次男就職ノ件ヲ依頼ス様用ノ意ヲ以テ
仝人ヲ見送ル
四時半過ギ
高工会議所ノ常会ニハ奥村政雄氏出席

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝来雪ヲラント降リ来リ午後雨ト変ジ夕刻晴レ模様リ

十一時半妻笑ヲ入交高科ヲ送リ正午来京会敏ノ祝ケル全国実業団体ト日本商工会議所ノ午餐会ニ臨ム会スルモノ約百二十名テザートコースヲ入リ稲畑副会頭ノ祝杯ヲ次テ余ハ実業団体ノ代表トテ全ク祝杯ヲ述ベ組合法制ニ関シ技ヲ開陳シ仕来会員ヲ激励スル旨ヲ大川平三郎、青木菊太郎金夫庸夫、井上敬次郎、吾口宇雄ノ諸氏ト共ニ帰宅ス

午後四時半民友社ノ依頼ニ応ジ帝国ホテルニ於ケル同社ノ忘年会ニ出席シ、船田会業常務ヲ見四時五十分退去、此日共楽巻札時代増銅春日章(七枚五円)ヲ受取ル

午前十一時半社ノ依頼ニ応ジ某団体ノ忘年会ニ列席シ午後四時半民友社ノ忘年懇親会ニ出席ス

此日上州公爺ノ金百圓ヲ贈呈ス

ヲ川見シ本人ノ銀盃ヲ受

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信 岩崎 宛先 久邇宮殿下 鶴峯

午後六時頃

久振りの好天気より昨夜来半風邪心地より大事ヲトリ午前中休ミ午後一時ヨリ社

午後四時退出帰宅ス時半服装ヲ改メ再ヒ久邇宮ヘ殿下ヲ伴ヒ参上朝香王殿下今回ノ御任地ニ付テ御見合依頼ニ就カセラレタル件ニトンテ左ノ事項ノ御了解ヲ得サセラレタリ晩餐ノ陪食ヲ終リ左ノ如ク相談ヲ済シテ席ヲ帰リタリ会後中松安川、大川、牧田、大脇ノ諸氏ヨリ祝盃ヲ挙ケラレ十一時ヨリ劇場ニ入リ観劇ス十時ニ退席ス

可愛い男がそこらにいて足を洗ってくれるといいのに。そこの川原がなるほどね。 三島由紀夫

発信 雪雪 宛先 殿下

午後六時頃

刑馬ヨリ電話ニテ就寝前御依頼ノ件ヲ話ス

朝来ホツトセシモ午後ヨリハ寒ク雪トナリタリ

十二時半社

午後御用ノ為メ時半ノ汽車ニテ出発ス

松村善太郎氏来訪

十時田一枚ヲ見

午後四時退出寿美ト共ニ帝劇ニテ「シラノ劇」ヲ観ル

殿下ノシラノベンエウロー恋ヲ柳ユルノ仕草ヲモ宜シク

松葉ノ口ヨリ

寿美花ノクリスチーヌニ良シ

お国六三郎、長兵衛、綿ニ川岩共ニ善シ

作事ヨリ十時半ハネ

ルンペン一番ふ意ヲ感ジタリ

山内お鯨汁

昨夜ヨリ又寒ク下着ヲ着用ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

二月二十二日

天氣 雪
寒暖 記載

朝九時起床其頃ヨリ雪ヤフヤト降リ出タリ
本年ニ入リテ降雪已ニ八回ナリ
午前十時前久保庄ニ到ル帰暖十分道、引橇ヤ
堤正義氏ヲ帰ス十時半頃ニ至リ道未ダ正ニ暖ト
信濃橋迄ハ引橇ノ為メヨリ
雪ヲ為メ終日引籠読書ス夕刻雪積ニ三
寸ス

又曇ヤト百往ウむきりし

楠川ニハ午後直庫祿蔵ノ件ニ付氏ニ入家住氏ヲ借
金ノ件ヲ依頼ノ件何レモ断リタリ

二月二十三日

天氣 晴
寒暖 記載

午前十一時出社午後ヨリ集会ニ列席来廿七日午後一時ヨリ
区会議所ニ於テ全国実業大会開催ノ事
午後一時半帰社
今村正美氏ヲ訪ス
午後三時寿美ト共ニ高輪ノ邸ニ到リ先代夫人ノ
三回忌ノ法要ヲ営ム
四時帰宅五時五十分山口ニ於テ牧元会、臨ム三人
各席ヲ定メ風邪ノ為メ欠席高砂ノ
師ヲ持ス二七川氏ニ代理ヲ依頼ス今夕欠席
武田、三宅、三竹、能見山田、五氏出席七名例ノ席会
終リ余ハ大石、雪里ヲ送リ伯雀ニ帰宅午後十
時ノ会ニ列リ十時帰宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 曇 晴 晴

今朝ノ日々新ノ、陸軍中将中島正武氏昨朝五時肺炎ノ為メ死去ノ報ニ接シ直ヲ見テ驚リ氏ハ豫テ近衛師団長ト一緒ニ仕ス退職後賀陽宮ノ武官ヲ務メ居リシ人ニテ人望アリ

十一時半出社、

午後一時、造船重役会、全員時報室ニ重役会ニ列ス、

四時半代々木四ノ九五二ノ私邸ニ中島中将ヲ弔ス門前ニテ大谷良太郎ト会合相伴ヒテ訪問遺骸ニ告別シ五時半帰宅

帰レバ赤中工務店ノ小林父在リ寿美ト共ニ私室ニ(火鉢)ヲ入レ新ラシイ炭ヲ継ガス

夜ノ寿美、鮫川、斗リ志村深太郎氏ノ会葬ニ香奠金若干集ル旨人ニ通ス、

天候 晴

午前十一時ヤ社、

午後二時、第一部コリノ症患ニテ家庭事務ヲ執リ居ル所、突然ニ池田成彬氏ヨリ呼出シノ電話ニ付参ジタル処、最高ノ機密ニ付秀廣ノ事トス、

此日寿美ハ内田小井上邸ヘ斗リ

午後四時半退社ス、自宅ニ会合ニ臨ム、十時帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝十一時壽美ト合筆共樂倶楽部ニ赴キ若干ノ入札ヲナシ十二時廿社

午後早ク天照式来訪

全村会長ト市ニ支村ニ場二月分複命表提呈

翌日新ノ野田氏式来訪

午後四時半退出帰宅途次拠筆

大久保利通公五十年祭ニ参会事業聯文奉呈ス

午後四時

茨城県護国神社ニ於ケル

郵船重役会

午後五時

全国実業大会

南工会議所

午後一時半

午前十一時廿社理事会ニ出席

午後一時ヨリ郵船会社ニ於ケル重役会ニ列ス会後各役ト

日露炭業会社ノ役員候補ニ付、桐島、前田両氏来訪依頼ノ件、投炭商船ノ件ニ付懇談ス

中島正武氏来訪ノ件ニ付電話ヲ贈ル

四時退出帰宅

全国実業大会ハ奥村正雄氏ヲ代理トシテ出ス

夜分ヨリ降雪小積ル

乃木石氏ヨリ拓来ノ英煙草ヲ贈ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

夜来ノ雨暁ニ至リ午止ム十一時半社
午後一時十分山内豊政子来訪ス婿高山ノ親戚農林
大臣ヨリ招待ニ依頼ヨリ政友会ニ出席ス相談アリ
午後六時帰

折リ返シ
午後五時青山墓地ニ於ケル中島元武中将ノ告別式ニ
臨ム白川大将以下陸軍ノ将官大勢参列ス会ハ午後一
時ヨリ始ル町田ト会ス会スルヨリ直ニ上野ニ赴
キ二時五分田中義一大将ノ霊柩ヲ送ル
午後五時五分田中義一大将ノ霊柩ヲ送ル
世話人ニ旧作賜大覚楠公座像ノ油画ノ大額ヲ
贈ル代金五百円也此社会ハ堺市ニ於テ
筆ト金ヲ関ヤ他ニモ楠公ヲ祭レキ処アリ五百円前
ノ楠公ヲ眼前ニ行俳タラレム余ガ大金ヲ贈ル所以ナリ
此日其筋倶楽部落礼雑具七百九十二点ヲ支取ル事
午後上海ヨリ帰ル



啓蟄 彼岸 **春分** 社日

三月大

季節 猫生・櫻月 春情月

誕生 歳へる園子の旅や 山 笑 ふ 七 面

六日（後十時三分）
十八日
廿一日（後十一時七分）
廿四日

暦 ㊋満月 四日 ㊌下弦 十一日 ●新月 十九日 ㊊上弦 廿七日

春日遅々

（ゆるやかに）
雛子江岸の館も 暮くれぬほのに昏ばむ、
ゆるやかに流るゝ水に 遊ぶ雲うかみては消ゆ、
あゝ遅日静寂のかげ
（村風の静かな守る）
村風は水平遠ひて 長堤に 犬ゆるく歩めり。

早春 ほろ温い風が吹く大師道、六郷の川つぶちでは鶯がないてゐる。畑の土も温かく萠らみ野芹の青い葉も見え、河原蓬も土手に生えた。鐵橋の下では子供たちが水へ入つて雜魚を捕つてゐる。電車道には新しい借家が増え、そこゝゝにトンカンと鑿の音が和やかな空氣にひゞく。自轉車を飛ばす小僧さんも威勢よく口笛を吹きならし、尻からげの百姓も晴衣で町に出る。菜種の咲いた遠くの畑道を五六臺俥が通る。どこの與入か。花嫁さんの"簪"が日にきら〳〵光るのが見える。

行事

一日 繰り上げる・雄子山鳥捕獲禁止・帝國大學記念日・木花開耶姫祭（富士山頂上口）・奈良東大寺二月堂修二會
三日 上巳節句・雛祭（自分の女の子の健やかな成長を祝ふ）
六日 地久節・庚申
七日 陸軍記念日・金比羅大祭・申子
十三日 春日祭（大和）
十五日 梅若忌（隅田川の梅若伝説で名高い梅若丸の命日）・己巳
十八日 彼岸入り（仏教では春秋二季の彼岸会を行ふ時期で、この日を中日として前後三日間を彼岸といふ）
廿日 陸軍定期異動發表・商船學校入學試驗施行
廿一日 春季皇靈祭・神道春季大祭・仁和寺高雄詣
廿四日 各學校學年末休暇・社日
廿五日 北野天神御忌・蓮如忌・聖母祭・植木市（東京神田平小路川）
廿六日 各學校卒業式
廿八日 品川千體荒神祭（廿七日とも）

○學齢兒童の入學準備の中學校の入學試驗の室内競技の擧行。

衛生 兒童に還元期（農家）住宅内外の整理整頓擧行。

三月異聞 はかりか各自の家に備へませう。

季寄 〔兩仝〕春雨、春水、遲日、陽炎、春暖、春の海、春の山、春の宵、鶯、朧夜、水温む、霞、若草、雉子、陽炎。〔花〕木蘭、海棠、春蘭、辛夷、木瓜、桃、杏、梨、金絲桃、山茱萸、瑞香、まんさく、李、木蓮、フリージヤ、アネモネ、アラセイトウ。〔魚類貝類〕鰆、鰯、鮒、白魚、さより、蛤、赤貝、蜆蛤。三月大根、分葱、京菜、鶯餅、草餅、菜飯、木の芽田樂。

外興 東京近郊・谷、大阪倉治等桃花見物。浮間ヶ原、戸田ヶ原等摘草摘み。六阿彌陀詣でに彼岸の寺へ詣に樂も一二輪は笑ひて身に恰かも浮土に專かるいから盛がある。遠足、ボート籠漕。菜の花多圃を彩つて郊外遠ふ。大阪堺江には木の花踊りあり。池上本門寺開帳・旅には奈良、桃山、播州松めぐりなどよく、また中京寺に參詣して平泉に判官館の遺跡を探れば衣川の末路に月色最りて感慨殊に深い。安行村植木の遊覽。わらび折び、土筆老ゆ。

桃の名所 川崎大師河原・越ヶ谷・市川・野田（以上東京近郊の桃林名所にて最も盛期の四月初旬ごろが最適である。）古河桃林・藤塚桃林（以上武藏國埼玉郡より武里驛下車日光街道を約一里ばかりにある。）古河桃林・藤塚桃林（以上武藏國埼玉郡より武里驛下車日光街道を約一里ばかりにある。）平鍋大桃林（東武鐵道・安樂川桃林（和歌山縣那賀郡より粉河驛下車）

彼岸櫻 上野公園・鳥見總持寺。

摘草 蕗薹・筆頭・土筆・蒲公英・菫・蓬・蕨・薇・芹・三葉・蕗・蓬・蕨・薇・芹・三葉・蕗・蓬・蕨・薇・芹・三葉・蕗

冠	天	寒	暖
晴			

晴ダレた爪痕し

午後3時前何卸ヶ坊ノ甲斐来廣農場ヘ到キ不在宮奈ヶ紋柏卸ヶ規ヶ来ル処ヘ上野来ル美術館ヘ到ヶ日ヶ美術院及下村観山處作展覧会ヲ観ル観山氏ノ枝打ハ五浦時代ヲむも勝レタルガ如ク覚エカ作ハ映ヶヘトハ殆ンド見ルヲカラス筆カヶ赤下リ枝し如ヒ如シメ刈築地ノ会合ヘ席九時半帰宅

冠	天	寒	暖
晴			

今日ヶ来爪庭し十一時出社

午後長州岩船知ノ河合ノ新旧所労ヲ川見ス河合氏ハ来宗落トシテ川崎ヶ来リタルヲリ

近衛忠熙公ヶ長森村美明氏ヲ信介シ来ルニ依テ面会ス外客相談ノ為メ来ルモノ入会ノ商務ヲリタルニ等ヶ午後ヘ席ヲ立ヶ

午後九時半茨会館ヘ参リ会ル者千石男、某地男、一条公、岸信実後、井上通泰、宮見友右衛、中松盛雄、池田成彬、秦春道、樺山資英、秋山定輔、堀内信次、柳条但、佐伯林太郎及会ヲリ拾五名ヲリ会ヲ支木会トナリヶ毎月第一木曜日ヘ会合時半ヲ決スル事トスヲ時半帰宅

此日寿美川ヘ豊原氏来ル人ヲ訪ニ并セテ賀何ニ人ヲ訪問雑納ヲリ観ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十一時半出社
倉敷文太氏支村利雄未訪引見
午後四時半退社帰宅

春雨降り気温昇ル
十二時半出社
午後社員一同電燈会社重役会ニ臨ム
信ノ大丸田喜一郎未訪不永談
夜業会社返職ノ依
頼ヲ容レ帰宅ヲ告ゲ
午後五時服部金太郎氏ヲ訪ヒ件件協会ニ臨ミ午
後十時帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 降雨

十一時半出社

午後一時三菱銀行役會參集可決事項左の如し

午後四時散會

午後五時半船田氏公道池田に於て五日會に陪し

十一時歸宅船田氏ト対棋二勝二敗

歸宅スレハ龍川茅介特使宿より二十位川錢五拾圓

送り且つ有かた書手ト祈禱ノ模様報告ヤリ雜

談十一時ヲ過テ辭ス

五日會

來賓 美濃國俳諧會

本部役會ヲ以テ役會ニ

正午 終

三月六日 節句 地久 庚申 本曜 申歳

天氣 晴 寒暖 降雨

午前十一時半出社壽山天祖祭ノ為會社退會

午後七時濱口保理ヲ私邸ニ訪問シ中島秘書官

ヨリ其ノ病狀ヲ聽リ十日出院ノ決心悲壯ナリ可成

出院ノ期ヲ延ヒヒテリ貴院ノ諒解奉希望ス淺ヲ辭期

スルノ辭退動ヲ來リ合セタル件ハ多善男氏ト打合ス

リ置ヘキヲ以テ夜方二十分中ノ保理ニ面會ヲ遠慮トテ

歸社途中家庭事情知ニ入リ其件男ト四日呈

出ノ服裝ヲ作ル淺ス

九時歸宅竹中工芳ノ小林來リ居リ

夜分二面ハ工業部員會ノ賛成ヲ以テ

太郎氏理事ヲ辭リノ書面ヲ發ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昭和 四年 三月七日 晴

午時工業倶楽部内実業国体促成会ニ赴キ貴族院
ニ於ケル対策ヲ協議シ午餐ヲ共ニシ斗酒宮社
斗酒半鮨川茅舎来訪日ヲ芝浦ニ要飛核販賣促
進ノ件ニ付語アリ川井、大内両氏ヲ招キ其ノ意見ヲ叩ク
午餐ヲ終リ茅舎ト面会其行違ヲ謝ス
帰途伊藤博邦卿ヲ訪ヒ今氏ト面会次男清水男爵
ノ妻死ニ対シ弔意ヲ表ス男爵ハ益田信垂ヲ経テ
故ト新利貸ノ手カリ三万有余ノ負債ヲ為シ死ヲ決
シタリトテ四時半帰宅
夜分共竹ノ妻八来リ家内ニテ金子ノコト地一反ヲ賜
ル

昭和 四年 三月八日

午後六時某地帝都ニ於ケル八日会ニ於ケル藤山氏ノ外皆
来会ス今枝氏病気ノ為山本達雄男ヲ招待ス九時半時
ヲ過ギテ散

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 暖

十一時十社

午後四時来宗会館ニ於テ久奈恭子ト挙式ヲ行ヒ引続キ
結婚ノ儀ヲ神前結婚ノ式ヲ行ヒ午後二時挙行セラル 余夫婦媒
酌人トシテ祝詞ヲ述ベ式終リテ宴ニ入ル
午後五時半過ギヨリ来賓来リ始ム 集ルモノ伯五百伯在
横浜ノ金持リ七時宴席ニ移ル宴終ル頃雑村人
トシテ立チテ新郎新婦ヲ祝ヒ長口舌ヲ振ヒ主人久奈
ヨコキオロハ高瑯柏午大喝采 来賓ノ内破天荒ノ仲
介振ヲフル 鎌田逆吉ガ来賓代表トシテ祝詞ヲ述ベ
夫婦仮太刀ノ後取リ 献杯ニ取上ノ物メダルヲ時トリテノ
座興アリキ十時過ギニ至リトル

天候 晴 暖

御式案内自宅ニ
午後五時半頃

朝陽ニ式ヲ挙ゲ、来ル
十一時十社
心時半過ギ花和服ニ改メ午後六時御式ニ移リ
ハ製鉄会社ノ関係シタル者ノ祝賀トシテ催サレタルモノニ
主賓佐南相中井製鉄会長ハ田舎次官、国中
副校田 野山内長文 舎リ下等ハ驚ヒテ桂文
治ノ新キ柔道着ノヤリ音 驚ヒリ十時退出

天氣 晴 寒暖 記錄 欠勤 遅刻 早退 欠席

午前十一時半社

午後第一時半下社 晴 久米夫婦 新部新婦 合計六人

午後四時半ヨリ 久米氏ノ家ニ於テ將棋會ヲ開キ 余モ其會ニ加ハリ 九時半歸宅

午後第一時半社

午後第一時半下社 晴 久米夫婦 新部新婦 合計六人

午後四時半ヨリ 久米氏ノ家ニ於テ將棋會ヲ開キ 余モ其會ニ加ハリ 九時半歸宅

天氣 晴 寒暖 記錄 欠勤 遅刻 早退 欠席

午前十一時半社

午後第一時半下社 晴 久米夫婦 新部新婦 合計六人

午後四時半ヨリ 久米氏ノ家ニ於テ將棋會ヲ開キ 余モ其會ニ加ハリ 九時半歸宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 記錄

會合の時日

朝十時半島井及卯

今朝島井及卯より電話ありに依て十時半会卯より
面会の約束ありに付午前
時特急にて出京す及卯も同行
社長と共に午後一時半より
社にて自ら取扱ひたるものと
外務省文化部長
三井を三菱ビルに訪ひ
三時半退出帰宅

天氣 晴 寒暖 記錄

會合の時日

午前十一時半出社
午後汽車にて東京着
三時半芳川卯と共に
今三時半芳川卯と共に
直ちに池の端の会合へ
四時半退出帰宅

天気前朝
午後六時ヨリ寿美ト共ニ吉祥寺ヘ行キ七時帰ル
夜分ハ得座ヲ清書ス

天気晴
朝十一時半ヤヤ社
今村正美氏就職依頼ノ為大生川村病気ノ為辛棄氏
ヲ以テ見合ワル旨ニ付依頼取消ノ往状ヲ出ス
午後一時半武政山古氏ヨリ社会員京大名誉教授足立
文彦博士動脈素統ノ研究発表ノ為メサキニ共十七院議員
ヲ支給シ引続キ静脈素統研究発表ノ外印刷費
二分国援助ノ依頼アリ帝劇理事ト状後ヨリ五年間
ヲ三ケ年ト分配ノ件ノコトス
神吉幸次氏ヨリ幸雄ヲ以テ（再三懇ヲ）就職依頼
ノ為来訪 人物ノ点採用難ニ付ヨリ断ヲ電報ヲ以テ
会社ヨリ大内愛七氏ヨリ後ヲ選ク
午後四時退出帰宅
四谷税務署ヨリ二月十五日付 知事住ヲ指出ス
侍従武官西川武満中出ス大地処税賛成書ヲ並ニ差押
又ハ命令ノ件ヨリ付 仏国共ニ政府会ヲ以テ公時ニ大
神社鳥居書面ヲ出ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	発信	通信	摘要
			暑雨

十二時退出社
午後一時創刻 鉄室役会ニ臨ム
山内豊政男 楠田男爵 就職ノ件ニ付来訪 堤人事課長ニ取次ヲ命ス
暫時退出而降リ来ル
午後二時森田悠紀子ヲ伯ヤ壽美ト三人水入ラズニテ晩餐ヲ共ニス 悠紀十八才月廿九日久泰丈夫ト結婚ノ為十時森田母堂迎ニ来ル

受信	発信	通信	摘要
			晴

午前十一時ヤ社
午後四時 茅町邸ヨリ帰ル 三時半末廣、農場ヨリ帰ル
ラレタル男爵ト有合セ役員ヨリ返事ヲ待ヘ 五時辞去ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信	着信	変更	訳記
曇午飛			

午前十一時出社

午後三時半退出光悦と交代り本日の会合ヲ延期し四時半新橋驛ヨリ電車ニテ横浜ニ赴キ本夕浅間丸ニテ帰朝セラルル筈故本日若シクハ、来廿一日迄ニ七時半来京驛着帰宅

発信	着信	変更	訳記
寒暖 晴			

午後ヨリ晴

午前十一時出社

午後一時長岡寺ニ於テ井上侯爵候、十七回忌会大夫人十三回忌勝之助侯三回忌ノ共通前条ニ依リ執行法事ニ列席三時半出社四時半光悦ニ於テ内田山邸ニ会合ニ臨ミ十時過帰宅

五葉倶楽部会ハ井上延期ニ付キ病気ノ為此期ヲ延ルタリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣	寒暖	風	雨雪
晴	暖	微	記

春來室寒糸り
正次午前八時神戸より出京
午前十時 来訪
午後春芙正友会面 神宮外苑、慶早、東大明治大
午ムラグビー見物、夕五時過歸宅此間午睡
歸宅後昇庄正友佑檜し午下ノ意如ヲ乳ス

弘法大師入定(承二) 鐘ヶ淵の放歌(天正一一) 鳥山線開通開業鐘(昭三) 電車通ずる(昭三)

天氣	寒暖	風	雨雪
晴	暖	微	記

大阪發午後六時卅分
行會四南通ヨリ 桜
井山田間ノ山中ニテ
春雨 新

午後五時ヲ以テ帰宅 岩井基次ヨリ来信 林
伯修夜来訪モ見ヘラレタルヲ以テ歸宅ス在面会セス正四ノ下来
井ヲ先ツ春雨ニ依シ歸途 桐島氏ヲ訪ヒ
正友ハ本日 0時半下ノ列車ニテ歸神
公翁各勢ヲ一部ヲ以テ 歸神
佑檜 夜ヲ徹シ 三月廿九日 翁ノ十三回忌
春雨ノ暗セラル

詩人ゲーテ歿す(一八三二) 貴族の公爵昌力篤定方定を定む(明治一七)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

曇晴

青暖癒カニ至ル此朝社長ヨリ午餐ヲ梅午ス高町トノ会合ヲ傳ヘ来ル来轄横ノ一助トシテ貴族院議員タランヲ望ムトノ事

十一時半出社ノ途次家庭事務処ト交渉ノ大要ヲ醸リ

社ニ於テ午前ノ会合ニ基キ処理ト面会

午前零時半社ニ於テ午前ノ会合ニ基キ処理ト面会スルヤ直ニ返事ヲ為スヲ得ス帰社ノ上ニ非ラサレハ決定シ難キヲ以テ一時退出後依頼ノ私邸ヲ訪問シタルニ面会スルヲ得ス雄辛トハ遭難後始メテノ面会ナリ

癒痍ノ状痛々シク久保ノ件面如何ニモ十ツカシゲナリ往訪ノ趣ヲ裏ヲ以テ全快ノ上交ヲ以テ御申合ニテ辞ス鳥居及郎ニ当キ其ヨリ当町ト外渡後社長病著停職ノ件残金也帰金来迄仙石武ノ病気ヲ参私邸ヲ訪フ

晴

午前十一時半社

午後四時半退出望地支悦ト称シ会合ト称シ席（社）

暮一十時半帰宅

此日青天ハ茶ノ水高ヤノ六千余円ヲ以テ店ニ藤田悠作（友吉）ガ依代（友吉）トシテ母校ニ対スル賛辞ノ謝状授与ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時ヶ社

吉植庄一郎氏保介ノ千齋北小路資英氏後来ラス
午後五時帰宅改正六時帝国ホテルニ於ケル各務男
爵一郎養嗣良輔ト松田道一（大保）三女ノ祝言ノ結婚披露ノ宴ニ臨ム 来田岩藏氏夫婦 媒妁ヲ
余ハ仙石氏ニ代リテ主賓ヲ喝セル媒酌ノ新夫婦ノ紹介ニ次テ来賓ヲ代表シテ祝詞ヲ述ベ大喝采ヲ博ス 歌ニ
ハ神遠ノ部ニ於テ千松ハ林権助男ニ浪花節ヲ演ジ午後十時半帰宅

午前十一時ヶ社

今十二時廿分工業倶楽部ニ於ケル各務家、奈良、夏野
三氏ノ送別午餐会ニ臨ム三氏ハ日本絵画研究ノ為
表ニテ ソレントニテ開カルヽ国際美術会議ニ
ヌル者ナリ

午後五時帰社 常盤町ヨリ電話アリ家庭事務ヲ
ヨキ男爵ト面会ス 常盤ニ話ス ニハ疾ク太君入社
ト聞ク由ニテ社メハ来三ヶ月間此期ニ及ト度トノ社
長夫人来訪話アリタリトノ
望ミハ捨ヘタリ
五時帰宅九時祝盃ヲ挙ケ全廿分発ノ後来ニテ
午下ス 車中一事ヲ窃々タリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴曇 寒暖 記事

午前九時三十六分三宮驛着直ニ常盤ヘ入ル
午後四時共田ヨリ新築ノ模様ヲ視ル山鄕嘱吹キ
メタリ郎内ノ神除行在ヨリ
立奈芳六来山 就職ノ件ヲ自個ノ意見ヲ傳ヘ島
津淙井氏ノ能リ相談スルト申置リ
七時歸宿

天候 晴 寒暖 記事

午後二時再ヒ共田ヨリ来ル正六ノ歸山ヲ得テ早作ヲ
保レ正六ノ午飯リニヲル西条ヨリ来キ島村条雄村瀬
康雄、井六人ヲ以テ長井夫婦ヲ訪ヒス長井ハ正六ノ
親ヲト君ニ外茶名ヨリ入浴ヲ催ニテ北庵ニ細君
豊二十余道トハヒヨリ放鳥カサレリ
七時半歸宿
壽美ヨリ来翰川村ノ年度欽納葉事春ノ支成シ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

風寒シ終日外出ヲ見合ス正午島村秀雄来訪ス
為メ午餐ヲ共ニシテ語合ヲ
夜十時五十分ヨリ高士ニ下
本日来京シテ久拿夫人ト悠紀子ノ結婚披露ノ
十八正六ノ帰ト十サントシ双方其意ヲ
為其意ヲ達スル事ヲ数日前ヨリ
感激無量夫夫帰ル
故老ノ中佐ノ長女若干ハ本日入江十吾ノ令嗣ト
彼ノ若林会釈ヲ
ダリ寿美ハ単ニ其席ニ列リテ

午前八時四十五分下ノ陣有
杉若松吉庶長増田門司吉庶長上田
ヲ共ニシテ大吉ニ入ル両陣リ来ル午餐ヲ共ニシ各
陣処ヲ辞セリ
夕刻高島茂吉秋庭帯刀武末訪谷陣処ヲ
十時半辞シ来ル
ヲ共ニシ辞去ヲ共ニス
九人

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

[illegible]

午前十時若松氏ノ家
会社重役会

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天氣 曇晴 寒暖 風位 雨降し

晴 曇

朝八時半神戸着 直ちに上陸 車中神戸発着共に大久保智恵子と共に 会葬ス 神戸駅にて八幡沢田氏令息と同乗 軽部来訪ス 為替事スル 会ス 午後五時 沢田氏より 荻原善六氏来り会ス 世文也 処分件 打合 松本市花トリ 折衝ヲ依頼ス 伴フテ帰宿 田中会長 支店長ノ待合ニ 招ハレ共ニ 晩餐ヲ 喫ス

此ノ山本外交ノ私父直 ノ事 沢田ト 話ヲ 来リ面会 好文ト 外注意スル 処アリ

天氣 晴 寒暖 風位 雨降し

晴 曇

一木会

服部正次（金太郎ノ甥）遠来訪ヲ 被ル 東京会館ヲ 夜食ヲ 共ニ

午前十時半 同司法助来訪 蟹工船 発禁ヲ 販売ノ

一夜 砂ノ為メ

午後一時 島村氏 堆及 掃溜床 堆来訪 半時 話ス

三時 長田ノ 参リ 四時 会ス 山本直 武ト 対面ス

六時 辞ス 帰宅 待受ケ 明日 和歌山 行 覚ノ 時刻ヲ 打合セ 帰宿 面会 中栗田、大久保、西那三氏 来訪

夜半 俗客ノ 為 治ラズ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

皆晴

今日八神武祭日一天雲無ク遥拝ノ式ヲ行ヒ八時半五分神ノ御前発島村秀雄、正友、幸心、草川大夜ト分レ時十五分梅田着自動車ニテ進行、途中十時発、南海電車ニテ行ク和哥山市ニ到着十一時着天王寺ニ久保井先輩ノ出迎ヘヲ受ケ四人連ノ案内ニテ先ツ伏山竹垣城ノ天守ニ登リ遠望ヲホシイマヽニシ大ニ新和歌浦ニ到着海岸ニテ午餐ヲ認ム如ニテ三名招友信ヲ始メ十二面会ス時分ニテ旧和哥浦ヲ見物シ紀三井寺ニ参詣久櫻花々盛リニテ賑ヒ観楽ス三時半分所ヲ下リ四時半和哥山駅ニ到着ス三名ノ連中ト分レ四時半汽車ニテ何レモ帰行ニテ午後十時十五分ノ急行ニテ大阪ニ着ス秀雄、正友ハ幸作ニ分レテ帰宿ス晩餐ヲ共ニ呼ブ

晴 曇

柳ヶ瀬ニテ二升ヲ一枚購ヒ帰ル

山陽おそい午ねん 卅半 漸

午後五時共田ニ到ヒ五時半建築用係ノ職人二十五名及ビ我ニ名、外ニ共田、赤坂、共三助ノ三名ニ用意ヲ命ジ置キ、四合入樽ニテ一瓶ヲ各自ニ給ス皆大喜ヒ乗リ込ミ、勝ニ任セシ（上二人二升、並二升）ヨリ外ニ兼後十時ニ名古屋ニ到ヒ、共ニ市ニ泊ス共田ニ各五円ヲ与フ六時帰宿八時半五分ノ急行ニテ東上、秀雄、康雄、秀雄ノ下宿ニ泊ス、共ニ共ニ天ヲ仰ヒ、山ヲ語リ、乗リ込ミ二ノ宮ニ八時着、乗用ニ大久保見送ニ来ル四人部屋ニ一人ニテ占領

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前九時東京驛着　直ニ
自動車ニテ官邸ニ入リ
次デ宮中ニ参内シ
午後一時退出官邸ニ帰リ
濱口首相今午前一時入院
虫垂炎ノ手術ヲ受ケ
経過良好ナリトノ
内閣ノ永久安定ヲ
祈ル旨ノ祝電ヲ
発ス
午後九時半ノ列車ニテ
東京ヲ発シ帰京ノ
途ニ就ク

午前十一時ヨリ社
交倶楽部ニ於テ
午後二時ヨリ閣議ヲ
開キ次デ宮中ニ参内
午後四時退出官邸ニ
帰リ直ニ
午後四時半ヨリ
各省大臣次官会議
出席

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨日ニ同シ

午前十時中野ニ開ク来ル九州日報社新築費援助ノ件ヲ以テ四松ヲ園内ニ招キ十七万円ニ不足ノ分ヲ園ニ弁ス八千円ヲ園ニ於テ支出スルコトヲ決ス

永倉太郎、福寿寿 遥ヲ限ル相談ス

来ル会議ノ後寿司

午後二時ヨリ第一日ノ 来訪

会ス時ニ葉俱楽部ニ於テ国府、大橋、内海、坂東ノ諸氏ト産業組合促成ニ関シ懇談ヲナス 内相談ヲナス時中堅ニテ来宗会議ニ於ケル永原伴蔵出男太郎ト福泉八郎三女寿福子ト 笑倫 挨拶ノ後ノ宴ニ臨ム江木銭相乗客依代トシテ扶杉ヲ為シ余ニ干杯ヲ促ス 余一言ヲ加ヘテ和歌浦極楽神社ニ半支ケル神符ヲ新郎ニ与ヘ唱和セシメ寿美会伴リ

天候 晴 寒暖 昨日ニ同シ

午前十時ヨリ園ニ於テ風雲会 基機技一郎氏 出海ヨリ帰宗

正午出社

午後九時退出共楽倶楽部ニ立寄リ 茶地帯鞆ニ於テ 八日会ニ臨ム余ハ後ヨリ幹事ヨリ会員十人全部出席ス 寿美谷山平吉二郎氏 時勾ニ席ニ着ス 意見ヲ交換シ十一時帰宅

八日会幹事 日分及出欠

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 気温 湿度

午前九時半首相官邸ニ於ケル文政審議会ト閣僚（第次ヨリ三番）大政翼賛会ト政府ノ件

午後五百円ノ予算ヨリ支出ノ件ヲ得ル立案斡旋ヲ国ニ移シ之レニ依ル工業大ニ発展ヲ加ヘ更ニ積極的ニ政策シテ

決定会大臣ヨリ次ノ件

文政審議会ニ於ケル会議ノ件ヲ審議スル為閣議ヲ開キ

次ノ件ヲ決定シ

天気 曇

朝十一時壽美会集会所ニ於テ例会ヲ開キ出席別紙用意ノ如シ（席ニテ一人ニ付テハ其他ニ百七拾円）賞状ニ時ニ芸妓仮装部ニ於テ事務理事会ニ列シ産業国体国語ノ規約ノ審査ヲ了ス

午後半出社三時電機会社ノ定例会ニ出席

四時半退出山口ニ於ケル武田秀雄氏ノ祝賀ノ為メ例ニ依リ余ハ幹事ニ当リ余ハ幹事ニ当リ余ハ幹事ニ当リ

八時半帰宅

若槻内務次官武男爵ノ叙セラルル事ヲ新聞紙上ニ見ル

午後八時ヨリ祝賀会ヲ開キ余ハ祝詞ヲ述ブ

有志ノ諸君ヨリ祝ヒノ品ヲ贈ラレタリ

武田氏ヨリ祝宴ヲ山口ニ於テ開ク

天気 雨晴

夜来ノ雨ヨリ模ノ如シ午前十時半ニ起床洗面ス

十二時半壽美ト共ニ青山八口知氏ノ能舞台ニ赴ク

福井千代子ガ能舞（仕手者為清十）ト卿トニテ宗盛ヲ勤メ舞台ニ入ルヲ以テ其勤止視察ニ為メニ千代十八歳ノ候補者ヨリ撰ビ入ルヲ以テ其勤止視察ニ為メニ千代十八歳ノ候補者ヨリ撰ビ入ルヲ以テ其勤止視察ニ為メニ千代十

午後一時帰宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 記事

天皇陛下會正殿ニ
内相及ヒ

朝十一時半青山斎場ニ於テ 提督ノ葬別式ニ臨
ミテ出社
午後一時半信託會社ニ重役會ニ列ス
午後四時半退社歸宅
夜會樂村政相ヲ來訪
正夜ト稱シテ十八日夕歸京
ニテ見合トナル
本日歸宅ノ際名刺ヲ
通ス

天氣 晴 寒暖 記事

回除紙ヲ以テ
部特別本會ヲ夜
一時半散會ス
尚ホ葉樹會ヘ

清水組ヨリ長男内
來ル會ヲ夜十時半

欠席 理由

增島六一ヲ以テ
仰セ付ケラル

欠席 理由

午前六時余起床洗面朝食ヲ終ヘ新橋相葉秋ト見ス
午前十一時大和村ニ在ル基機新任首相卿ニ謁仕
候名刺ヲ投ス夫ヨリ本心大學ニ渡日前首
相及ヒ松方氏ノ病床ヲ見舞井ノ首相夫人及ヒ島
來風次ヨリ注過ヨリ病状カンバシカラス
十二時ヒ社
午後一時半會社ノ臨時重役會ニ臨ミ人事ヲ要ス
可決ス
倉敷文太氏來訪
午後三時日ノ出ニ於ケル增島六一郎氏ノ風在會ニ臨ム式
ハ明治十二年以來五十年間ノ永護士ヲ祭ルモノニテ
先ツ會長ノ式風辭ヲ讀ミ次ニ會ヲ催シタル式ノ即ハ日長寿ヲ判
ノ卿内ヨリ一ツ二十七名ノ寿ヲ内村松喜安氏等ハ人ノ取
ノ遺跡ニテ乃木卿モ亦其ヒトリ
六時壽美ト共ニ伊藤風ニ於ケル（文部卿）ノ晩餐ニ赴ク

福岡縣二等式事内務大臣ヨリ依頼ヲ會ノ招宴ニ臨ミ九時半歸宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

今朝櫻内新居工大臣、新任ノ挨拶ニ見ヘラレシ件巻末ノ為メ出勤ノ途次三田松坂町ヨリ郵ヘ立寄リ

午後一時我道次官青木周三氏仙石氏ノ件ニ付来訪

会三時衆議院議員中村高寿氏、東洋文化奨学協会ノ件ニ付来訪

午後一時頃ヨリ書類ヲ三件宗秩ノ後ニ満足セシ

三菱合資銀行会長串田万蔵氏ヲ訪ヒ、岩太石油新株（旧株ノ半数）ヲ割当ル事ニ確定セシ件ヲ奥村氏ノ意見モ聴取上

決ス

四時半退出帰宅

営根志免税務署ニテ死去ニ付葬祭用供華ノ件ニ付、神戸三宮大久保商事支店長ニ依頼ス

天候 曇

日本鉄道会社総会ニ付午後一時頃ヨリ出席ス

午後四時半ヨリ上野精養軒ニテ

新事、借地借家調停委員（永久会）

ノ懇親会ニ出席ス

今朝十時正六神戸ヨリ着

本社ノ途次同愛十二時半ヨリ社

午後一時ヨリ三井川崎事務所ニテ三井川崎事務所会長、三井恒三氏（スリーンズノ件）引見

四時半退出帰宅

四時半ヨリ正六福井千代子見合ノ為メ

矢方ハ福井ヨシ命ノ妻千代子、相談人ハ吉方ハ夫婦

正六ノ外立会住、矢木栄雄夫人ノ五人ヨリ坐席ニ於テ見合ヲ

ハジメテ開会ス（東京会館）見合ノ結果、両方共双方共ニ

モ異存ナキ旨ヲ申出デ双方共ニ外ニ異存ナキ旨ヲ

申出デ双方共ニ異存ナキ旨ヲ

仍テ式ハ来ル廿二日午後一時ヨリ芝紅葉館ニテ

挙行スル事トス

十一時帰宅ス

正六ノ意向ヲ以テ明日正式ノ申込ヲ

スル事トス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気 晴 雨 雪
気圧 計
発信 受信 交換

福井家ヨリ左ノ如キ正式ノ申込アリ

今朝早ク箱根ヨリ帰キ新栄ノ見合ヲナス筈ナリシモ此日ヨリ左ノ如キ命ノ為メ見合セアリ

正六ハゴルフニ毒矣ハ三日木(大島)ニ御出掛リ午代ト懐妊ニテ福井家ヨリ左ノ如キ正式ノ申込アリタリ

挨拶ハ(五和)

天気 晴 雨 雪
気圧 計
発信 受信 交換

福井家ヨリ正式ノ申込

午前十一時半社

高松局事実ヨリ日露談業ノ模様ヲ報ス

本日ハ新宿ニ於ケル観桜ノ催アリテ左列ヲ見合セタリ

樺山資英 日露談業 交渉関係ノ件ニテ未訪会ガ

外務次官林ヨリ交渉ヒタル報告アリ

四時退出 天神下星岡ニ南湖ヲ訪ヒ山水ノ大観 晩餐

筆耕信股ヨリ大阪又玉章ヲ以テ福寿草ノ万成

咲ノ半切ノ依頼ノ件ニテ来訪会ガ

帰庵 十時帰宅 毒矣ハ鎌川ニ泊リ十九日ヨリ

北朝正庚校ノ為メ大木青木ヲ以テ福井ヲ代ト

ト面度ノ面会ノ為メ福井家ヨリ青木夫人ヲ以テ正式ノ申込アリ

正六ハ一時ノ特急ニテ帰神

木井郵便局社

(五和)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 午前十一時青山斎場ニ於ケル田辺海三郎氏ノ告別式ニ
午前十一時青山斎場ニ於ケル田辺海三郎氏ノ告別式ニ
會葬ス十一時半ニ社ニ憂保険ノ重役會ニ列席
正午工業倶樂部ニ於ケル全国産業團体聯合會
組織ノ會合ニ臨席 午後ニ帰社
午後六時帝國ホテルニ於ケル産業團体代表者懇談會
兼新聞記者招待會ニ出席 歓迎會ニ臨ミ主人側ヲ代表シテ挨拶ヲ
(草稿)新大臣歓迎ノ辞ヲ述ベ之ト共ニ櫻内幸雄氏ノ答辞ヲ
聞ケリ 散會ハ時半
正六ノ俥ニテ青木宋雄氏ト倶ニ依頼ノ会式
快諾

天一保銭ヲ ら ら (草稿)(昭一保銭)　表紙裏岡宮松雨下駄雨絵図(元治明)　表紙裏神川健訓社(元治明)　高松雨下駄雨絵図(五和昭)

天氣 雨 午後 羊肉
夜分、竹ノ小林ヲ病
院ヲ見舞ヒ次ニ人
来訪 其由ノ意見発
ノ取扱ヲナス
大隈カラ仏ヨリ
ノ書
青木宋人来訪
(二後出所)

正午ヲ社
午前後一時半 内ヶ所作ニ赴ク(前日改刀ヲ以テ庇ニ傷)式来
所授與ヲ接助ヲ以テ金九千圓ヲ贈與ス
君ヶ勝ニ赴ク式来訪金百圓ヲ贈與ス
状況ヲ貿易ニ於ケル会頭御祝ヲ
為ス式ニ委員ヲ以テ聯合協議ヲ一年
為ス式ニ委員ヲ以テ聯合協議ヲ一年 散會ス対陳
情ノ為メ来訪三宅川商事会長ニ面会事情ヲ申陳
ニ日半ヲノ両人対出会後ニ宅川氏ヲ招致シ両人ニ
ヲ説ヲ書ヲ
日本ヲ自動車ニ会ノ為ニ正確ヲ
附金額行違ヲ以テ
賜工業倶樂部ニ主幸ヲ以テ働調査部長ニ内海氏ヲ後
任トシテ会ノ為ニ得リ来訪ス
大島郵船副社長ニ河村金次後任トシテ名内者ヨリ来久世男爵
ヲ相談ニ来リ度相ヲテ河村氏ノ会見ヲ得セシムル事ス

五時退出高島座ニ至リヨリ和鍋会ニ出ス三百八枚何ヲ貰物ス

来信の下書を請うに応じ私に為す寄贈をなすをヲ禁ず(昭和明)　論家事事業紀念館(五和昭)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気 晴 気温 摂氏 湿度

国立公園協会理事評
議会(協会ニ於ケル)
(午後六時ヨリ会食)
出

耶馬渓ニ於ケル連絡ニ付打
合(柏垣大佐)
出

午前ニ於ケル会合ヲ終リ本務
ニ復ス

昨夜良一生母大塚かつ女来訪良一懇伐(幸竹保ト)ニ付
打合セノ為メ午後帰宅ス

朝十一時三菱銀行ニ赴キ重役会ニ列ス

午後一時半霊南坂ノ某町男爵家庭事務所ニ訪問ス
(柏木君ハ出張ニテ不在ナリシヲ以テ)柏村今朝時柏村正作
氏ヨリ電話アリ

柏村善太郎氏来訪、小倉清六氏ト共ニ
三菱鉱業会長、船田会計課長、船田製鉄常務引
見

五時退出

帰宅

夜分幸坂又帳来リ大塚かつヨリ礼状到

天気 曇 気温 摂氏 湿度

電報宣伝会ニ午後出
席

帝国劇場会ニ前十一
三会堂
出

午前十一時半出社 川前ニテ斉木夫人ト出会フ

午後一時半山下汽三郎氏来訪 故内山之成氏ニ付
北海道パロー牧場ニ二万五千坪ニテ山石炭家ニ貸
屋シカ又ハ六万円位ニテ譲渡ノ件山下氏宣伝某依頼ヲ
受ケタルニ付内意ヲ含メリ従来ノ来歴ヲ
述ベ双方共ニ将来ヲ考慮スル事ニ決ス

午後五時頃宣伝会ニ臨ム本年ノ職業ニ付説明
アリ

五時退出九ビルニ立寄リ六時新喜楽ニ於ケル鉄
鋼協会ノ招宴ニ臨ム午後内相外来賓ヲ名ノ時
半頃散会ニ帰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 接記

午前十一時廿分出社秦氏会京高島屋ニ於テ昼餐終ル

正午工業倶楽部ニ於ケル理事会ニ列席引続キ近ク竣工本邸代表トシテ倶楽部ニ於ケル天氣ノ送別午餐会ニ臨ミ理事長ノ代リ送別ノ辞ヲ朗読ス一時五十分退出時尚逢レタルヨリテ内相官邸ニ廻病根渋沢栄一氏ヲ訪ヒ会合ニ臥カズ三時半帰宅

渋沢栄一氏ヨリ書状ヲ以テ昨日ノ書記ヲ依頼ス

今朝九時半江木鼓相ヲ訪ヒ作三帝氏援助旅券ノ来ル

三條信三氏来訪会長名刺ヲ以テ面会ヲ求ム

三條信三氏来訪会長名刺ヲ以テ面会ヲ求ム之ヲ謝シ帰シテ時機ノ来ルヲ待タム

天氣 晴 寒暖 接記

午前八時十五分熟睡行を起行ニテ直田会伴箱根ヘ勢リ湯座着十時廿五分其間汽車時間半程ニテ港花ヤリト見ル外小浦谷ノ吉野櫻モ満スガ如ク不及湯座一面ノ山櫻ハ十分ノ一分ノ程ヲコラン江日ノ雲ノ洋リカ如シ別荘ニ入リ鈴木親方ト会合新ニ来ノ場所ヲ有スル相撲ヲ会後直田ヲツレテテーブルカーニテ半雲山麓ニ上リ昼餐ヲホテイヤニテ下山又勢リ乗ノ金額ヲ定ス

荻太郎ヘ金壱百三拾円、家根屋、三〇、水道電燈共四〇、荻太郎給料共仮会九〇、金三百円

鈴木、(金六百円 清算会計十五百円ノ残金五百円ノ内ヘ残リ壱百円也

合計九百四拾円也

四時十五分下山五時廿五分ノ汽車ニテ帰京七時七分東京驛着直田ト分ト帰宅

明日正八未例ノ如ク家族喜親類喜日録壽帳書等ヲ書シ夜半ニ及ブ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

印紙貼用ノ事

記載ノ金高

受取 | 證書 | 雇 | 雲

屆	寒	暖	晴
記載			
受信		発信	

午後三時頃ヨリ壽美ハ来訪ノ筈山栄校ヲ伴ニ三時
ト覚悟シ出掛ケタリ
午後三時栄陽ヨリ母人ヲ訪問シ正六ツ時ニ帰宅
ヨリ坐ニ、あさりり
四時半頃出ル若地ノ二升合ニ庭ニ十時帰ル

屆	寒	暖	晴
記載			
受信		発信	

三菱弁業室役会

午前十一時四十分出社
午後一時三菱弁業室役会列席先期ノ配当ヲ五分
ト決ス
工作公論ノ為内
来訪川見
午後四時頃（若松栄陽）宣役一千息（呉吉氏花（石福岡）
香典ヲ松円ヲ添ヘ
ヲ贈ル
三菱川商事会長第花町開催ノ件ニ付松田副総裁
所先期決算ノ件ニ付川見
四時半退去帰宅
来月廿五日佐幡校醸ノ余興トシテ琴縁児川口秀子
交渉ノ件ヲ山口ヘ依頼ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



晩春初夏

一晩春初夏　短い花の盛りは慌しく過ぐ。宵闇に散る残りの花の憐しさも束の間、地に萎した紅い萼、の雨に打たれ風に揉まれて幾日も経たぬに、もう葉櫻の世となる。かくて藤に、牡丹に、芍薬に、燃える如燭の花に、絢爛な草花の装ひが地上に色を競ふ。かるい微風にセルの肌心地もよくなる頃、夕暮は甘い匂やかさに充される。その長い薄暮に郊外を散歩すると童話の家のやうな赤屋根の洋館の窓は開かれ、薔薇色した花笠の燈かけから夢のやうなピアノの洩れいづる音をきくのである。

行事

織女祭で武者人形を飾る・労働祭・鴨川踏　端午の節句（菖蒲湯、よもぎ酒、粽、印地打、菖蒲打、つり菖蒲、菖蒲の花、初松魚、更衣、葵櫻、遅櫻、麹雨、羽蟻、立夏。花卉：牡丹、夏木立、空、羽根草、金盞花、芍薬、薔薇、罌粟、一八、燕子花、忍冬、石竹、鈴蘭、金雞草、卯花、藤、金雀花、天女花。魚貝：鰹、たなご、黒鯛、鯖、鰯、穴子、鯊、鱚、赤貝。蔬菜：筍、蕗、蕨、豌豆、馬鈴薯、蚕豆、ちさ、苺、バナナ、夏蜜柑。

季寄

時令　新樹、若葉、鯉幟、菖蒲湯、よもぎ酒、粽、印地打、青梅、つり菖蒲、菖の花、初松魚、更衣、葵櫻、遅櫻、麹雨、羽蟻、立夏。花卉：牡丹、夏木立、空、羽根草、金盞花、芍薬、薔薇、罌粟、一八、燕子花、忍冬、石竹、鈴蘭、金雞草、卯花、藤、金雀花、天女花。魚貝：鰹、たなご、黒鯛、鯖、鰯、穴子、鯊、鱚、赤貝。蔬菜：筍、蕗、蕨、豌豆、馬鈴薯、蚕豆、ちさ、苺、バナ、夏蜜柑。

外興

若葉山溪流走る西東、伊香保、筑波、奥秩父、霧黄、走馬、高遠の城趾に杖を曳く。老楽路くべく

天候 晴 寒暖 記事

午前十一時半出社
寮士吳軒ノ通リ本社六階ヨリ飛降リ自殺
自身ノ社外根伴人實ノ基礎人名等ヲ作成ス
午後五時金田中ニ於ケル地方官根伴ノ寮ニ主人トシテ
出席ス 次官、小山茶典、高橋新聞社長、赤木
吉田社会局長、次田警保局長、赤木 白崎、唐沢秘書官、柴田大阪府知事ノ十名ニシテ
盛会ナリ十時半退出
福井夫人ヨリ今伴青木夫人ト共ニ朱祝(午後一時半)
壽美應接

受信

会員ヨリ 新

午後四時 新

国際聯盟第十回総会ニ関スル件

受信

五二会ニ午後五時ヨリ橋本社長会談

地方官根伴候田中

天候 晴 寒暖 記事

午前十時橋野正精支那ヨリ帰リ来リ正ニ午後一時ヨリ
晩餐ヲ招ク旨申出アリ根伴人實ノ出張ヲ心ル
午後一時半帰宅 吉祥寺ニ赴キ獅子ノ真盛ヲ賞ス旨
ニ本ヲ廻ヘ五時帰宅
箱根別荘家具ノ内食卓椅子取ニ為ニ浦来
訪(夜)椅子拾脚百三拾円食卓五拾円ノ見積リナリ
午後十時橋野ヨリ両氏辞ス

受信

受信

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

朝十一時ヶ社
午後壽美浅ノ七ヲ方ニ餞別ノ為ヶ午后ヶ
午后四時半帰ヶ
小林茂ト梅ヶ両人七時下ル命ノ茂車ヶ下神
壽美八九時四十五分ノ茂車ヶ下西下
木曽ヶ郡ヶ十二時近リヶ退出余モ会社ト共ヶ働
ケリ

天候 晴

午前十一時ヶ社
午后三時ヶ社会ノ為メ福井氏ヲ三井会名会社ヶ訪問
支方面成ノ招待人名ヲ以テ
帰途 鉄道ヲ以テ立帰リ中島氏共ヶ庵ノ一面会明
夕江木鉄相基内ヶ庵ノ接待ヲ依頼ス
会五時山口ヶ当ヶ武田秀雄氏ヲ
九時半帰ヶ
十時半支村 利之氏招待依其他ノ印刷物ヲ持
参ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝早朝古川ヨリ以下案内状用紙四百枚ヲ福井氏ノ部ヘ送ル
午前九時半内務大臣ノ官邸ニ於ケル失業防止委員会ニ出席十一時半退出出社
江木銭道大臣ヨリ待命ノ件
次官ヨリ午後六時ヨリ
失業防止委員会ニ出席ノ件
午後一時ヨリ工業倶楽部ニ於ケル全国産業団体連合代表者会ニ出席
午後四時半帰社
午後四時半某地ヨリ帰宅

午前十一時半出社
午後二時半ヨリ三井会ニ出席
午後三時ヨリ参謀総長ト懇談
一旦帰宅
午後六時ヨリ
町ニ於テ
陸軍省
次官
軍事課長
参謀本部
第一部長
第二部長
第三部長
第四部長
第五部長
第六部長
第七部長
第八部長
第九部長
第十部長
第十一部長
第十二部長
第十三部長
第十四部長
第十五部長
第十六部長
第十七部長
第十八部長
第十九部長
第二十部長
第二十一部長
第二十二部長
第二十三部長
第二十四部長
第二十五部長
第二十六部長
第二十七部長
第二十八部長
第二十九部長
第三十部長
第三十一部長
第三十二部長
第三十三部長
第三十四部長
第三十五部長
第三十六部長
第三十七部長
第三十八部長
第三十九部長
第四十部長
第四十一部長
第四十二部長
第四十三部長
第四十四部長
第四十五部長
第四十六部長
第四十七部長
第四十八部長
第四十九部長
第五十部長
第五十一部長
第五十二部長
第五十三部長
第五十四部長
第五十五部長
第五十六部長
第五十七部長
第五十八部長
第五十九部長
第六十部長
第六十一部長
第六十二部長
第六十三部長
第六十四部長
第六十五部長
第六十六部長
第六十七部長
第六十八部長
第六十九部長
第七十部長
第七十一部長
第七十二部長
第七十三部長
第七十四部長
第七十五部長
第七十六部長
第七十七部長
第七十八部長
第七十九部長
第八十部長
第八十一部長
第八十二部長
第八十三部長
第八十四部長
第八十五部長
第八十六部長
第八十七部長
第八十八部長
第八十九部長
第九十部長
第九十一部長
第九十二部長
第九十三部長
第九十四部長
第九十五部長
第九十六部長
第九十七部長
第九十八部長
第九十九部長
第百部長
第百一部長
第百二部長
第百三部長
第百四部長
第百五部長
第百六部長
第百七部長
第百八部長
第百九部長
第百十部長
第百十一部長
第百十二部長
第百十三部長
第百十四部長
第百十五部長
第百十六部長
第百十七部長
第百十八部長
第百十九部長
第百二十部長
第百二十一部長
第百二十二部長
第百二十三部長
第百二十四部長
第百二十五部長
第百二十六部長
第百二十七部長
第百二十八部長
第百二十九部長
第百三十部長
第百三十一部長
第百三十二部長
第百三十三部長
第百三十四部長
第百三十五部長
第百三十六部長
第百三十七部長
第百三十八部長
第百三十九部長
第百四十部長
第百四十一部長
第百四十二部長
第百四十三部長
第百四十四部長
第百四十五部長
第百四十六部長
第百四十七部長
第百四十八部長
第百四十九部長
第百五十部長
第百五十一部長
第百五十二部長
第百五十三部長
第百五十四部長
第百五十五部長
第百五十六部長
第百五十七部長
第百五十八部長
第百五十九部長
第百六十部長
第百六十一部長
第百六十二部長
第百六十三部長
第百六十四部長
第百六十五部長
第百六十六部長
第百六十七部長
第百六十八部長
第百六十九部長
第百七十部長
第百七十一部長
第百七十二部長
第百七十三部長
第百七十四部長
第百七十五部長
第百七十六部長
第百七十七部長
第百七十八部長
第百七十九部長
第百八十部長
第百八十一部長
第百八十二部長
第百八十三部長
第百八十四部長
第百八十五部長
第百八十六部長
第百八十七部長
第百八十八部長
第百八十九部長
第百九十部長
第百九十一部長
第百九十二部長
第百九十三部長
第百九十四部長
第百九十五部長
第百九十六部長
第百九十七部長
第百九十八部長
第百九十九部長
第二百部長
第二百一部長
第二百二部長
第二百三部長
第二百四部長
第二百五部長
第二百六部長
第二百七部長
第二百八部長
第二百九部長
第二百十部長
第二百十一部長
第二百十二部長
第二百十三部長
第二百十四部長
第二百十五部長
第二百十六部長
第二百十七部長
第二百十八部長
第二百十九部長
第二百二十部長
第二百二十一部長
第二百二十二部長
第二百二十三部長
第二百二十四部長
第二百二十五部長
第二百二十六部長
第二百二十七部長
第二百二十八部長
第二百二十九部長
第二百三十部長
第二百三十一部長
第二百三十二部長
第二百三十三部長
第二百三十四部長
第二百三十五部長
第二百三十六部長
第二百三十七部長
第二百三十八部長
第二百三十九部長
第二百四十部長
第二百四十一部長
第二百四十二部長
第二百四十三部長
第二百四十四部長
第二百四十五部長
第二百四十六部長
第二百四十七部長
第二百四十八部長
第二百四十九部長
第二百五十部長
第二百五十一部長
第二百五十二部長
第二百五十三部長
第二百五十四部長
第二百五十五部長
第二百五十六部長
第二百五十七部長
第二百五十八部長
第二百五十九部長
第二百六十部長
第二百六十一部長
第二百六十二部長
第二百六十三部長
第二百六十四部長
第二百六十五部長
第二百六十六部長
第二百六十七部長
第二百六十八部長
第二百六十九部長
第二百七十部長
第二百七十一部長
第二百七十二部長
第二百七十三部長
第二百七十四部長
第二百七十五部長
第二百七十六部長
第二百七十七部長
第二百七十八部長
第二百七十九部長
第二百八十部長
第二百八十一部長
第二百八十二部長
第二百八十三部長
第二百八十四部長
第二百八十五部長
第二百八十六部長
第二百八十七部長
第二百八十八部長
第二百八十九部長
第二百九十部長
第二百九十一部長
第二百九十二部長
第二百九十三部長
第二百九十四部長
第二百九十五部長
第二百九十六部長
第二百九十七部長
第二百九十八部長
第二百九十九部長
第三百部長
第三百一部長
第三百二部長
第三百三部長
第三百四部長
第三百五部長
第三百六部長
第三百七部長
第三百八部長
第三百九部長
第三百十部長
第三百十一部長
第三百十二部長
第三百十三部長
第三百十四部長
第三百十五部長
第三百十六部長
第三百十七部長
第三百十八部長
第三百十九部長
第三百二十部長
第三百二十一部長
第三百二十二部長
第三百二十三部長
第三百二十四部長
第三百二十五部長
第三百二十六部長
第三百二十七部長
第三百二十八部長
第三百二十九部長
第三百三十部長
第三百三十一部長
第三百三十二部長
第三百三十三部長
第三百三十四部長
第三百三十五部長
第三百三十六部長
第三百三十七部長
第三百三十八部長
第三百三十九部長
第三百四十部長
第三百四十一部長
第三百四十二部長
第三百四十三部長
第三百四十四部長
第三百四十五部長
第三百四十六部長
第三百四十七部長
第三百四十八部長
第三百四十九部長
第三百五十部長
第三百五十一部長
第三百五十二部長
第三百五十三部長
第三百五十四部長
第三百五十五部長
第三百五十六部長
第三百五十七部長
第三百五十八部長
第三百五十九部長
第三百六十部長
第三百六十一部長
第三百六十二部長
第三百六十三部長
第三百六十四部長
第三百六十五部長
第三百六十六部長
第三百六十七部長
第三百六十八部長
第三百六十九部長
第三百七十部長
第三百七十一部長
第三百七十二部長
第三百七十三部長
第三百七十四部長
第三百七十五部長
第三百七十六部長
第三百七十七部長
第三百七十八部長
第三百七十九部長
第三百八十部長
第三百八十一部長
第三百八十二部長
第三百八十三部長
第三百八十四部長
第三百八十五部長
第三百八十六部長
第三百八十七部長
第三百八十八部長
第三百八十九部長
第三百九十部長
第三百九十一部長
第三百九十二部長
第三百九十三部長
第三百九十四部長
第三百九十五部長
第三百九十六部長
第三百九十七部長
第三百九十八部長
第三百九十九部長
第四百部長
第四百一部長
第四百二部長
第四百三部長
第四百四部長
第四百五部長
第四百六部長
第四百七部長
第四百八部長
第四百九部長
第四百十部長
第四百十一部長
第四百十二部長
第四百十三部長
第四百十四部長
第四百十五部長
第四百十六部長
第四百十七部長
第四百十八部長
第四百十九部長
第四百二十部長
第四百二十一部長
第四百二十二部長
第四百二十三部長
第四百二十四部長
第四百二十五部長
第四百二十六部長
第四百二十七部長
第四百二十八部長
第四百二十九部長
第四百三十部長
第四百三十一部長
第四百三十二部長
第四百三十三部長
第四百三十四部長
第四百三十五部長
第四百三十六部長
第四百三十七部長
第四百三十八部長
第四百三十九部長
第四百四十部長
第四百四十一部長
第四百四十二部長
第四百四十三部長
第四百四十四部長
第四百四十五部長
第四百四十六部長
第四百四十七部長
第四百四十八部長
第四百四十九部長
第四百五十部長
第四百五十一部長
第四百五十二部長
第四百五十三部長
第四百五十四部長
第四百五十五部長
第四百五十六部長
第四百五十七部長
第四百五十八部長
第四百五十九部長
第四百六十部長
第四百六十一部長
第四百六十二部長
第四百六十三部長
第四百六十四部長
第四百六十五部長
第四百六十六部長
第四百六十七部長
第四百六十八部長
第四百六十九部長
第四百七十部長
第四百七十一部長
第四百七十二部長
第四百七十三部長
第四百七十四部長
第四百七十五部長
第四百七十六部長
第四百七十七部長
第四百七十八部長
第四百七十九部長
第四百八十部長
第四百八十一部長
第四百八十二部長
第四百八十三部長
第四百八十四部長
第四百八十五部長
第四百八十六部長
第四百八十七部長
第四百八十八部長
第四百八十九部長
第四百九十部長
第四百九十一部長
第四百九十二部長
第四百九十三部長
第四百九十四部長
第四百九十五部長
第四百九十六部長
第四百九十七部長
第四百九十八部長
第四百九十九部長
第五百部長
第五百一部長
第五百二部長
第五百三部長
第五百四部長
第五百五部長
第五百六部長
第五百七部長
第五百八部長
第五百九部長
第五百十部長
第五百十一部長
第五百十二部長
第五百十三部長
第五百十四部長
第五百十五部長
第五百十六部長
第五百十七部長
第五百十八部長
第五百十九部長
第五百二十部長
第五百二十一部長
第五百二十二部長
第五百二十三部長
第五百二十四部長
第五百二十五部長
第五百二十六部長
第五百二十七部長
第五百二十八部長
第五百二十九部長
第五百三十部長
第五百三十一部長
第五百三十二部長
第五百三十三部長
第五百三十四部長
第五百三十五部長
第五百三十六部長
第五百三十七部長
第五百三十八部長
第五百三十九部長
第五百四十部長
第五百四十一部長
第五百四十二部長
第五百四十三部長
第五百四十四部長
第五百四十五部長
第五百四十六部長
第五百四十七部長
第五百四十八部長
第五百四十九部長
第五百五十部長
第五百五十一部長
第五百五十二部長
第五百五十三部長
第五百五十四部長
第五百五十五部長
第五百五十六部長
第五百五十七部長
第五百五十八部長
第五百五十九部長
第五百六十部長
第五百六十一部長
第五百六十二部長
第五百六十三部長
第五百六十四部長
第五百六十五部長
第五百六十六部長
第五百六十七部長
第五百六十八部長
第五百六十九部長
第五百七十部長
第五百七十一部長
第五百七十二部長
第五百七十三部長
第五百七十四部長
第五百七十五部長
第五百七十六部長
第五百七十七部長
第五百七十八部長
第五百七十九部長
第五百八十部長
第五百八十一部長
第五百八十二部長
第五百八十三部長
第五百八十四部長
第五百八十五部長
第五百八十六部長
第五百八十七部長
第五百八十八部長
第五百八十九部長
第五百九十部長
第五百九十一部長
第五百九十二部長
第五百九十三部長
第五百九十四部長
第五百九十五部長
第五百九十六部長
第五百九十七部長
第五百九十八部長
第五百九十九部長
第六百部長
第六百一部長
第六百二部長
第六百三部長
第六百四部長
第六百五部長
第六百六部長
第六百七部長
第六百八部長
第六百九部長
第六百十部長
第六百十一部長
第六百十二部長
第六百十三部長
第六百十四部長
第六百十五部長
第六百十六部長
第六百十七部長
第六百十八部長
第六百十九部長
第六百二十部長
第六百二十一部長
第六百二十二部長
第六百二十三部長
第六百二十四部長
第六百二十五部長
第六百二十六部長
第六百二十七部長
第六百二十八部長
第六百二十九部長
第六百三十部長
第六百三十一部長
第六百三十二部長
第六百三十三部長
第六百三十四部長
第六百三十五部長
第六百三十六部長
第六百三十七部長
第六百三十八部長
第六百三十九部長
第六百四十部長
第六百四十一部長
第六百四十二部長
第六百四十三部長
第六百四十四部長
第六百四十五部長
第六百四十六部長
第六百四十七部長
第六百四十八部長
第六百四十九部長
第六百五十部長
第六百五十一部長
第六百五十二部長
第六百五十三部長
第六百五十四部長
第六百五十五部長
第六百五十六部長
第六百五十七部長
第六百五十八部長
第六百五十九部長
第六百六十部長
第六百六十一部長
第六百六十二部長
第六百六十三部長
第六百六十四部長
第六百六十五部長
第六百六十六部長
第六百六十七部長
第六百六十八部長
第六百六十九部長
第六百七十部長
第六百七十一部長
第六百七十二部長
第六百七十三部長
第六百七十四部長
第六百七十五部長
第六百七十六部長
第六百七十七部長
第六百七十八部長
第六百七十九部長
第六百八十部長
第六百八十一部長
第六百八十二部長
第六百八十三部長
第六百八十四部長
第六百八十五部長
第六百八十六部長
第六百八十七部長
第六百八十八部長
第六百八十九部長
第六百九十部長
第六百九十一部長
第六百九十二部長
第六百九十三部長
第六百九十四部長
第六百九十五部長
第六百九十六部長
第六百九十七部長
第六百九十八部長
第六百九十九部長
第七百部長
第七百一部長
第七百二部長
第七百三部長
第七百四部長
第七百五部長
第七百六部長
第七百七部長
第七百八部長
第七百九部長
第七百十部長
第七百十一部長
第七百十二部長
第七百十三部長
第七百十四部長
第七百十五部長
第七百十六部長
第七百十七部長
第七百十八部長
第七百十九部長
第七百二十部長
第七百二十一部長
第七百二十二部長
第七百二十三部長
第七百二十四部長
第七百二十五部長
第七百二十六部長
第七百二十七部長
第七百二十八部長
第七百二十九部長
第七百三十部長
第七百三十一部長
第七百三十二部長
第七百三十三部長
第七百三十四部長
第七百三十五部長
第七百三十六部長
第七百三十七部長
第七百三十八部長
第七百三十九部長
第七百四十部長
第七百四十一部長
第七百四十二部長
第七百四十三部長
第七百四十四部長
第七百四十五部長
第七百四十六部長
第七百四十七部長
第七百四十八部長
第七百四十九部長
第七百五十部長
第七百五十一部長
第七百五十二部長
第七百五十三部長
第七百五十四部長
第七百五十五部長
第七百五十六部長
第七百五十七部長
第七百五十八部長
第七百五十九部長
第七百六十部長
第七百六十一部長
第七百六十二部長
第七百六十三部長
第七百六十四部長
第七百六十五部長
第七百六十六部長
第七百六十七部長
第七百六十八部長
第七百六十九部長
第七百七十部長
第七百七十一部長
第七百七十二部長
第七百七十三部長
第七百七十四部長
第七百七十五部長
第七百七十六部長
第七百七十七部長
第七百七十八部長
第七百七十九部長
第七百八十部長
第七百八十一部長
第七百八十二部長
第七百八十三部長
第七百八十四部長
第七百八十五部長
第七百八十六部長
第七百八十七部長
第七百八十八部長
第七百八十九部長
第七百九十部長
第七百九十一部長
第七百九十二部長
第七百九十三部長
第七百九十四部長
第七百九十五部長
第七百九十六部長
第七百九十七部長
第七百九十八部長
第七百九十九部長
第八百部長
第八百一部長
第八百二部長
第八百三部長
第八百四部長
第八百五部長
第八百六部長
第八百七部長
第八百八部長
第八百九部長
第八百十部長
第八百十一部長
第八百十二部長
第八百十三部長
第八百十四部長
第八百十五部長
第八百十六部長
第八百十七部長
第八百十八部長
第八百十九部長
第八百二十部長
第八百二十一部長
第八百二十二部長
第八百二十三部長
第八百二十四部長
第八百二十五部長
第八百二十六部長
第八百二十七部長
第八百二十八部長
第八百二十九部長
第八百三十部長
第八百三十一部長
第八百三十二部長
第八百三十三部長
第八百三十四部長
第八百三十五部長
第八百三十六部長
第八百三十七部長
第八百三十八部長
第八百三十九部長
第八百四十部長
第八百四十一部長
第八百四十二部長
第八百四十三部長
第八百四十四部長
第八百四十五部長
第八百四十六部長
第八百四十七部長
第八百四十八部長
第八百四十九部長
第八百五十部長
第八百五十一部長
第八百五十二部長
第八百五十三部長
第八百五十四部長
第八百五十五部長
第八百五十六部長
第八百五十七部長
第八百五十八部長
第八百五十九部長
第八百六十部長
第八百六十一部長
第八百六十二部長
第八百六十三部長
第八百六十四部長
第八百六十五部長
第八百六十六部長
第八百六十七部長
第八百六十八部長
第八百六十九部長
第八百七十部長
第八百七十一部長
第八百七十二部長
第八百七十三部長
第八百七十四部長
第八百七十五部長
第八百七十六部長
第八百七十七部長
第八百七十八部長
第八百七十九部長
第八百八十部長
第八百八十一部長
第八百八十二部長
第八百八十三部長
第八百八十四部長
第八百八十五部長
第八百八十六部長
第八百八十七部長
第八百八十八部長
第八百八十九部長
第八百九十部長
第八百九十一部長
第八百九十二部長
第八百九十三部長
第八百九十四部長
第八百九十五部長
第八百九十六部長
第八百九十七部長
第八百九十八部長
第八百九十九部長
第九百部長
第九百一部長
第九百二部長
第九百三部長
第九百四部長
第九百五部長
第九百六部長
第九百七部長
第九百八部長
第九百九部長
第九百十部長
第九百十一部長
第九百十二部長
第九百十三部長
第九百十四部長
第九百十五部長
第九百十六部長
第九百十七部長
第九百十八部長
第九百十九部長
第九百二十部長
第九百二十一部長
第九百二十二部長
第九百二十三部長
第九百二十四部長
第九百二十五部長
第九百二十六部長
第九百二十七部長
第九百二十八部長
第九百二十九部長
第九百三十部長
第九百三十一部長
第九百三十二部長
第九百三十三部長
第九百三十四部長
第九百三十五部長
第九百三十六部長
第九百三十七部長
第九百三十八部長
第九百三十九部長
第九百四十部長
第九百四十一部長
第九百四十二部長
第九百四十三部長
第九百四十四部長
第九百四十五部長
第九百四十六部長
第九百四十七部長
第九百四十八部長
第九百四十九部長
第九百五十部長
第九百五十一部長
第九百五十二部長
第九百五十三部長
第九百五十四部長
第九百五十五部長
第九百五十六部長
第九百五十七部長
第九百五十八部長
第九百五十九部長
第九百六十部長
第九百六十一部長
第九百六十二部長
第九百六十三部長
第九百六十四部長
第九百六十五部長
第九百六十六部長
第九百六十七部長
第九百六十八部長
第九百六十九部長
第九百七十部長
第九百七十一部長
第九百七十二部長
第九百七十三部長
第九百七十四部長
第九百七十五部長
第九百七十六部長
第九百七十七部長
第九百七十八部長
第九百七十九部長
第九百八十部長
第九百八十一部長
第九百八十二部長
第九百八十三部長
第九百八十四部長
第九百八十五部長
第九百八十六部長
第九百八十七部長
第九百八十八部長
第九百八十九部長
第九百九十部長
第九百九十一部長
第九百九十二部長
第九百九十三部長
第九百九十四部長
第九百九十五部長
第九百九十六部長
第九百九十七部長
第九百九十八部長
第九百九十九部長
第千部長

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 雨晴

朝十一時ヨリ社理事会ニ出席
午後一時半ヨリ会社ニ於テ臨時株主総会ヲ開キ
会斗時十五分帝都会社ニ到着
芙蓉ノ技芸ヲ見ル
三時半退出帰宅
面会終テ一時間斗仮眠
六時築地常盤ニ到着
陸午外出席
帰宅ハ十時半
帰宿ノ後ハ

会社未訪
朝鮮産業株
八日会ノ列ス内外人覧会
来賓ハ十時半
十時半
橋野氏ノ
明朝十時十五分

天候 雨曇

帝室技芸員会議ニ出席
午前十一時ヨリ

今朝八時半ヨリ
午後一時ヨリ
十二時半ヨリ
午後一時半
来客
来客
来客

晴曇

十後五時頃壽美ト志祥寺ヘ卦ケ平ノ雪鳥ノ夜逃リヲ賞シ八時帰宅 何トナリ眠眠ノ感リ

決裁	起案
淀川	

午前十一時半商工会議所ニ於テ顧問会ヲ列ス
顧問ハ中七席ニシテ一風大橋馬越ノ余ノ四人ヨリ百ヲ以テ限ルヲ以テ会議所改メヨノ事ヲ提出セラルヘシトノ決行スヘキハ賊軍金丸氏ヨリ
会ハ如何ニセヨ進捗ノ件ニ付テ一部改メ、一部改メ一階建ニシ（五十万円ト斗ル五万円）、斗六案ヲ見シ
要ハ残スヘシトノ事ニ決ス
午後二時ヨリ船舶会社重役会
午後三時半ヨリ来月上旬来宗市道路補装完了ニ近ツキタルヲ以テ市会ニ執行ノ費用壱万八千
余円ヲ金子県支所ヨリ仮出金ノ件ニ付来宗市ニ於ケル智識階級ノ意見ヲ聴取スル為メ
会議ヲ開キ度キ旨依頼アリ詮議スルトノ事（之ヲ決シ、後ニ移ス事ニ
決セシ）
午後四時半ヨリ銀行ニ於テ顧問会ヲ開ク
十時半帰宅

浅野氏ノ手紙ニ依レハ、

決裁	起案
雨晴	

今朝八時良一ヲ仙台ヨリ着
午前九時半内相官邸ニ於ケル矢来院止委員会ニ陪シ智識階級ノ職業依存状況ノ意見ヲ聴取シ
午後一時ヨリ製鉄会社重役会ニ列シ決算ノ見込ヲ聴ス
午後四時良ヲ共ニ倶楽部ニ立寄リ五時半帰宅
宅ニ天仙台ヨリ来ル二日出京良一ノ許ニ来訪スル旨ニ
取敢ヘス意見ヲ加ヘ
良一ヲ伴ヒ妹貞子ヲ市ヘ、両人ハ旅宿ヘ引取リ
夕食ヲ共ニス
食後仕度未了ノ家内ヲ待合ニ迎ヒ再会ノ家内ヘ行
セル旅宿ニ帰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

良一佐婚式
大祥祭、
午後一時寿美良一大塚かつト打連ニ青山ニ於ケル大祥
会祭ニ参リ午后、夏子次ニ来リ会ス幸輝ノ方ハ嫁
ガ辞ス外ニ幸輝正義夫婦ニ廿澄、 夫婦
ノ九名ナリ
午後当時神前葬式ニ熊川義介夫婦碁柄ニテ新
夫婦、一同撮影
三時青山青年会館ニ於キテライト、コートニ茶菓ヲ饗ス
ル、此時カ八ケ十トル余ハ降リ定寿美ハ新婦ノ髪ヲ直シ
リメ再ニ大礼会館ニ於キ両人ノ日光仕出発ヲ本所ノ
東武鉄道停車場ニ見送リ九時頃帰宅

新宿貴根待ち後
六時ニ帰宅仮寝ノ部
訪

良一生母大塚かつハ今朝ノ汽車ニテ一ツ先仙台ニ向ケ
立ツ
午前十一時ニ社ヲ退出服装ヲ改メ工業倶楽部ニ於テ
ハ新宿貴若槻礼次郎、南陸相、櫻内幸雄、奈松相、
藪総会ニ臨ム風理事長ノ挨拶ニ若槻礼次郎及櫻
内幸雄両相ノ答辞アリ八時半退出帰宅直ニ寿美ト上野
ヨリ新夫婦ト時半ノ汽車ニテ仙台ニ向ケ出発ス
日ノ行動ハ満足ナリ 仰代治ノ墓参、御廟ニ参拝ス
見物午後一時ノ汽車ニテ帰京四時ニ帰連シテ芝我
介ノ許ニ挨拶ニ寄リ夫ヨリ幸輝ノ許ニ御礼ニ寄リ
今川ニテ晩餐ノ馳走ニ与ケ十時半ノ汽車ニテ仙台
ニカヘリ夏子ハ生母ヲ除キ 此日参列人ノ全部ト
良一ノ女人両三名ナリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 大雨午後晴

社會の合日

夜来の雨益々傾りが如し午後に至りて晴る十一時半社

午後一時石沢泰四郎氏の自宅告別式に臨む亡八勤王志士祥平コリ九州に走ぜんとし途中病に罹り遂に不帰の人となりしを以て今回葬儀会社の用度係たり三十五年(明治)余駿河台に隣行後改除香港迄行き暫く滞在改州迄全行き働く新聞改迎ひに行かれ来りて後病床に就き十数年目下枕上郵便交換たり

帰途六汁太君に随伴九少花行中聲劍ノ除右之筆を取り為メ真鍮ノ杆(塩田外村ノ作)に入改ノ中ノ細田一雅ノ手

大正十年改見舞ノ

天候 晴

社會の合日

午後一時寿美ト共ニ去ル祥平別邸ニ到ル正六新婚宿泊ノ除ニ招カレン準備ナリ夜ニ入リテ帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

午前十一時小社
午後九時 新岳楽ニ到ル 友修会ニ列ス
帰途山口ニ立寄リ廿五日川口秀子ノ会ニ出ル件打合
ヲナシ青海波ヲ踊ラントハナシアリシ 八時ニ 新橋演舞場
天晴一生ノ感覚忝ケナク日分ニ於テ依頼ス

山口ノ会出ル件打合ヘ

友修会 新年楽
午後四時
幹事大林英郎

晴

朝大阪秋奈唯一氏秋久ニ来ル
池田 美代子来訪 手出典一ト緒談ニ興ジテヤリ寿美西楼
十一時小社
午後二時ヨリ納涼五市氏国民新聞会慶祝賞
募集ノ件ニ付来訪 ソノ三四十分間説明ヲヤリ
四時半退出 十九日会ニ臨ミ十時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

新竹中工警察署小林氏神戸ヨリ歸京長田秋栄ヲ
襲ヒ其ノ疑ヒヲ晴ス為メ直接
知ル筈ナリ
翁川美介夫妻、久奈清子、癌手術ノ為メ特ニ若松ヨリ上京セルモノナリ
十二時半社
午後一時山口女将ト新橋演舞場ニ菊枝
五枚揚ノ依頼ス四時迄ニ終了
午後五時三浦倉庫重役会ニ列席
新夕社三木氏宛附金（日米親善ニ寄与
セラレ度旨依頼ニ来ル）三枚ヲ渡シ面接セシム
五時退出帰宅、吉田、伊藤田坂、木下三氏来訪
来ル廿五日ノ来賓堅席決定ノ為メナリ

晴

十時十一時半社
午後四時五十五分ノ汽車ニテ社長ト共ニ京都ヨリ帰
京中央線ニ乗ル、次第ニ軽快ニ赴カルヽヲ感ズ
五時半池田ニ於テ五日会ニ臨ム林氏病気欠席
大病ノ為メ見ベス様十代ニ見ベクルモ
直ニ辞去女将ト雨淡八時半退去帰宅
今夜モ亦吉田、伊藤、木下、三人未会セリ

午前十一時ヶ社
午後弐時郵船会社ノ重役会ニ列ス
午後三時若槻首相ヲ官邸ニ訪ヒ廿五日枢密院ニ於テ来ル廿五日席次取扱ノ事ヲ依頼ス全氏快諾ス
寿美来客應接其他ニ忙々煩忙
堀部政栄助舞ノ為大阪ヨリ上京

148

午後六時半ヶ社
午後八時ヶ未ダ席次表ヲ返戻ス
寿美本日午後ヨリ頭痛、悪寒、悔ヲ伴ヒ吉祥寺ニ往診ス
今朝九時十分着ノ汽車ニテ正六ヶ京ス
午前十一時半ヶ社

149

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午後正六ツ壽夫ヲ伴ヒ深井ヨリ藁葺夫ヨリ深堀ヘ
母人ヲ訪ヒ縁ヲ結ビ椅見ノ都合ヲ了ル七ツ半ヨリ
散歩ニ度ノ峯ヘ今朝ハ見合ス幸ヒニス余ガ独身
心痛ハ実ニ此ニ在ス

午前十時 例ノ如ク参会
帝国憲法発布勅語奉読
正六ツ告僧并ニ
式正式時次第ニ
依リ会場
来賓会釈
午後一時半壽夫ト共ニ正六ツ伴ヒ来宗会釈ニ往ク式ハ永
勲式ニ時ヨリ四十分ニテ終ル吉方ハ夫婦
其外先方ハ縁女ト代ヲ父母祖母ニ
午六ツ半ヨリ次ニ夫婦、依頼夫婦、壽夫、栄夫、栄夫ノ両兄弟ニ妹
其代ヲ其外 媒酌ハ青木栄雄氏夫婦ナリ
式終テ列席者一同 座正面真座ニテ椅歓ニ
改メテ江木鷲真宛ニ 卦ヲ横取セリ
校落、把得ハ 五時半ヨリニ五時頃ヨリ来客アリ五時ヲヨリ
六時ノ間ハ未客ノミ切リモナク寒梅ニ暇アラス来客 五百四十
名ヲ数フ余ハ夏山木村重成ノ如ク陣 川口善十(十六歳弱冠)
清元前座 七時 許客デザートコースニテ青木媒酌新夫婦
ヲ始メ引次キ余ハ主人側ヲ代表トテ 校杯ヲ述ベ若槻前相
来賓ヲ代表トテ祝詞ヲ述ベ百客終ル来賓ハ大抵皆
内外朝野名士ヲ網羅ス 九時ヨリ来客送迄十時半許新夫婦ヲ送リテ
十一時卅分 帰宅

天候 晴

午前十一時半中社午後四時半原出

無名会 午後九時半
幹事 岡田、栃条
幹事 岡田、栃条
次回 当番

天候 晴

福井氏自宅ニ於テ午後六時ヨリ

南土会事務所新開発
会相伴会 午後六時

三吉 新築会長
案内 新

昨夜ノクラブ送別会
平井会計 午後六時
小松原幹事

天来病状特別安全会 満
午後九時 判

塙島府立川会 午後九時半 帝国ホテル 淵

午前十一時半中社午後四時半原出

官吏減俸問題ニ付、鉄道省重下ノ吏員ガモ反対ノ声ヲ高メ労働賃金ニ相当ノ差アラントシ江木鉄相ニ中島次官ガ其ノ折衝ニ当リ昨夕某会ヲ断リ来リシ前中江木鉄相ハ交渉ノ中途服痛ノ為メ倒レ之ヲ聞キ芳沢先輩ノ自ラ交渉ニ当リ遂ニ妥協ノ止ムヲ得ザルニ至リシ経過ヲ説明シ行ツリ今夕ノ無名会ハ此ノ事ナリ

正六位 勲六等 岡人 初ノ一夜ヲ志祥ニテ
正六位 勲六等 岡人 初ノ一夜ヲ志祥ニテ
主賓 宇梅 律 福岡ヲ去ルニ当リ

恩ヒ坂部政栄
当夕ノ件ニ当リ午前十時女中ニ見舞ヒ見ヘタル

寿美午後会ヘ出キ模様ヲ報告ス
福井夫人相談未亡人会ニ
今朝出社ニ先ヲ大来ニ出キ(寿美会ニ)
当方ヨリハ

青木夫人(主人公ニテ
会中会合ニ対シ昨夜ノ候補ヲ出ス)ヘ当
前夜ニ芝棚前相即
鳥居及ビ其ノ所談同ジ様ニ候補ヲ出ス

天候 晴

午前十一時半中社午後四時半原出

正六位 勲六等 岡人 初ノ一夜ヲ志祥ニテ
正六位 勲六等 岡人 初ノ一夜ヲ志祥ニテ
主賓 宇梅 律 福岡ヲ去ルニ当リ

寿美午後会ヘ出キ模様ヲ報告ス
福井夫人相談未亡人会ニ
今朝出社ニ先ヲ大来ニ出キ(寿美会ニ)
当方ヨリハ

青木夫人(主人公ニテ
会中会合ニ対シ昨夜ノ候補ヲ出ス)ヘ当
前夜ニ芝棚前相即
鳥居及ビ其ノ所談同ジ様ニ候補ヲ出ス

正六位夫婦ハ今朝志祥ヨリ帰天前ノ午前ニ於ケル寿美ハ午後ヨリ両人ヲ伴ニ出デ前、熊川、鳥居及井上(まま)ノ邸ニ於ケル寿美ヨリ両人ヲ午校ヨリ青木、高山、江原、

、福邸ニ於ケル福井氏宅ニ集リセシム

自分午前十一時半社ニ立時帰宅ニ服装ヲ改メ寿美ヲ道青山ニ福井氏邸ヨリ青木氏夫婦ヲ当方ヨリハ義介夫婦ト四新開夫婦ヨリ先方ハ主人夫婦午後

午前十一時半社ニ立時帰宅ニ服装ヲ改メ寿美ヲ道青山ニ福井氏邸ヨリ青木氏夫婦ヲ当方ヨリハ義介夫婦ト四新開夫婦ヨリ先方ハ主人夫婦午後

寿一ニ於テ両夫婦仮夫婦ニ御素夫、米夫、美代、午ノ午後江原屋敷ニ高山、

両夫婦 相談未亡人ヨリ料理ハ日本料理ニテ 結構ヨリ会後高橋ニ福会振
一ノ部演二曲ヨリ
芸名落間
十時半正六位午代ニテト四人全楽ニテ帰宅
午日午後3時 新築会社長会ヨリ 列席ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

全産別 第六回大会 午前十時 於 (六段)

午前十一時 出社

午後一時 来栖産業会 出席 時局ニ対スル懇談会ニ列ス 午後一時半 皇后陛下行啓 奉迎 於 県庁

午後六時 産業会 出席 懇談会後 役員ト懇談 三時 退庁 次ニ 出社

帰途 福井邸ニ 昨夜ノ巻 持ニ立寄ル

発信	受信	種別	番号	字数	発信時刻	受信時刻
晴乃雨						

来栖産業会 午後一時 皇后陛下行啓 奉迎 於 県庁

発信	受信	種別	番号	字数	発信時刻	受信時刻
雨						

帰途 福井邸ニ 立寄

発信	受信	種別	番号	字数	発信時刻	受信時刻
雨						

来栖産業会 午後六時 産業倶楽部 懇談会

発信	受信	種別	番号	字数	発信時刻	受信時刻
晴						

朝十時 小川平吉氏来訪 信州電気ノ件ニ付 大義 援助ノ件ニ付 目下ノ資金 除雪ノ為 添ニ注ル 其ノ他 事ニ付 小川氏ハ絶対援助ヲ保留セラレ 帰ラル

十時半 出社

午後一時半 花房太郎(太郎) 来訪 池田平田両家ノ結婚ニ付 自分 池田家仮見トシテ相勤メ 呉レ 依頼 ニ付 承諾ス 度ノ事ナリシモ 此縁談ハ平田家ノ関係上 義介 義介其儘ニ 断リ居ル ニ付 此方ニ 依頼セラレタルモノニテ 断リ 遂ニ 此方ニ 決セリ

午後九時半 新橋演舞場ニ 行リ 三宝ヲ トシ 福井ノ一族 方ノ親族ヲ 併セ 主客四十五名 山口ヲ 始メ 周旋ヲ 依頼ス 劇ハ天勝ノ 新ノ一座 天海ハンリーノ 外数名加ヘ一行愉快ニ 見物ス 十一時 帰宅

発信	受信	種別	番号	字数	発信時刻	受信時刻
雨						

今日 郵船会社 役会

発信	受信	種別	番号	字数	発信時刻	受信時刻
雨						

大正 昭和 五月二十九日

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

午前八時半福井発一、〇〇後、福井お父ノ三氏桜枝ニ来リ
直ニ下ル
昨夜来ノ雨ニテ桜未ダ蕾ニ
昨夜一時半頃ヨリ夫婦、暉子夫人桜枝ニ来ル」ト云フ
又高山夫人モ桜枝ニ見エタリトカ
十一時半ヤ社
午後一時定刻役ニ成ル
午後一時定刻役ニ成ル、今又三五君造氏ノ代リニ来
所日本ガソリン会社（ガソリン、ベンゾール、又酒精三
十パーセントニテ動ク）製造燃料ノ件ニ付
南半ノ有志ト
来ル六日午前十時ヨリ日本ガソリン本社大講堂ニ
於テ（付加税）賛否ヲ決スル事ニ
愛久伝直八氏夫人来訪「福井氏ヨリ帰宅ニ
ヲ懐ト六人巻ヲ
正六天下ヲ後九時二十五分ノ急行ニテ発帰津
昨夜一時ヨリ祥子ト共ニ掛物ヲ変ヘル
今朝神戸ヘ、
梅津、西尾ノ両人ヲ新大洋ホテルニ
今朝神戸ヘ、

天候 晴

帝国水産協済会
午前十時
午後九時半
午後一時ヨリ
今夜平田兵一、母今迄、池田美代子、改之及家
政婦帯同
熊川美代子帰ル
十又縁談決定

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



梅雨期節　雨。雨。雨。日記の頁は単調なこの文字の連続だ。霖雨の下に生活するもの、何と陰鬱なことよ。壁を這ふ蝸牛、濡れて乾かない窓の木の葉。朽ちた橋の欄、黴の生えた書革の洋書。人間の皮膚にも鱗が生えさうな氣がする。それでゐて一度晴れると眼に痛いほどの日光とその反射。青葱の緑した青葉。雲の峯は飢歌をあげて空に上る。梅の實が熟り、鵜鳥が肥り、繍花果が葉を擡げる水郷では、青嵐のしけみに行々子が囀つてゐる。

六月事

一日　更衣（夏人冬服）・多摩川鮎漁解禁・下丹生川上祭（大和）・東照宮祭（下野）・天王祭（尾張津島牛頭天王七月廟）
四日　光琳忌・六月會（傳教大師忌。谷汲山觀音寺西國三十三番札所の開帳）
五日　競馬（谷保天神社）・蘇祭（宇治）・藤森神社祭（京都）
八日　興福寺放生會・品川天王祭
十日　時の記念日・芝公園のプール開かる（此頃）
十一日　聖徳太子忌
十五日　日枝祭（京都）・八阪祭（祇園）・三島神社祭（伊豆）・臺灣始政記念
十七日　伊勢大神宮祭・嚴島祭（安藝）・臺灣始政記念
十八日　粉河寺大縣日（西國三十三番中第三番の霊場）
二十日　競馬（寺竹切縁日）
廿一日　熱田祭（尾張）
廿四日　愛宕神社四萬六千日・清正公忌日
廿五日　皇太后陛下御誕辰・梨木神社祭（京都）
廿六日　八專
廿八日　相州阿夫利大山神社祭
三十日　大祓・師折式・住吉祭（攝津）・天王寺愛染明王夏祭（大阪）

○下旬頃より梅雨に入る。前半期の豪雨註意○衣類書籍其他黴類の防毒○梅雨期前後に於ける調菜の註意○入梅より盛夏の候、次の日に漬ける。梅酒の製法○梅漬の製法○梅干を製すれば梅酒製法々々○梅干を製すれば梅酒

天候 晴 基温 記事

朝九時半中野正剛氏来訪 午後三時会社ニテ重役会アリ
ト雖ル

正午ヨリ社会次長正気氏知ラセ方リ母堂病ニ付キ悔ヤミヲ
午後一時三十分遠氏来訪日本ガソリン会社ノ件ニ付カ方
面手筈ノ如キ又ハ如何ノ話ニテ陸軍ニテモ一部ノ
連中ハ止リ未タ意見纏ラヌ旨ヲ主ガルヨリ双テ陸軍
ヨリ入ル筈ナル旨ヲ告グ

午後三時半中野正剛氏来訪九州日報社新築開業ニ付キ
テ金参百円ヲ贈呈ス氏ハ多額ヲ望ミタルモ当方
ニ於テハ如何トモ為シ難キ旨ヲ述ベタレ共ナシ

午後四時半心持ヨク

夜分直ニ相ヨリ正六位勲祝ヲ祝シ参禮ノ為メ取調ヲ
ナス

天候 晴 基温 記事

山田三次、伝業ヨリ
午後九時半帰
山口

大葉阿止参与会
五前九時四十分ニ開ク

朝来村利之助度ノ衣士
交ヲリモノ（日下日午ヨリ山（七年）アブガニスタンニ於ケル
ノ意如何、有無ヲ糺リ置ケラル
十二時半出社（十時ヨリ内相官邸ニ於テ
午後一時半ヨリ本庄ニ来訪日本ガソリン株買ニ
関シ内相ヨリ申入アリ
午後四時半山口ニヨリ山田氏ノ宴会前ニ三七川氏ト
囲碁ノ手合セヲナス三戦皆敗ル六時（午後）辰巳ニ
モドリ帰ル、及ビ木夫、琴書ノ大々的余興アリ九時
半退出
午後一時商事会社臨時重役会朝鮮ニ於ケル
ニカス引受ケ件ヲ附議可決賛同収入ヲ図ル仕合サ
ル可キモノアル旨ヲ述ベ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

宿直 晴 寒暖計 午前六時 午後二時

国民工業学校業務
午後六時日本工業倶楽部ニ於
帝國教育会大会午ね寿
御祝典ニ付陪食

発信 久通宮殿下 午後四時半ニ
出発 午後六時 帰着

朝八時十五分東京驛発壽美、堀部政次ヲ
伴ニ新築見分ノ為メ箱根強羅ニ向ケ出発
十二時半ニ着
午後一時半工事中
西川村土口見
午後四時十分過ぎ久通宮殿下ニ御目ニ掛リ
御七八十名清浦伯、町田農相、田中文相、奈良原相
帝國教育会大会午ね寿
御祝典ニ付陪食
樺山内相一木宮相、勇越大橋、岸山大川等ニ御
会ヒ遊ハサレモノヨリ集合ノ会場ニ入リ六時二十分宮殿下ノ
御着ヲ奉迎シ午後七時ニ宮殿下ノ御入場ヲ奉迎シ
午後七時ニ宮殿下ノ御入場ヲ奉迎シ
午後七時ニ宮殿下ノ御入場ヲ奉迎シ

午前十一時仲藏公園ノ病気ヲ見舞ス 其ヨリ社
後本社ニ帰リ直ニ重役会ヲ開キ午出社
午後三時信三父子 落伴舞両氏引見
午後三時ニ 弐ノ弁ニ川口秀子ノ八百屋阿七及玉屋
ノ踊ニ葵ヲ観ル 公人後ニ十歳舞 踊界鬼才ト称ス
ル所カ
本日午後一時日比善公会堂ニ於テ 帝都道路鋪
装普及演説会アリ 折リテ出席セズ
別五時ヨリノ晩餐会ニモ席ス 清廉倹素ノ模範
南光ニ宴ヲ設ケ未着代表ノ挨拶ヲ聞ク 坂本
副議長出席ス 演説アリ八時外散会
寿美八政栄ヲ伴ヒ歌舞伎座(三幕ニ秀子ノ踊ヲ
観ル 後ニ観劇ス

大日本水産、公山林
公農会創立五十年
記念会ヲ坂ニ合ス
午前十時済

正六位倍蔵ニ日前ヨリ帯在中ノ処都政栄令嗣婦改名
寿百円ト百反帯一ヶ助ヲ贈呈ス
午後一時迄出モ大変清廉倹素ニ
於テハ祝品(揮毫モ)ニ対スル謝辞ヲ述ベ巻煙草ニテ銀製
三重葉ヲ器及 銀等ヲ箱ヲ贈ル 主人伯爵ト対談約十五
分ニテ辞去本山ノ湯治天神下 黒坪ニ至リ清廉倹素
ノ平折二枚ノ表装ヲ依頼シ 十一時ニ帰リ名刺ヲ
湖水ニ山水ノ大幅、暖奔鶯信肖潜ノ大幅、并ニ玉
堂福寿草ノ三幅ヲ携ヘ帰リ勘定書ハ今回依頼
ノ分ト共ニ大谷ヨリ四時迄帰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 昨日ニ同シ

八日會

山下後五時

幹事岸山、土方

午前十一時半出社

午後青木常務ト共ニ午飯ノ饗應ヲ受ケ直ニ直飛ニ向ヒ會社ヨリ部長ノ命ヲ

午後四時半退出丸ビルニ立寄リ時計重キ十圓一個（四九円）ニテ購フ

全五時半山口ニ於ケル八日會ニ臨ム會員全部會合來賓ハ午前前原相ヨリ泉山大橋午後各ノ演説續初ノ會ニテ

食後軍備ニ付テ短キ演説アリ來賓ハ

天候 晴 寒暖 記事

朝十時壽美ト共ニ来京割二合紙ニ於テ宗都三風合四
座買入ニ吉田夫妻（昨日一泊横濱（百三拾円）外数口
別ニ百弐拾五圓ノ買物ヲナシ其帰ニ九ビルニテ昼食
ヲ認メ御大典用御衣服ノ入札ヲ依頼ス
十一時半出社
午後一時半電燈会社定会ニ列ス
三時ヨリ壽美ハ某町夫人面会ノ為メ郷ニ出ツヅレ錦
帯地依頼ニカヽル件ヨリ
午後四時五十分退出帰宅

天候 晴 寒暖 記事

午後四時頃地震

朝十時岩井廉太郎執事茶奈未明壽美面会
の時半出社
午後一時半家庭事情ニより芝町男爵邸ヲ断
被下度旨廉太郎家ニ於テ申談合中 男爵未明
ステーションニ行テ明又 廉太郎氏ヲ家族ト共ニ
帰リテ中島正樹氏実兄ヲ井
ヲ呼ヒ正樹氏ヲ
始メ一同ヲ茶ニテ
たゞし福永より入札ニテ屋助節太刀（御大典用ト変ス
代金百弐拾五圓）旧山内家先キヤマ祖親（九拾六円）ニテ
購ヒ太刀ハ手沢氏ヘ托シテ中身ヲ白鞘造ニ依頼ス
手次ト談話中強震アリ
四時半退出而降ル
高松宮令妃正午拝坂ヲ命ゼラル葉郷叔父丸三時半
ヨリ入京
夜分より家事ニ来ル壽美対面

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

慶應 戊辰 金曜 入梅 六月十二日 帝室博物館 帝室博物館 帝室博物館

天候 晴 寒暖 昨日比

社會の今日

發信 受信

正午江口之條氏ヲ私邸ニ招キ晩餐ヲ饗ス

昔ビヲ迎フ依テ銭副伝ヲ以テ

午後一時壽昌山道定ヲ出テ大木青木ヲ訪ヒ、渋谷岩坪邸、鳥居坂岩崎邸、相馬未亡人宅ヲ尋ネ正六位侶ノ除ヲ扱ヒ、夫ヨリ将ニ傑伯青木大佛ヲ訪ヒ、菊ノ時候ヲ視候積(我ガ作代機ニ有リ花瓶一帯画ダヤ入(斗有六拾円)ヲ贈ル即二相若夫人銭副トヲテブピーヲ(代金拾有四)ヲ贈ル外ハ皆銀製ニ金箔ヲ施シ雛形ヲ添(タリ午後四時頃帰宅

壽昌山ヨリ平田東一氏ヲ、我邸ヲ将ニス

本日塾ヲ盛夏ノ候ハ八十度以上ニ昇ル依テ例

江口之條氏ヲ扱ヒ、ヲ表リヲ佛ヨリ帰ル

天候 晴 寒暖 昨日比

社會の今日

發信 受信

正六位侶ノ除位出

銭道大臣ヨリ

帝国ホテルヲ合ス付

昨日朝鮮ヨリ来ル

交渉件ニ付会議ヲ開キ

午後二時臨時重役会ヲ開キ明日田中定三郎ヲ京城ニ派遣シ依頼ノ意見ヲ与ヘ併セテ当方ノ主張ヲ開陳セシムルコトヽシ其ノ命ヲ依頼ス田中ハ其ヘタル最後ノ権限ハ

弐円六十銭ヲ仕切リ値段トシテ弐円八拾銭ヲ支払ヒ弐十銭(拾二十万円)ハ仮ニ年一分割返済無利息、六十銭以下ヲ銭(百文ヲ)迄ハ当方負担其以下ハ半ハ相合負担取扱無ヲ数料

正六位侶僧空道(福井県ノ人)ヲ大利使トシ介トシテ再ビ帝国ホテルヲ出ス(書面)

江口之條氏来訪

壽昌池田吉九ヲ卿ヲ訪ヒ将来帰途ヲ約シ、有田ヲ立ヲヲリ

井上侯夫人危篤ノ病ヲ見舞ヒヲヲ立ヲ帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 計

會社ヲ休ム、式ニ列ス
午參ヨリ
本人面会ノ為

午前十一時出発、次ノ某所男ノ家庭事情ヲ中島正義氏ノ依頼ニ因リ実地ニ就キ取調ノ報告ニ基リ男明後日ヨリ宗藏出社ノ旨ヲ
十二時五分出社、全十五分、工業倶楽部ニ於テ理事会ニ列席、引続キ帰社
福沢商店根津氏ニ、長田新兵衛店ニ家具并ニ装飾品ヲ引渡ス、代金弐千円ノ内金弐千圓ヲ支払フ
精世会社宛、村ハ直ニ処分セシムルコト、会社重役会ニテ決議ノ報告ヲ三件受ケリ
四時半退出帰宅
寿美ハ銀製花瓶各一対、田原、仔友其他親戚数軒ニ祝ヒ廻リ
愛社株設置場所変更ノ件ニ付、井上氏ニ交渉ノ件ニ付、野並宅ニ、又ハ電話ヲ以テ

天氣 曇 寒暖 計

出勤ノ合図

午前十時ノ相図ニ出社ス
午後一時ヨリ村理事ヨリ人造肥料ノ件ニ付説明ヲ受ケ、尚ホ重役会ニ列ス
十二時半ニ退出帰宅
午後一時ヨリ村理事ヨリ人造肥料ノ件ニ付説明ヲ受ケ、尚ホ重役会ニ列ス

朝十一時壽美ト共ニ白金瑞聘ニ赴キ午餐ヲ饗ス
却ル十日英前参ニ列シ帰途久参ニ立寄リ暫ク閑ヲ
綴錦帯地三本代金七百八拾円ヲ壽美ヨリ請ケ十
二時半出社十二時半来客撃ツ仍為慶太郎外務ヲ見ル
午後斗時村山成之来訪未方川橋中坂野井迫ニ来訪山
口銀行ト提地銀行ト合併ノ交渉ヲ旨ヲ聴リ
松本大蔵政務次官ヲ往訪シ経済并ニ思想問題ニ付キ
政府当局ノ意嚮ヲ叩ク小松雅次郎来リテ焚助ヲ求ム
余ハ其恒久性ニ乏シキヲ見ヨリ之ヲ顧慮タルヲ断リ
ヲ前木成ニ渡ス断リ
南事会長ニ代リ田中文三郎ニ代ル旨ヲ通ス
注来ノ行懸リヲ一切廃シ新規ノ支出ヲ為サヽル旨ヲ電報ス
電話
四時退出四番町某所ノ午餐ニ赴ク新聞雑誌社ノ
招ニシテ余ハ依嘱ヲ辞ス

午後斗時村山成之来訪未方川橋中坂野井迫ニ来訪山
口銀行ト提地銀行ト合併ノ交渉ヲ旨ヲ聴リ
松本大蔵政務次官ヲ往訪シ経済并ニ思想問題ニ付キ
政府当局ノ意嚮ヲ叩ク小松雅次郎来リテ焚助ヲ求ム
余ハ其恒久性ニ乏シキヲ見ヨリ之ヲ顧慮タルヲ断リ
ヲ前木成ニ渡ス断リ
南事会長ニ代リ田中文三郎ニ代ル旨ヲ通ス
注来ノ行懸リヲ一切廃シ新規ノ支出ヲ為サヽル旨ヲ電報ス
電話
四時退出四番町某所ノ午餐ニ赴ク新聞雑誌社ノ
招ニシテ余ハ依嘱ヲ辞ス

正午出勤三七川会長（公爵）ヨリ昨夜宗城田中光
三氏ヨリ来電ニテハ鐘紡十毋貝目ヲ引用五十万円ヲ貸
与其上引ヲ以テ（約三十万円ト云）ヲ引ケ年押トシテ組合
ヘ貸与スルヲ以テ之ヲ塗リタル模様ナリ
神戸長田ヨリ松井電徳機設置場ヲ変更ノ件ヲ
相達セリ
訂正申来ル処ニ依リ即チ訂正ノ通送ス（前
年会社大久保ヨリ）
来客朝日新聞社
四時帰宅会社ニ十分寄ル
午後四時ヨリ帝国ホテルニ於ケル茶会（来客百十六名）
ニ赴ク時ニ四時過大吉ニテ帰宅リシトキハ）ノ筈ナリ
見余用アリ午前ニテ帰宅ノ筈ナリシトキハ）ノ筈ナリ
余ハ用アリ午前ニテ帰宅ノ筈ナリシトキハ）ノ筈ナリ
余ハ用アリ午前ニテ帰宅ノ筈ナリシトキハ）ノ筈ナリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 気温 摂氏 湿度 記事

朝金山宗円家内栄枝 行業煖ノ四ヶ持犬 昨日ノ
接枝ヲ未ダ此ノ 某氏ノ農地ニクルモノ三枝ノ内斗枝ハ
一条近傍ノ 公爵家ニ騎ニクリトシテノ十一時ノ汽
午後一時武田秀雄氏ト会談 宮船会社武田秀雄氏帰
汝ノ補欠ハ午頭取ニ川氏ヲ推撰スルニ来ル内決ス
正六位勲 授爵ノ件 伝奏ヨリ有内特別
御使其他 七人ニ祭粢料ヲ郵ヲ 仔藤吉田
ノ両氏ニ依頼ス
三時半退庁帰宅 立時ヨリ板垣朝鮮総督ヲ 四谷ノ私
邸ニ訪問朝鮮ノ 津江水電ニ着手ハ大正十年ノ満期ノ
暮ニモ目下経済界ノ 情況ニ鑑ミ其着手ヲ両三年
延期セラレタク篠原技師ヲ得タリ 尚分系会社ノ件
即決ス為 河井田新政党ノ 振興ニ来廿五日午餐ヲ
高輪邸ニ招待スルコトニ決ス口約ス

天候 晴 気温 摂氏 湿度 記事

午後五時帝大病院ニ 濱口及一昨日入院ノ 江木銭相
子見舞ヲ済ス夫人ヲ 往返ヲ乗取ル 江木氏ハ親方面
後セリ 江木氏ハ此ノ閑寂ノ 未夕午餐前ヨリ三時半
宅
五時代議 岩崎輝作氏邸ニ到キ 正六位勲 授爵後
祝賀ノ挨拶ヲ受ケル 巻煙ヲ主人在宅閑話半刻ニテ辞
シテ帰ル
夜分新井芳次来訪 寿吉ノ事ニ付ト雑談

天気 晴 寒暖 適

朝八時ヨリ市公民式ノ伯爵ニテ復友集来訪面会ノ為リ他日会社ニ来訪スベシト伝フ

十時島村秀雄夫婦池田美代子結婚祝ノ為メ出京来訪寿美面談

十一時半大社

十二時十五分高輪御邸ニ到キ ロースト夫妻招待ニテ午餐会ニ列ス 主人ハ事田代リ余ハ接待トシテ食卓ニテハ加ニ右ニローストン、左ニ石井十舞夫婦挿ミ坐ヲ占メタリ来客ハ主賓ノ外石井十舞夫婦樺山伯爵フラッシャー夫妻永井外務次官夫婦ゲリー、フレザー、白鳥博戦部長夫妻青木幸男、山室宗文氏等ニテ事田代リ娘 夫人 崔昊氏等ニテ三時辰ニ帰社ス時半新美栄三郎氏等友伴会ニ結婚会ヲ開キモノニテ名食事ヲ共ニスルモノ如シ名余ハ二媒二勝ノ祝賓タリ

天気 晴 寒暖 適

午前十一時ヨリ社

午後一時半帰宅寿美子伴ニ飯田町大神宮ニ詣リ事田典一ト池田美代子ノ結婚式ニ列ス 花房太郎子爵夫妻 美代子ノ親代リトナリ 池ノ家斉一郎夫婦池原保代トテ参列ス 義介夫婦媒酌ニテ式四十分ニテ 三時一旦帰宅

午後五時半 牧文部官ニ来宗会餞ヲ兼ネ 桃川若燕ヲ呼ビ浪花節ヲ聞ク 講談ハ未賓八九十名池田保寿、田中宗八郎、金安井二正某 牧奈少将福井夫人ナド主ナル客ナリ 美代子ノ学友ノ中ニ大木鑑一男ノ保母ヲ目ベタリ 義介保証トテノ提燈持ニ上ノ新郎ノ父和雄氏ノ秘書ハカマ長袴ニテ 田中宗八郎氏ノ子ハ七ツ許リノ晴ノ礼服ニテ 先ノ新郎ノ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 曇 雨 雪　気温 寒 涼 暖 熱

午前九時内相邸ニ於ケル天業防止委員会ニ陪ス
委細ハ別紙ニ記載ス
午後一時半ヨリ当邸ニ於テ三社ノ協会アリ
何レモ余ノ発ノ向リ
午後二時ヨリ武内山陰氏来訪 長州借債ニ付
ノ為メ三井三菱各七万円援助ノ依頼アリ 余ハ武内氏
ニ断リタリ 午後六時ヨリ 瑞合ト共ニ武内氏ヲ紹介
ハヒヌトニ武内氏ヲ紹介シテ
早川種三氏来訪大阪工業銀行ニ付テ
アートメタルニテ各委員ヲ招待シ 瑞合其他ヲ招
候事トシテ各五万円ヲ請求シ 余ハ之ニ賛成ノ旨ヲ
答ヘタリ 尚ホ瑞合ニ対シ其筋ヨリ内々ノ
ロ添ヘアリ御含ノ上ニテ タリト答ヘタリ 取調ヲ開ケリトノ事ヲ

天候 雨 晴　気温 寒 涼 暖 熱

来ホリンブ諸国代理公使
送別会ヲ後五時半ヨリ
（ホートテンブル氏）
高輪ニテ会食ス 項朝
鮮ハ春秋ノ
別ニ非ザルベシ

山下竜三郎氏高輪
私邸ニ於ケル午後六時
ノ招待ニ応ス
最上茶廊
美代子呈ス

朝雨降リ続キ十時半頃ニ至リ晴ル 余時鳥居坂邸ニ於ケル
社長ヨリ中ス午餐ニ支リ来田武田両氏ニ会ヒ頃リ来リテ
ヲ以テ
十一時半銀行重役会ニ列席 十二時 高輪ニ到着午後一時
ヨリ官舎ニ於テ開催ス 午餐会ニ陪ス 余
主人会社ノ幹部ニ十名ニ過ギ 来賓ハ会後庭内
散歩ニ時半許ニ
余ハ一ノ踏ンデ直ニ宅ニ帰リ 町田農相ヲ訪ヒ山口銀行重
役賛否ノ意見ヲ交換ス 三時半帰社
五時帰宅 六時山下竜三郎邸ニ到リ内田江口正剛松
町田農相及林雄助男ニ会シ 台湾銀行ニ
テ来リ 官邸内相ハ直接ニ来ル小集トテ陪食ス 八
リタリ 主人公自慢ノ席ニ長倉ノ大幅（銀ノ額ニ書ス仕立直シ）
ヲ掛ケラレタリ 九時半過ニ小松宅ヲ辞シ
五十時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	発信

摘要	記事
日曜日晴	
午前八時半出社	
午後一時半より	
信託会社へ	
出張	
郵船重役会ニ列ス	
会後大谷氏ト	
懐旧ノ	
談アリ	
午後三時半	
散会	
午後四時半	
帰宅	
午後七時半	
美代ト	
洋装ス	
午後八時半	
信託会社ニ	
出張	
郵船重役会ニ	
列ス	
午後五時半	
散会	
午後六時半	
帰宅	
午後七時半	
信託会社ニ	
出張	
午後八時半	
帰宅	
午後九時半	
就寝	

石の時半ニ社ヲ出デ美代ト共ニ一先ヅ帰宅ス
午後一時半ヨリ信託会社ニ於テ重役会ヲ開キ
午後三時半ヨリ郵船会社ニ出張重役会ニ列ス
午後五時半ヨリ郵船会社ニ於テ懐旧ノ談アリ
午後七時半ヨリ信託会社ニ出張重役会ニ列ス
午後八時半ヨリ信託会社ニ於テ重役会ヲ開キ
午後九時半帰宅就寝

受信	発信

摘要	記事
晴	
午前十時	
松村建太郎氏来訪	
午後一時半	
出社	
直ニ吉太郎箱根行ニ付来訪	
午後一時半	
郵船副社長大谷登喜氏来訪	
村浅夫氏病気ニ付後事ニ付会談アリ	
午後三時	
散歩	
会計時報ヲ聞キ社長年俸二部氏ヲ刻み歩ト断ジ引下ケ	
八千円ニ減ジ了解来訪	
右市公娘式ニ付テハ頻ニ訪ヲ来リタレドモ	
外出未ダ徴ニサント思ヒタルモ人来頻ニ迎ノ	
為メ	
松村老太郎氏来社中ニ午後ヲ費ス	
三時半退出来ル	
十五日太郎氏病気ニ付	
高村浅夫氏ノ病状ヲ訪ヒ	
帰宅ス	
導カレ病床ニ最後ノ姿ヲヤヽヲ	
伏ス	

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣	發信	受信
晴		

社會の今日

朝冥府より奎堂書幅到来成り送り来れり玉章、暁声南湖の改装料一表、百四拾七圓ラ支払フ

午後三時山川健次郎男（柏窓俱楽部）ノ告別式ト小石川伝通院ト陰ノ男ハ会津人古武士的料理ニ著ク生ト会員ニテ赤余ト合セリ文政ノ書幾会員スリ惜シキ人ナリ

三越ヨリ神ノ送リ荷物ノ荷造リシ来ル今朝雑具ノ寺部ヲ千代ヲ長林ヲ無ト吉祥ヲ送ル寿美ハ帆殺サレ居リ

四時ニ帰リ五郎劇見物ノ為メ寿美ト帝劇ニ遊ビ

演口雅章氏今メ逝ク

天氣	發信	受信
晴	松木三郎	

社會の今日

南洋義塾協会
工業役員会ヲ五時半ニ
有村壽夫一、
南風社ニ行キ原稿ヲ取ル

午前十一時半社

午後五時久世山ニ演口雅章氏ヲ訪ヒ病床ニ面会其容体ハ未タ全快ニ至ラス三十分ニ止リテ語ラス月曜日面会ノ約ヲ為シ彼ハ行ク行ク言ヒ居リシ為ニ

午後六時半ニ帰リ五郎劇見物ノ為メ寿美ト帝劇ニ遊ビ

演口雅章氏今メ逝ク

午後六時半ニ帰宅

午後六時半ニ帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気 晴 暖寒 昨夜

我信 土佐中央郵便局 日本ラグビー正平

受信 土佐協督案内 の川平宛国ホテル 新

午前十一時半土社 今朝大村剛之校校に来れ
本日正午三垣協督より帝国ホテルに招かれ七並て
より横山資英氏と大久保利通公五十年紀念事業
模型来年製会を応席したり 物ごとを決めるとき
リラグビー会合に似ており 濱川家達公の席次トラブル
洋山、若名有力議員の成瀬貴院議長の席次トラブル
案内 会社 国民代表トして来会せり 午前十時
ニテ 閣会 午後全参集 ○ 案内の由依て待ちて
斗時半帰社 四時頃 帰宅 六時頃 夏目茶寮 ○ 寄り
席 池田武夫氏トラブル 午後武ノ助 ○ 来
武内、布矢、成村、三好 茅 諸氏来訪 本化所止ト
談合フタルモ 処刻ノ目的ヲ遂セサリシカ 他ノ時帰宅
江瀬幸備 今夕帰ノ 筆ヲ依頼其他、百円応
ト道名ヲ書祥手前郎ト乗ヲ出立ヲ明晩ヲ迎いセリ

鉛筆にて下ひし草を引きけり 秋晃

七月 文



文月・畑踏月 文披月

岩清水普高くして
見當らず 雪絵子

半夏生 三日
小暑 八日 (後〇時六分)
用 土 井一日 (前一時五十七分)
大暑 井四日 (前五時二十二分)

下弦 八日 新月 十五日
上弦 廿二日 満月 廿九日

高嶺の朝の風が
露に濡れた鈴蘭の花を揺ら、
白樺の葉を洗れて
新鮮な太陽が顔を出す
ゆい木で顔を洗って
はじめての山荘の朝の食卓、
盛りあまての海に眼をおけて
きら、冒い山をみる爽やかさ。

山荘朝餐

山歌 [7]

照り返しの強い星根屋根に囲まれた都会のオフィスに、つい睡気を催す頃、眼に入るは涼しい登山案内のポスター。もう日本アルプスも開ける。富士も開ける。心は勿然と山を思はざるを得ない。この地上に躍躍と働く人間がともすれば忘れる自然の偉大と崇高と神秘を教へる山よ。あの晴れた蒼穹を劃る雪のスカイライン。キャンプに星を戴き、千古の溪谷に雪を踏み、断崖を攀ぢ處女林を分け、跋渉又跋渉、紫外線に焦けた頬を土産に帰る日の愉快さ。山を思ふと心は踊る。

行事

一日 商家中元賽出し開始・富士及南北アルプス山開・木挽場開く・施餓鬼(仏教)・元寇記念日・横須賀港記念日・土佐稲荷夏祭(大阪)
二日 申
六日 水防出初式(日本橋区消防出初式)
七日 織機祭(西陣の織元で織機の供養と守護を祈る)・本門寺大池蓮場
八日 甲子
九日 紀三井寺観世音四萬六千日(境内観世音堂、四萬六千倍の功徳)
十日 観世音四萬六千日(境内観世音堂、四萬六千倍の功徳)・土佐稲荷夏祭(大阪)
十二日 章市(神社仏閣の境内や門前で、植木・盆栽・苗木・草花・日用雑貨などを売る市)・水流・流川祭(三津)・品川鈴ヶ森場祭(供養)・盆踊(盆踊り)
十三日 孟蘭盆会(十三日から十五日または十六日)・已巳
十五日 中元(祖霊祭)・月山祭(月山)
十六日 寒日・閻魔詣・送り火・焚く・歓入
十七日 京都祇園会(二十四日迄、十九日には山鉾の巡行あり)
十九日 大阪鳳山稲荷夏市
二十日 定家忌
廿二日 土用丑の日(秋彼岸)・能勢妙見賽物蟲除(九月八日迄)
廿三日 陶器市(六月末日迄)・早稲田富士神社祭(九月廿日迄)
廿四日 六地蔵詣・法雨宗ほうろく会・行・下加茂神社御手洗会
下旬 隅田川川開花火(七月末日迄)
相州大山開(八月二十二日迄)
住吉神社夏祭
○月初旬 観世音菩薩の縁日を開く。毎月初旬ごとに著者
○月初旬 観世音菩薩の縁日を開く。毎月初旬ごとに著者

〔衛生〕 不慣の地の生水を飲むと、腹痛、下痢を起す。特に夏期には注意を要する。
七月暦頭 行楽には妻を連れよ子供は連れよ。

季寄

時令 清水、夏の月、川狩、打水、蚊遣火、氷、緑時雨、雨乞、行々子、蚕蒸、盛夏、苦熱、夏の雨、青嵐、行水、浴衣。

花卉 葛花、縷紅草、夾竹桃、天人菊、孔雀草、段菊、鉄線花、桔梗、夏菊、夕顔、木芙蓉、夏梅、水葵、檜扇、水引。

蔬菜 胡瓜、生姜、眼豉、車蝦、川鱒、和加奈。茄子、蓮、里芋、胡瓜、越瓜、莢隠元、辛薯、夏葱、冬瓜、枇杷、水蜜桃、杏、巴旦杏。

外興

富士登攀解けて足れより登山始まる。日本アルプス、大和大峯、奥多摩、或は耶馬、十勝縦等人跡未踏の霧を探れば天風秩々として奇花珍禽巴に人界のものではない。信仰には高野、熊野、月山等あり。また相州の大山遠近の参詣者に賑ふ。富士川下り鰹見物の京都には日本三大祭の一と称せらる祇園会あり。華麗絢爛の山鉾満燈を點じて囃子に練る様美観比すべきものはない。観世音、地蔵尊、閻魔詣で。草市、佛縁の人に賑ふ。此月下旬行はる、隅田川の大花火は東都夏夜の名物として橋に船に今尚昔に変らぬ人出を見せる。

富士登山

開山は毎年七月初旬で、閉山は九月末である。其の後は秋山となって多少の登山者はあるも危険の慮れがある。小屋仕舞ひとなる。

登山者には其の服装に注意の要あり。特に金剛杖を登山前に初めて使用するに、六合目以上の岩石地帯には絶対に必要である。

服装については、洋服、和服、何れでも可なるも、和服の場合には脚絆を用ひ、草鞋を履くこと。

六合目以上は、冷気強く、風雨烈しく、防寒具を必要とする。

六合目以上は、冷気強く、風雨烈しく、防寒具を必要とする。

内趣

開花、賢桃、黄蜂、九月大根、扇菜の播種。肉桂、岩梔梗の挿木。冬葱、韮、万年青の移植。草花類に日覆を設け早春を待つ。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時寿美会道三越ニ赴キ風産三重服ヲ
弁ニ個（各三拾九円）ハンコト袖製セット（拾三円ヲ要ス）
袖製水コップヲ打揃件（弐九円五十銭）リユウセット揃弐個
（手拭共円）私変把寵三個（拾八拾円）外ニ袢下
帯物百五円合計拾弐円ヲ支拂ヒ尚ハ鳥井政男ノ部ニテ
五ノ賜物受ケリ

十二時四十分ニ社ニ戻ル

午後九時退社ス小利根鮫ノ立切リ座鳥斉次郎氏ト
面会暫ク雑談ニ時ヲ費シ九時辞ス帰宅シ而シテ
弘瀬事務ニ七時半ノ汽車ニテ帰郷寿美ニ中犬驛
ニ見送ル

受在カ母ハ有リヤラヌ又一ツ

晴

午前六時半ニ起床ス天気晴朗ナリ

正午ニ社ニ

午後一時ニ村松ニ来訪ス藤原鎌次郎氏ニ来七日富田章次郎ト晩餐ノ
御誘ヒヲ受ケタルヲ以テ通報ス

四時退社和服ニ改メ六時半山口ニ於テ池田成彬ノ招宴ニ臨ム主賓宇垣
朝鮮総督ヲ始メ財界ノ大立者連ナリ盛会ナリキ

保寧ノ外山本亜欧井上雅二近衛文麿公
御男爵ノ面々ニ会ス

十一時半ニ散会ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	発信	記事
		晴

午前十一時半社寿美ハ午後ヨリ福井（久保夫人ト共ニ）鳥井坂、昌術、那須町ノ岩城并ニ荘田未亡人ノ許ヘ久ノ挨拶ニ廻リ本日夕七時半ノ汽車ニテ下神スルカ為メナリ

朝来晴倉成文太父挨拶ニ来ル

午後一時寿木、三好堤氏ト共ニ成族平風ノ紋頭ニ来リ両氏ヨリ昭和五年度ノカル収支成算并ニ六年ノ予算ニ関シ説明ヲ聴取スお市公成氏位介名刺ヲ持参ス復旧彰古市氏ノ紹介ヲ否謁スルニ不係今朝自宅ニテ夜会社ニ来リテ并明ヲ我ニシトシタルモ之ヲ退カヘセリ

山時退出帰宅

寿美ハ午後七時半山本直文ヲ伴ヒ名草急行ニテ神ノ和出発セリ

受信	発信	記事
		晴 雨曇鳴

保科孝一氏（国学院教授）来訪

父今日本リアルキ

五時半ヨリ

午前十一時半社ヲ出ヅ

午後五時頃雨雷鳴アリ暫クシテ晴ル三時四十分退出其儘倶楽部ニ立寄ル此際大雨雷鳴トナリ又々暫ク降ラス五時小松旅館ヲ出デ帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

午後の時半工野君来る美術会ノ催ニカヽル女性美展覧会ヲ観ル内国博覧会ノ如キ規模ノ大ナルモノニ女性ノ美ヲ集メ行ハヽ内外人ヲ吸ヒ寄スル事疑ヒ無シ分業ヲ主トシ不足ヲ補ヒ池畔ヲ漕遊ヲ主トシ特ニボート漕リ我ヲアリ小舟ヲ以テ池ヲ漕リ水底ハ満員ノ観ヲリ今ヤ日ヲ水田政吉氏及ヒ五十嵐ト会合ス四時西業鴨ト母ヲ訪ヒ夕餐ヲ共ニス女学ト会合ス正午倍俗祝トシテ洋食ヲ出ス人ハ大満足ヲリキ六時帰宅夜分林君来ル武氏ヲ訪ヒ明日ノ寿ヲ祝ス

晴

午前十一時半出社

午後四時半退出丸ビルニ立寄リ六時新橋ニ着ス丁卯会ニ臨ム幹事ノ内鈴木、佐田両氏欠席望月、中橋ノ両氏ト林、小鈴ノ小唄ノ舞リ来会廿四名九時半退出帰宅

佐田ノ寿美ヲリ新宅移転ノ祥祭アリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

記録	受信	発信
晴雲		

老川会幹事ヨリ来ル廿四日
加藤金子邸

来洋懇会評議会
今大阪ビル午後六時
半新、

富田幸次郎氏
招待六時 山口

朝十一時半ヨリ社
今朝十一時島村淑夫（広海郵船社長）二死去ノ
鍋内科ニテ）ノ報アリ
午後三時大谷郵船副社長（登）島村氏社葬
其他ノ件ヲ来ル
午後四時退出新来ノ客ヲ待合ニ於テ林
権助ト午食ヲ認ム面一睹一敗
午後五時半山口ヨリ来客ヲ待合ニ中村啓二郎氏
先ツ来リ続テ来着富田幸次郎ノ両氏藤
桑銭二郎、松田保治郎保一氏ノ順ニテ揃フ伯
爵ノ催ニ懇談会、議長某小鈴綾郎ノ地唄ノ舞ノ余興
アリ長閑ニ午食ヲ認ム後五時半退散ニテ富田氏ト対
スル数ヲ重ネタリ
午後南葉新報社ヲ訪ヒ富田秋次郎氏ノ紹介状
ヲ新井芳友ニ送ル

記録	受信	発信
雨雲		

八日会 来ル五時山口
幹事中島信行、
床次竹二郎氏、

神戸松井郵便局長ヨリ病体
保養願ノ件

病死去

今朝六時過又地震アリ八時前床
午前十一時半出社金次郎村淑夫氏ヲ悔ミ玄関ニ
午後一時電報会社実行会ニ出席
今三時上告負床ニ入ル五百円ヲ援助ス
今小松行一郎氏来訪
今四時松村亀太郎氏来訪
今五時帰宅和井山又来客吉人治ヨリ内政概
況ヲ一電報アリ半電ヲ発ス
六時山口ヨリ来着八日会ニ列ス有名ノ床次氏ヨリ
小勝ノ噺アリ雨後例ノ如シ十時帰宅
来名飛ヒ海収寿実連名ニテ祝メ香典ヲ
松園ヲ贈ル事トス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝九時より内相官邸に於ける失業防止委員会に臨む 出席者 別紙の通り
午前十一時半 西一應帰宅 服装を改めて午後一時より 島村浅夫氏の葬儀に青山斎場に臨む
会葬者 再び帰宅 服装を改めて某倶楽部に於ける 某会に臨む
九時半後会散じ 於ける 一行 葉巻商会に臨み 井上商師外 三浪、樺山、秋山、崔見、余の外 某氏氏と六人より 十時帰宅 西降りし (今夏梅雨支ゆ)

朝九時半箱根ノ大工銭木 来ル 瑞ヶ木費
請負金弐千五百円ノ 残金弐百圓ノ外ニ 瑞金
五百圓合計七百圓ヲ 午後ニ圓満ニ 辞去ス
十二時半社
午後二時船田一郎氏川見
来朝ノ 福井文雄氏来訪
大阪ノ 河方 勘蔵 父来訪
某田帰在中ノ 寿美ヲ 病死セ 其他ノ 要件ノ
通知ス
犬養毅氏ヨリ 金人依頼ノ 富士見 某 某 慶
養所 某外 疎 慶 ニ 援助 弐千万 七 資ノ 件ノ
断ル 四時半帰宅
夜分九時 義介来訪 二 弁 半 辞去 其間地震
アリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時出社
午後一時倉庫常務三橋信三氏引見全氏三菱銀行ニテ考慮中ノ倉庫会社増資ノ件及打合ヲ了ス
松村秀太郎氏来訪
午後四時半退社ス帰宅晩餐後ヲ期ヘ九時廿五分ノ汽車ニテ西下新夫婦ノ新生ヲ祈ル為メナリ車中班南郷社長ノ帰阪ト会合ス
車室前席

雲雨
一泊
民由正六新宅

午前九時四十分神戸駅着正六夫婦来阪幸ヒ出迎ヒヲ受ケ先ツ新宅ニ入リ寿美ニ会合ス
午餐後庭園ノ改築ヲ試ム三時過リ雨降リ中絶夕刻楠瀬康雄夫婦来リ晩餐後正六撮影ノ活動写真ヲ観ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

宿直	雨	暴
発信		
受信		

午後九時頃雨止ム 寿美午代子ト共ニ家ヲ出テ
某家ノ庭先ヲ巡検シ赤坂ノ宅ニ座敷并ニ子供ヲ見
舞風呂ヲ貰ヒテ後一時頃ニ
午後ヨリ後植木ノ杉植其他ノ指図ヲナス
島村八重子来所
電報ニテ無名会ノ出席ヲ断ル
八時三十八分寿美正午代帰ル、赤坂山本ヘ見送ラシム
午後帰宅 徳大寺造船所長、鹿島庁次郎氏
山治ノ諸氏会集

宿直	雨	暴
発信		
受信		

午前九時来京驛着直ニ赤坂ヘ出頭ハレ一應帰宅
服装改メ十一時半出社
午後一時造船重役会ニ列ス
仝四時退出帰宅
寿美ハレ 神戸市長、呈出スヘキ祝賀会座 價格金
二拾五圓永田氏ヘ相渡シ一ヲ送付ス
寿美ヨリ岡ノ吉田（京都）織工製 綴錦 帯地ホカ九
品ノ明細 某町ヘ送ルコトヽス
富士見百余療養所慢動脈ノ治療ニ対シ 犬養氏ヨリ
両方依頼ノ件来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

本厚 帝室 未来　五蘭盆會　七月十五日　新月 ●後九時二十分 帝室 未来 隅次 期 月 日

寛恕 祝 寿福 祭 弔慰　失哲夫常任委員会
内相打合せ午前
九時

会合 受信

午前七時半起床　公九時廿分内相宅　御迎ニ参
矢吹省三氏来訪　委員協会ニ臨ム　智識階級ニ対スル
矢吹省三氏来ル　小委員会決定ノ案ヲ見説
スル事項ノ相談ニ長ク午前懇談ス　委員長欠席
松本幹事代テ答弁ス　十一時半出社　直ニ倉
庫会社ノ重役会ニ臨ミ　幸平夫妻ヲ招ク
午後二時　新素政研究会ニ出席　討議
会社ノ新仕事ノ為　引見ス　武合資
デートンニテ英集ノ　貝類雪六千四百余種　献上ス
納ト十ノ為　奥村天平ヨリ　送リ小川平三氏　共著
山ノ用命ヲ依頼セラル
四時半頃玉ノ井

本厚 帝室 未来　七月十六日　新月 ●後 帝室 未来 隅次 期 月 日

寛恕 祝 寿福 祭 弔慰　北朝鮮介入ニ依リ
全産業談会ニ後
出時

会合 受信

午前七時半起床　社会局
長官招待ニ依リ
午後二時

朝九時半小川平吉氏富士見高原ヨリ来訪　午ヨリ大
養氏ノ命ニ依リ　両氏来訪ス　懇切ナル説明
ニ感激ス　若槻ト会見ノ件ニ付　アラガジメ
セシム　小川氏一旦九段ニ帰リ　更ニ出直シテ
午前十一時半社ニ来ル　重役会ニ列席シ　人事ニ
関スル
○時十六分　青木淳子君夫人本日午後三時
靖国丸ニテ仮葬ノ為　帰京ニ付
今午後二時　工業倶楽部ニ於ケル　全国産業団体
会合ニ臨ミ　北朝鮮ノ　介入ニ関シ　大体ノ
会合ノ上　四時退出　帰宅
午後六時頃ヨリ　倶楽部ニ　奔リ到リ　松本社会局長官ノ
招待ニ依リ　同氏ト　懇談ス　約一時間
十時半退出　帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝十時市中工務店小林利助氏ヲ招キ共田新築
普文拡ノ打合ヲナシ設計並看ノ謝礼ノ意ヲ以テ金
弐百円ヲ公人ヘ金弐百円ヲ現場ノ長田新治ヘ金百円
ヲ公上ノ舟橋要一氏ヘ分送ヲ依頼シタリ十二時半共社
午後弐時小林利助氏未社新築費金壱万九千百五
拾弐円弐拾弐銭ヲ小切手ニテ支払リ
金受取文左氏ニ以外ノ手交ヲ以テ
ニト左ノ事ス

四時半退出上野ヨリ星門町田島ヘ立寄リ花一箱白
梅加月ノ陽ヲ七松園ニテ購フ

弘法大師報謝会評議員某ヨリ

久ニ振ニテ午後ヨリ青天ヲ見ル事ヲ得タリ梅加月ニ
早終リ午前十一時半出社
フートン蒐集ノ負類雲平小川平三十六、十七両日葉山
ヨリ御帰社上ヲ終ル
午後二時頃出共倶楽部ヘ立寄リ五時半郷宅
夜分共ニ来ル廿日家内ヲ用後ニテ見立
泉州堺ヨリ祝下御列士忠魂塔建設費募集ノ為起
人ノ事ヲ頼ル

弘法大師報謝会評議員某ヨリ旨会長壽南伯
ヨリ送ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴

午後一時吉祥寺ヨリ歸リ森町後道路西西笠集ニ不堪歸途ハ正面ニテ甲州街道ヲトリタリ代々幡ノ橋ノ一部補修ヲヤキ却合ハ今様ニ起伏アリサンテ平ラナシ茂ノ赤兒ハ健全母モ今様ナリ六時歸宅

坪井玉吉氏ノ十畝宇中來訪

本日ハ七ツリ九十四度ニエリクハ如アリ夜分九時頃地震アリ時ニハ大ナル胸ヤおとろむ母親の眠ろうが兒ハ殺人ハテモ

天氣 雨

午後東相撲取
三井俱樂部
午後三時

今朝復仇震アリ午前十一時ヶ社
午後一時信托会社重役会ニ列ス
公事時加納治五郎氏國民體操宣伝費募集ノ件ヲ面会未了
置リ
午後三時武田電機会社ヨリ
公四十分工業俱樂部ニ於テ
場ニ住友製鋼所ノ午後餅振ノ
ニ五時過ニ帰宅
京都高島屋主人飯田新七氏夫人昨十九日ニ
列ニ見エヘレヲ能川ニ乳ニ手実リ
昔日列次テ参詣ニ斗拾圓ヲ贈ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

雨

今日八土用入リトナルヲ以テ降リ雨ニテ気温昇ラズ

十一時半ヨリ社ニ妻ヲ保険ノ重役会ニ臨ム

午後一時ヨリ電気会社ニ行キ松岡内閣ニ対シ引見ノ件ヲ打合ス

午後三時青山斎場ニ於テ中野支明ノ告別式ニ臨ム高畑ハ正副ノ役ヲ午十八前様ニ登山指定セラレタルヲ以テ急ノ車ヲ以テ斗野ヨリ帰社

宇垣成総合役渡田ヨリ希望ニ応ジ駆逐艦十二隻ヲ以テ仏ヲ往ク

青木ヨリ仏ニ於ケル自動車ノ件ヲ聞ク

レニ井ノ模様ヲ聞ク

弁中ニ内宿ニ井中様ヲ聞ク

午後六時半ヨリ松岡ニ於テ三名ニ晩餐

藤田政輔来ル

雨雲

午前八時田島南ニ来訪ノ答

朝八時高木次官田島勝太郎氏来訪大臣ノ命ヲ受ケ近ク組織セラルヽ統制委員会ノ委員タラン事ヲ依頼ノ為メナリ萬ト為ス旨ヲ回事スルニト答フ

午前十時半ヨリ社ニ於テ眼科（ビル）ニ通ノ為メ会社ニ頼ヲ出サレタルトノ事ナリ

神ノ三夏聖橋ノ北井屋大武士来訪

午後四時半頃ヨリ帰宅

共楽荘ヨリ時代文庫（二）及命花生（一ヶ）古備前花生（七）赤南甘蕉扇硯（四）珍剛三個ノ漆箱（一）大山焼鉢山中脇立板（一）古ノ屏風金（一八）十マヨ尊武花生（一〇）并ニ石川文山詩古版（一ヶ）画竹屏風掛物山水（八）ノ寄贈ヲ受ケ午前中松四郎ヨリ落札

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝十一時三菱銀行本店ニ寺内室政会ニ出席ス
其ノ
松村董太郎氏未訪
此時半過ニ十九日会ニ出席
九時帰宅
大一同知得税ヲ納入ス

十九日会
三菱銀行室政会
午前十時

郵船室政会
午後二時

銀州被国寺氏ニ依列
士遺跡復興ニ関シ
人ニ対リ書面ヲ以テ
能ハ

郵船会社ニ出席ス
午後二時ヨリ
今朝寿美子ヨリ電報ニテ
帰リ次第ニ直ニ出発ス
シアル様ニ
トノ事ニ付其筋ヨリ
返シタキ分ハ
返シマシト返事致シ置其後未ダ其他ノ件ニ
ニテ依テ中込ム
午前十時ヨリ小林利助氏来訪
永寿ヲ持参ス
午前十一時ヨリ社長室ニ
午後一時ヨリ会議ニ
午後二時ヨリ郵船会社室政会ニ
正有志ヨリ由島次官ニ面会ノ
ヒテ次官ハ会議ノ為メ
キ次官ニ面会
土依列士遺跡復興ニ関シ
ニ付キ会議ノ
午後六時ヨリ
発起人依頼ヲ断リ
来リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴 午曇

本日ハ朝ヨリ気温八十度ヲ上リタリ

午前十時半市中工部庁ノ小林利助氏来ル午後ノ
勝費ノ外二日金午ノ城七円八十銭ノ小切手ヲ以テ支払ヲ
午前十時半ヨリ社 青木常次郎ヨリ松田製銭帯取ニ
依ラザル(朝鮮水産ニ付) 社ヨリ之ニ額放棄ノ件ニ付
青木ヨリ委任ヲ付ヘラレタルニ依リ承諾シテ一件ヲ得
タル旨報告アリ松田常次郎ヨリ招キ社長病気中ニ付
特ニ注意スベキ旨訓戒セリ

午後一時半三井呉服会長川見 京橋出張ニ付朝鮮
無煙炭朝鮮産業ニ会併ノ件ニ付意見開陳アリ

午後三時辰ヨリ帰社

夜分右神 寿美ヨリ今朝十時半仁分 帰着ノ電報ア
リ

晴 午曇

南西ノ風強シ

寿美今朝十時十五分着ノ夜行ニテ神戸ヨリ帰着ノ
好文源伴ニテ帰リ帯在中ノ西方山ノ活ケリ

堀三太郎氏今朝来訪パインアップル四個ヲ贈ラル(取込
中ト見エ会ヒ得ズシテ帰ル)

夜十一時頃寿美ヨリ胸痛起リ暫時ニシテ快
気スヌヲ知ラセヨリハ四五日出勤ニテモ取リタリト
注意文ノ事ナリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候	寒暖	雑記	欠席	遅参	早退
晴					

漸次天候回復ノ徴アリ 十一時半ニ社
午後ニ於テ和栗田川郡清川村清川神社創建願ノ
会成澤 奎吉氏ヨリ慶来ル 土曜日ニ於テ仏事アリ 十日
ニ付テ看会セシメ度旨ヲ以テ
朝辞 水雷此期ニ顔ヲ 三七川亮 奉会長ヲ招キテ
話シ置リ会式ニ 笠川亮リ
当時三分ニ去リ帰宅
寿美八当時ヨリ何ヲ夫人ト用談。

天候	寒暖	雑記	欠席	遅参	早退
晴					

今朝来相（候文調）ニ報有 殿下ニ公務（ロカ
ヤキ）ニ箱（十マヽ）ヲ持来セラル
十一時半ニ社
午後ニ時半ニ社 男子家庭 幸次郎 ニ市ノ三昔
氏今朝病ニ 淡海ノ除疾ニ異状アリ タルニ付仰
為ニ医師ヲ招キ之ヲ 診時ニテ平生ニ
復シタリトテ帰リテ之ヲ 船田氏ヨリ
々加斯 発差アル旨ニテ
当時迄ニ帰宅
於テ時実介来訪 アカエ及 ノ液体及粉末ヲ
新薬ニテ持来 夫々後明ニ処アリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 七十八度

摘要

発信 受信

朝九時半安村利之来れり 弟風太郎印刷に係る書籍入数十度下本書持参 謝礼金百五拾円
巻之八代金百五拾円
神戸塩屋大夫人来訪 午後六時 寿美有会
正午五社
午後三時 倉成文次郎来訪 未社発行に係る雑誌 (社別冊共) 之れ拝呈せり
仝三時 故武内豊太郎 仝参社人 (
来社 父君生前の様子を聞かる
仝四時半過ぎ 其楽倶楽部より六時錦水
に於て松本豊吉氏の招宴 相客応迎 銭共
安原 三萬 両氏より社会風教の話 午後十時退出
松本、仁田の両氏は明治四十三年安原は大正十二年
帝大の卒業者なり 帰途支援の手無産馬トタキシ
トラ呉舞に乗之れ帰宅

天候 晴 寒暖 八十二度

摘要

発信 受信

本日の時半 神戸塩屋 故武内豊太郎氏 仏教師 故武内豊太郎氏 仏教師 故武内豊太郎氏 仏教師

七月三十一日

天氣	晴	摘要	記事	發信	着信	受信	備考

午前十一時四十五分出社 直ニ理事会ニ列ス
午後二時半西園寺公来訪 井次前式未了ノ件ニ付内談 井ニ来月末ニ公会議ニ出席勧誘ノ件ニ付内談
三島公新任ニ付 井ニ代理ヲ為メタリ
午後六時半散会 式ニ列ス 井次前式未了ノ件ニ付内談 西園寺公来訪 出席勧誘ノ件ニ付内談 三島公新任ニ付 井ニ代理ヲ為メタリ
午後六時半散会 式ニ列ス 井次前式未了ノ件ニ付内談 西園寺公来訪 出席勧誘ノ件ニ付内談 三島公新任ニ付 井ニ代理ヲ為メタリ
午後六時半散会 式ニ列ス 井次前式未了ノ件ニ付内談 西園寺公来訪 出席勧誘ノ件ニ付内談 三島公新任ニ付 井ニ代理ヲ為メタリ

印紙税法第八条第二号ニ掲ケル文書ニ付印紙ヲ貼ラス



海水浴場

一汽車ごとに吐き出される人達は鐵のやうに海岸にあつまる。晴れた日曜の海の人出。さら〳〵する砂濱に花のやうな紅紫の日傘。強い色彩の海水着と帽子。こゝではすべてがモダンな色と形を見せてゐる。高い櫓から飛び入れば海の底は鏡のやうに青い。小さな魚がすばしこく走る。泳ぎ疲れて砂に背を干す男と女の群は海豹のやうである。夜は花火と餘興場のシネマ、香具師の口上に人だかりのする傍では笑ひくづれる村相撲。遠くで盆踊の太鼓も聞える。

行事

一日 八朔（旧暦八月朔日の称） ・氷川祭（武蔵・林間及臨海学校開かる・千日詣（京都愛宕神社）
二日 土用二の丑
北野天満宮祭（山城）
四日 成田祇園会（九日迄）・建部神社納涼祭
七日 精霊迎（六道詣の始日で本来は盂蘭盆会）・星下り（大阪中山寺）・盆会（三日迄）・西鶴忌
十日 王子神社相撲（十二日迄）
十二日 鹿島祭（六日迄）・筥崎祭（三日迄）・八幡祭（東京芝・牛込・赤坂・市ヶ谷・神田・日本橋・京橋・深川・上六・八尾・八尾）・放生会（石清水八幡宮）・鶴見町天王祭・題目踊（京都愛宕神社）
十五日 大文字火（京都如意ヶ岳）・三島祭（伊豆）
十六日 堀の内妙法寺子部会（二十六日迄）・御国祭（京都）・長田神社祭（神戸）
十九日 鎌倉国祭寺蟲干（二十日迄）・愛宕山燈籠焚き（京都）
廿一日 住吉神社神輿渡御
廿二日 鎌倉建長寺開山忌（二十六日迄）・筥崎宮放生会（二十四日迄）・神幸祭
廿三日 鹿嶋神宮例祭
廿五日 藍島祭（福岡）・八幡
廿六日 富士吉田日鎮火祭
三十日 日御供合祭記念日
○土用後去最調濕及び蟲盛期の為十〇下旬頃梅雨季の降
防。

養生

不潔の食物を食する勿れ、不潔物の前除を怠る勿れ、室内通風の注意を怠る勿れ。

八月問題

お互にそゝり病ひにかゝらぬ様いたしませう。

御子の濱邊（俳壇）

月もまだ小さな爪のうへ、
今宵みる影 鏡 筒、
ハワイギタアの洋もやろう。
踊子の夕風身に添ひて
踊る男女人の影 き
（夏祭の酒ワイキキの
如き夜の夢おもひ見ち。

立秋 八日（後九時四十二分）

暑さ 廿四日（後〇時十一分）

上弦 七日 ● 新月 十四日 ○ 上弦 二十日 ○ 満月 廿八日

季寄

時候 初秋、秋の蝶、秋風、稲妻、秋暑し、秋風、花火、鈴蟲、松蟲、花野、秋の蝶、秋の空、秋の蝉、下り鮎、秋の蚊、蟋蟀、秋扇。**花卉** 蓮、秋海棠、蘆湾、女郎花、紫苑、澤瀉、月見草、夏菊、野菊、萩、美女櫻、桔梗、向日葵、松蟲草、百日紅、朝顔。**蟲類** 鯛、烏賊、蟹、鰹、鮑、紫蘇、茗荷子、新甘藷、枝豆、瓜、刀豆、南瓜、冬瓜、葡萄。

外景

蟬時雨に風鈴音なく、避暑、海水浴に赴く者いよ〳〵多い。納涼には品川、大森海岸、京都四條河原、糺の森などよく、舟遊には多摩川、宇治川など興深い。山には天far村、水には海の家など開かる。大川筋水泳。高原のキヤムピング渓流魚の膾に和して鬼気人を襲ふものがある。不忍池、巨椋池等蓮花見物。朝顔咲いて百花園に遊ぶも雅致深い。王子神社撲祭には古來遠近に名高き田楽舞あり。盆踊り催さる。月に夜毎に冴えて終日見物。明笛の散歩何れも涼意を誘ふ。

納涼

（東京郊外）大森・蒲田・穴守・羽田・鈴ヶ森・大井・品川（東京湾）多摩川原（神奈川県）多摩川原（神奈川県）多摩川原（神奈川県

記事	摘要	欠席

天氣 晴 寒暖 晴

十二時卅分本社
午後、月曜日(休業)ニ付 理事会(臨時)ニ出案ヲ通
決スルコトニテ 三井十番ヘ対シ注意ヲ発ス
午後三時半退出帰宅
午後三時半寿美ト 金平吉祥寺別邸ニ至リ
夜半月ヲ賞シ帰リ 帰路ニ景色ヲ
及バス
萬生庵ニ夕日ヲ落ちて黄昏ノ
芝生ヨリ出タル 桜ノ下風

記事	摘要	欠席

天氣 晴 寒暖 八十七

夜ニ入リ天気定マレリ 宗瓜除ロニ来リテ 瞰望ヲ
洗フ終日客無シ 静養ス
大空ニ片ホキ月ノ影ヲ一ツ
秋風ノミニ 夜ノ更ケ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴
気温 最高 最低

朝十時吉祥寺ヲ出テ 十一時出社
午後一時理事会開催 朝鮮出張 江水電事
着午此期報告 各会員ノ意見ヲ聴リ 青木
常務幹事代ッテ 後来 午後一時ヨリ及 本件ノ外ハ
此上ノ意見ナシ 閉会ス 此期ニ閉
社員ノ意見ヲ聴キ 午後四時ニ閉会ス
半ニ八ル本日出席ハ 半町、三宅川、舟越、横田
三名、三橋、三好ノ各会員、永奈、奥村、原ノ
各幹事ヨリ 会員ノ自由ニ 能リ知得セル
依テ 此時閉会ス 後来 後ノ
陰キ明日各員ノ 自由 ヲ行フ 明
改メテ正式ノ理事会ヲ ヲトシテ 散会ス
八今夕旅行ノ件 此期 言明ス
仲査保証ニ着キ 武田常務会長ノ 名ニ
五時上野下着 各自 七時半帰宅ス

天候 晴
気温 最高 最低

十一時四十分出社
午後一時前支部改称ノ 長野村来ル 式来ル 製
銭所会ノ案ノ件 余ノ意見ヲ ダ
本日理事会開会ノ 自由 ヲ行ニ 依案 明日
ヲ正式理事会ニ 差支ノ向モアル 仕明後六日午前十
時半ヨリ開催ヲ 議ニ決リ 月ス 散会
員モ本日 帰京出席セル
四時半頃ニナッテ 錦絵ノ 額縁（相撲用）ヲ
来ル（五月五十枚）
夜分 銀川 来ル 明治銀行派出 支店 百円
借主ハ久保ヨリトノ
今朝来訪ノ 矢野利 ヨリ春 子
ヨリ申込ノ件 御断ノ 久保

晴

朝十一時半出社

武田電務会長本日甚未山へ登り午後下降前に何人かにて打ち上げ祝賀会開催の筈なり

一、昨日より引続き依頼し置きたる支村へ用立金四時より帰社

一、依頼の件は不成立の旨申し越し来れり

一、三好常務より此際水電工事放棄して自個拡張の意見を述べ又有力なる公式筆頭株主の意見を聞くべき旨申し越す

一、午後一時より重役会を招集し水電問題に付自個拡張の意見を聞くべき旨申し越す

一、五時退社帰宅六時和服にて池田の会合に赴く船田氏主人役なり

一、昨暮一面識なき某氏より書面到来

晴

朝十一時半出社

一、前十一時より重役会を招集し水電問題に付自個拡張の意見を聞くべき旨申し越す

一、午後一時より重役会を招集し水電問題に付自個拡張の意見を聞くべき旨申し越す

一、三吉常務より重役会を招集し水電問題に付自個拡張の意見を聞くべき旨申し越す

一、五時退社帰宅六時和服にて池田の会合に赴く船田氏主人役なり

一、昨暮一面識なき某氏より書面到来

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴　寒暖　風位　雨量

午前十一時六社
壽美本日登山ノ筈ナリシモ昨今
ノ雨天ニ貴志親子及他人ノ児一人朝ノ汽車
ニテ先ヅトシテ出立ス
花津江水電ノ件ニ付キ理事会ノ模様并ニ私見
ヲ述ベシ而シテ其ノ間ニ避ケ得ベキ者
ノ社次ニ充テ就テハ先ヅ手ヲ揃ヘ着手ス
ベシ而シテ
四時半頃ニ支度シ終ヘ仏壇ニ供養
後中度ハ時半帰宅

天氣 晴　寒暖　風位　雨量

午後雨ヲ
朝十一時ヨリ社参山中ノ用意トシテ例ノ通実印ヲ用
ヒ秋毒役ヲ托ス
午後二時半ヨリ臨時会ヲ行ヒテ壽美ト共ニ来会諸
氏箱根ヘ向フ三名夫婦濱田親戚
ハ湯河原ヘ濱田ハ清川荘ヘ向フモノトス
六時五分強雨ニ着別荘ニ入ル涼風稍ヲ吹テ来快
シ

涼風ニ更ゆるもなりけり　九一下
下弦月を舟のりおくれる尺

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

皆晴

早朝艸ノ湖見南花ノ社長ヨリ深瀬ヲ以テ朝鮮水電ノ書面ヲ中越ノ件ハ全ク公底ヨリ双方ノ取斗アリ名トノ上ニテ其向ヲ電話ニテ青木ヨリ申越シニ付キ移牒セシ

終日引続キ客夜分三名夫婦来訪

小夜更ケテ帰リ去ル

山本氏ノ都合ノ者

晴

臺灣會社ヨリ書面到着ニ付キ用

滞ヲ正前九時ヨリ

場ヘ

安城何某ヘ

安城市林学校ヘ

開市天候曇ヨリ夜雨ニ成ル大阪入院中前田ヨリ電話ヲ以テ移牒アリ供物ノ儀ハ会社ヨリ三木トアリタルト雖モ直接秘書役場ヨリ電話ニ及ビ又ハ電ト供物取計方ヲ依頼ス

夜分艸ノ湖ヨリ夜雨ニ成ル供物ニ付深瀬ヘ会セアリ

天候 晴

統制委員会委員
被仰付
内閣

夜雨
生茂る樹々枝も黒ばみ朝ありおとつまで寒し

天候 晴夜雨

暑気強り来京いれず斗度トゆり
夕刻 春美ト共ニテーブルニテ上野ニ出ル 帰リ来日及来銭
牛像 早安山麓キビンゾノ模様ヲ視察ス帰社
スレバ久奈屋ヨリ執筆未済今暁五時迄ニトリ急ギ仕リヲ
ヘキ様ニトノ事ニテ 一若衆会ヲ
八時半久奈来ル江木会相 其後早安山本横二郎氏訪
問ヤリトノ事ニテ主要ナル会ト会見ノ為メリト覚ユ 政
治的談得ノ心組ナリト見ルモカカリ 全人ノ生ト覚ル
夜半降雨 来京ノ事歌舞伎座ヲリトヤリ
早安山本ヲ迎ヘ新ニ天幕ヲ張リ
ヲ催ス事ヲ
降雨ヲ冒シテ天幕ノ床ヲ
小林政明翁仙石秀之ヲ迎ヘ
会ス山父ヲ本命ノ
泊ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

半晴

外出セズ

晴

午後七時頃ヨリ
休暇許サレ又見合ストノ電報ヨリ
正六ツ大帰リ来庭イ見合セトナル 元天帰 聊大望
仲ヨリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 曇 雨

發信 受信

午後四時半頃ニ木銭相手ニ富士屋ニ見舞ニ行ク 途中ニテ雨降リ出ス 七時半帰庄ス 夕食後 小川 岩倉 徳三氏来会

夜分 正二時ニ寝ル

十八日迄休暇ヲ許サレタリトノ報アリ 八時半五分ノ汽車ニテ帰庄ノ筈

江戸時代後期の政治家・儒学者（一七九八―一八五九）。藩政を改革し藩士と領民を教導した。（明治一一―一二）開港ヲ主張シ開国進取ノ国是ヲ定メ国運ヲ興隆ニ導キ



天候 晴
寒暖計
雨量
社會の今日
貸借
受取

芳ノ岡ヨリ社長ヨリアスパラガスヲ贈ラル

朝晴天帰庵ヲ急ギ午前九時自動車ヲ走ラス山中湖ニ向フ御殿場ヲ過ギ午後一時半山中湖畔ニ着ス直ニ会社ノ支店ニ荷ヲ解キ正午ノ汽車ニ乗ル筈ナリシモ車中ニテ昼食ヲ済マシ午後二時半ノ汽車ニ乗ル沼津ニ着シ直ニ人力車ヲ雇ヒ千本松原ヲ過ギ三時半頃帰庵ス

貸借
受取

沖縄ノ空ヲ偵察ス

天候 晴
寒暖計
雨量
社會の今日
貸借
受取

朝早ク起床庵ヲ清掃セシメ八時正午ノ汽車ニテ友人三人来訪ス正午ノ汽車ニテ帰京ス午後ハ来客モナク閑ヲ得テ読書ス夕食ヲ終ヘ入浴ス

八月十九日

朝早ク起床庵ヲ清掃セシメ八時正午ノ汽車ニテ友人三人来訪ス正午ノ汽車ニテ帰京ス午後ハ来客モナク閑ヲ得テ読書ス夕食ヲ終ヘ入浴ス

天候 晴 寒暖 降水 なし

午後五時頃岩奈証三氏ノ別荘ヲ訪ヒ用談ヲ了ヘ
ここで帰ル

天候 晴 寒暖 降水 なし

午前八時迎社長別邸ヨリ午餐ヲ催メラレツヽ
午前中ヨリ来邸アリタルト電話アリ某氏ヲ
十八時四十分ヨリ湖畔男爵荘訪問 林伯爵ハ二、三
日前ヨリ初氏ト今朝七、山セリトノコトデ午餐ヲ
共ニスベク二年鱒ト知雑ニテスパラゲスヲ馳走ハナヲ食
スベクヲソーリタル 食後モートボートニ搭乗快速力ニテ
湖内一周四時頃迄ニ五時帰荘 電話ニテ夜杉ス
此日午前五時ヨリ例ノ通宝城邸 蕎麦少シ大阪ニテ持ヽ
来シテ来メタル 天然産用竹数ヲ持参ス

日夜通して作屋の門下に立番し 警官

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 計

發信 着信

休日

天氣 晴 寒暖 計

發信 着信

午後青木氏より中華民國水害救助募金等集の件に付若槻首相より未曾有の集りなれども実業界会員としては余に別に指示を仰ぎ度旨申出ありたるに付其儘にて可然旨返事す

午後六時鈴川美介氏山本内務大臣より泥棒驛前に活動寫真を観る用務ありとて（別荘滞在）明日午時伺ふ旨電話ありたり

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候	寒暖	記事	發信	受信
晴				

朝より午後一時頃迄に大阪及来宗之旅客、保養冷水倉庫に数百人を見る。藤取大国第十時前来訪。支那水害救助の件にて打合せ、正午に帰り午餐。有志諸氏に招かれ会食。夕七時客人を待受居りしも不来。止むを得ず帰宅。

美介八江木銭相手久話。富士屋、訪ねず。

天候	寒暖	記事	發信	受信
晴		午前宮島秩淵来訪		

寿々代誕生日

鮎川美介八大時四十五分ノ汽車ニテ下山七時十分例ノ二ノ手ノ自動車(宇治之)ヲ雇切壽美会道費ヲ支拂ヒ供ニテ箱根ヲ発ス。後ニ続テ修善寺ニ向フ金次郎ハ田村山中ニテ宗国寺ニ立寄ル手ハ田山中城ノ出丸タリシ位置トアリ寺側ノ木ノ下ニ一柳伴三宇ハ直木ノ墓(大徳門)及山中ノ城主松田兵衛大夫秀植、南宮豊前守忠高父子四名ノ墓アリ秀吉北条征伐ノ時一柳伴三宇ハ大変ニテ此方ニ攻入リ南宮法印(法号)ノ銭他ニテ撃タレタルモノ後年南宮邸ニ勝ノ使ヒ久ノ方家来ヨリ此所ニ一寺ヲ立テ父兄ノ菩提ヲ弔フ宗寿ノ妻夫寺ヨリ得タル寺ニテ七ツテ此寺ノ本尊トス一柳ノ位牌ハ後代一柳家ヨリ建立セシ者ニテ現住ハ一柳家ヨリ来ル者ニテ寺守リヲ兼ネ居ルト云フ。修善寺ニ達スル八十時半先ツ模様ノ様子ヲ聞テ十一時菊屋到着

天候 雨 寒暖計 最高 最低

臥夜半ヨリ雨降リ出セリ小雨ナレモ雨勢ヨリ盛ナリ午後ニ至リ雨止ミ空ハ晴レ渡レリ

前ニツヾキ

ヨリ午餐ヲトル（支拂十円、茶代拾円ヤ五円）休息三時間池ノ汲及ビ築山ノ構造ヲ調ベル一公ニ道ヲ様返スモ出サヽヒ思ヒト斗時発代迄手ヨリ枝折仔来ニテ来海岸ヲツタヒ勅使海小田原ヲ往テ陸道ヲ帰着セシハ六時五分ヨリ仔来ヲ勅使海ノ間ハ益興仕候中特更危険ヲ感ジタリ

秋草ヲ殿ノ坊ニテ（自動車仕来候処）

殿下ヲ始メ海ヨリ上ラントスル猫田ヲ始メ其ノ外ヲ小波ト云ヒ（山中城跡ヨリ三島ヲ眺ム）

赤衣ノ家唯一ニ燈仕候青田ノ風ニ東飛行（竹葉亭ニテ）

天候 雨 寒暖計 最高 最低

本日静宗ヨリ徹去リシテ一時明朝ヨリ此期セントシタリ午後四時半頃来宗ヨリ会社秘書役瑞ノ木氏ノ報道ヲ以テ濱口氏危篤ニ陥リ今ヤ危篤ノ状態ニ入レリト電報ヲ得タリ之ヨリ富士屋滞在中ノ江木鉄相ニ乳スレ直ニ東京ヨリ直ニ服装ヲ改メ六時五分下山小田原駅ニテ帰京ノ途ニ就ク日々夕刻ニ三時半五分発国府津ニテ東海道線ニ乗替ヘ九時半来宗駅ニ着手帰宅其後ニテ十時半頃（渡辺氏邸ニテ夜食ヲ喫シ田所氏ニ立寄リ夫ヨリ会合ス中島沖国次ヲヨリ報告ヲ受ケ夕刻ヨリ会合ヲ始メ十一時半頃ニ至リ来ル十会合ヲ終了ヲ告ケ帰宅ス

遺骸ヲ帝大病院ニ送リテ送リテ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 八十八分

午前九時半ニ出テ金次(刑髪十一時ニ社
午後ニ時三仲帝男ヲ招キ共ニ津江工事ニ期ニ就キ
為正ニ、朝鮮ニ赴ク事ニ決ス
五時頃ニ上京ヨリ帰リ来ル七時帰宅 若熟ヲ送セ
ニ分ニ終メリ

悼黄口前首相
棟梁ニ材ヲ倒ニ下ス建山ノ眺めさり

天氣 晴 寒暖 八十八分

午前九時半ニ出テ金次(刑髪十一時ニ社
午後ニ時三仲帝男ヲ招キ共ニ津江工事ニ期ニ就キ
為正ニ、朝鮮ニ赴ク事ニ決ス
五時頃ニ上京ヨリ帰リ来ル七時帰宅 若熟ヲ送セ
ニ分ニ終メリ

悼黄口前首相
棟梁ニ材ヲ倒ニ下ス建山ノ眺めさり

天氣 晴 寒暖 八十八分

午前九時半ニ出テ金次(刑髪十一時ニ社
午後ニ時三仲帝男ヲ招キ共ニ津江工事ニ期ニ就キ
為正ニ、朝鮮ニ赴ク事ニ決ス
五時頃ニ上京ヨリ帰リ来ル七時帰宅 若熟ヲ送セ
ニ分ニ終メリ

悼黄口前首相
棟梁ニ材ヲ倒ニ下ス建山ノ眺めさり

天氣 晴 寒暖 八十八分

午前九時半ニ出テ金次(刑髪十一時ニ社
午後ニ時三仲帝男ヲ招キ共ニ津江工事ニ期ニ就キ
為正ニ、朝鮮ニ赴ク事ニ決ス
五時頃ニ上京ヨリ帰リ来ル七時帰宅 若熟ヲ送セ
ニ分ニ終メリ

悼黄口前首相
棟梁ニ材ヲ倒ニ下ス建山ノ眺めさり

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

今日、昨オヨリ京ヲ加ハリ後キヨシテ前十一時ヨリ社
会半日比各ニ式場ニ赴キ正門ニテ中村啓次郎、九山座
古三木武吉、山地元治太郎等諸氏ト相並ビテ整極ヲ
御ス二時十五分頃着式畢ル八日昔如ク安ヲ用ユ戎衆
ヨリ何ヲ右ニ護衛来伐委員第、二八会工作人会等相
連リ九ト外国使ニ岡係貴賓ヲ両先文武官等ヲ以テ
ル条ニ平田大教正、糸司ヨリ引続キ若槻礼次郎、小山松吉
陵副議長、糸司二陛下ハ代拝ヲ差被下ル旨ヲ
玉ヒ次イデ枢密院議長ノ代拝ニ依テ正
式ニ終了ス帰宅ノ上ハ午後ヨリ依テ正
礼服ニ改メ午餐ヲ喫シ午後一時ヨリ依テ正
事ヲ廿ヨリ手ヲ洗ヒ其後ノ混雑ヲ避ケ二時ニ
きり二時ニ至リ大磯ノ寓ヲ発シ帰京ス
余ハ一時迄斬リ其帰ヲ跡シ自動車ヲ駆ヒテ帰宅ス

大正の御代も今日で終きこのし
すえ為めと思ひて

秋冷ヲ催ス
午後十二時ヨリ祥手別邸ニ
ル為ニ寿美ノ帰京ヲ送リ
ニ従事シテ七時頃帰宅
寿美ハ廿日三時箱根ヲ出発
ル仲六時過帰宅
志祥手産唐茶ヲ贈ラル
唐辛茸ヲ余ニ相伴ス
贈ラル宮城産ノ宮城野村牧場ノ牛乳(一日分ニテ
二階建近所五十三坪三勺
内下七坪五合、上十九坪五合三勺
昭和六年八月十日、登記

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候	雨
寒暖	六十七度
降雨	

欠席	遅刻	早退

社會の今日

昨夜より雨肌寒し
午前十一時十五分起床
午後一時頃夜食天丼を食ひて南陽堂に赴き
帰りに貸本屋より紙数件を借り受け一次若干を読
リトスより
船田氏より内貴令嬢縁談件を聞合せ
船田邸にて主人先ず帰宅川見
午後四時半頃

夕されば青き蓮のおけに来てもちやうちやうむ　内藤鳴雪

大正天皇崩御謹報（明治一二）　伊土下リヤリー戦（一九一一）



新秋星座　残る暑さも日ごとに薄らぐ。いつも出す様蚤の下でもう蟲が啼いてゐる。京市の夜明りか、町の遠い灯もことに懐しく、空の星の色も浮えて美しくなった。白い天の川が悠久な星座の中を縫ふてゐる。オリオン、大熊星、獅子宮、それぞれの座に輝く何百萬といふ星の數。夜天を仰ぐごとに宇宙の神秘の無限を感じさせるのもことに秋である。葉がかさかさと音する度に雨かと驚く夜空。ラヂオの新内の聲も何か感傷を誘ふ。白い蛾が電氣の笠の廻りを飛んでゐる。

行事

一日　各學校始業・鹿島祭（當麻・大震災反省記念日・關東廳始政記念日・神皇苑八朝祭・松尾神社八朝祭
二日　鎌倉圓覺寺開山忌・庚申
六日　甲子
八日　上州太田子育觀音開山忌・二十六夜待
九日　重陽節句（菊酒を飲み菊湯を浴び・後の節
十日　富士閉山
十一日　二科・美術院等の繪畫展覽會開かる
十二日　芝神明生姜市・日蓮上人法難會・寒也忌・己巳
十三日　乃木祭
十四日　芝大神宮祭（四日間）
十五日　神田明神祭・横濱山王祭・石清水・鎌倉・藤崎各八幡宮祭（横濱山王祭は八月廿五日より三日間）
十六日　向島秋葉神社祭（八月廿五日）
十七日　鎌倉半僧坊大權現祭・京都大悲山緣日
十九日　正岡子規忌・鶴島祭（大阪）
二十日　社日
二十一日　彼岸入り（行事参照）・六阿彌陀詣（東都の當は一日江島入り八日一日・六日の二日・七日の三日・八日の四日・九日の五日・十日の六日・十一日の七日・十二日の八日・十三日の九日・十四日の十日・十五日の十一日・十六日の十二日・十七日の十三日・十八日の十四日・十九日の十五日・二十日の十六日・二十一日の十七日・二十二日の十八日・二十三日の十九日・二十四日の二十日・二十五日の二十一日・二十六日の二十二日・二十七日の二十三日・二十八日の二十四日・二十九日の二十五日・三十日の二十六日・三十一日の二十七日・三十二日の二十八日・三十三日の二十九日・三十四日の三十日・三十五日の三十一日・三十六日の三十二日・三十七日の三十三日・三十八日の三十四日・三十九日の三十五日・四十日の三十六日・四十一日の三十七日・四十二日の三十八日・四十三日の三十九日・四十四日の四十日・四十五日の四十一日・四十六日の四十二日・四十七日の四十三日・四十八日の四十四日・四十九日の四十五日・五十日の四十六日・五十一日の四十七日・五十二日の四十八日・五十三日の四十九日・五十四日の五十日・五十五日の五十一日・五十六日の五十二日・五十七日の五十三日・五十八日の五十四日・五十九日の五十五日・六十日の五十六日・六十一日の五十七日・六十二日の五十八日・六十三日の五十九日・六十四日の六十日・六十五日の六十一日・六十六日の六十二日・六十七日の六十三日・六十八日の六十四日・六十九日の六十五日・七十日の六十六日・七十一日の六十七日・七十二日の六十八日・七十三日の六十九日・七十四日の七十日・七十五日の七十一日・七十六日の七十二日・七十七日の七十三日・七十八日の七十四日・七十九日の七十五日・八十日の七十六日・八十一日の七十七日・八十二日の七十八日・八十三日の七十九日・八十四日の八十日・八十五日の八十一日・八十六日の八十二日・八十七日の八十三日・八十八日の八十四日・八十九日の八十五日・九十日の八十六日・九十一日の八十七日・九十二日の八十八日・九十三日の八十九日・九十四日の九十日・九十五日の九十一日・九十六日の九十二日・九十七日の九十三日・九十八日の九十四日・九十九日の九十五日・百日の九十六日）
二十二日　彼岸入り（行事参照）・六阿彌陀詣（東都の當は一日江島入り八日一日・六日の二日・七日の三日・八日の四日・九日の五日・十日の六日・十一日の七日・十二日の八日・十三日の九日・十四日の十日・十五日の十一日・十六日の十二日・十七日の十三日・十八日の十四日・十九日の十五日・二十日の十六日・二十一日の十七日・二十二日の十八日・二十三日の十九日・二十四日の二十日・二十五日の二十一日・二十六日の二十二日・二十七日の二十三日・二十八日の二十四日・二十九日の二十五日・三十日の二十六日・三十一日の二十七日・三十二日の二十八日・三十三日の二十九日・三十四日の三十日・三十五日の三十一日・三十六日の三十二日・三十七日の三十三日・三十八日の三十四日・三十九日の三十五日・四十日の三十六日・四十一日の三十七日・四十二日の三十八日・四十三日の三十九日・四十四日の四十日・四十五日の四十一日・四十六日の四十二日・四十七日の四十三日・四十八日の四十四日・四十九日の四十五日・五十日の四十六日・五十一日の四十七日・五十二日の四十八日・五十三日の四十九日・五十四日の五十日・五十五日の五十一日・五十六日の五十二日・五十七日の五十三日・五十八日の五十四日・五十九日の五十五日・六十日の五十六日・六十一日の五十七日・六十二日の五十八日・六十三日の五十九日・六十四日の六十日・六十五日の六十一日・六十六日の六十二日・六十七日の六十三日・六十八日の六十四日・六十九日の六十五日・七十日の六十六日・七十一日の六十七日・七十二日の六十八日・七十三日の六十九日・七十四日の七十日・七十五日の七十一日・七十六日の七十二日・七十七日の七十三日・七十八日の七十四日・七十九日の七十五日・八十日の七十六日・八十一日の七十七日・八十二日の七十八日・八十三日の七十九日・八十四日の八十日・八十五日の八十一日・八十六日の八十二日・八十七日の八十三日・八十八日の八十四日・八十九日の八十五日・九十日の八十六日・九十一日の八十七日・九十二日の八十八日・九十三日の八十九日・九十四日の九十日・九十五日の九十一日・九十六日の九十二日・九十七日の九十三日・九十八日の九十四日・九十九日の九十五日・百日の九十六日）

衛生　食傷の際には先ず吐かせるを以て過食を慎み又其事清潔法を行ふ。

九月標語　冬の準備に取りかゝりませう。

季寄　霧、鯖雲、稻妻、名月、桐一葉、稻雀、秋の雨、蟋蟀、鳴子、案山子、秋の川、落し水、秋の山、初雁、漉鮎。
〔冬〕木枯、萩、薄、蕎、四季咲杜若、水引、鶏頭、木芙蓉、我木香、睡蓮、蜀葵、龍膽。〔夏〕落鮎、かます、ひしこ、かじき鮪、小かれひ、鰻、鯊、唐の芋、八ツ頭、蓮根、牛蒡、蕪菁、きくらげ、梨、葡萄、無花果、柘榴、棗。

外興　老の秋！　武藏野に史蹟を探るを第一とし、月の石山、虫の鳴く野も捨て難い。或は秀取、鹿島に參詣して利根水郷の秋色を訪へば盧花白く咲き亂れて歸帆裕の如くである。二科、美術院等繪畫展覽會見物。寺々彼岸の參詣者に賑ふ。饌守祭行はれ、豐年踊り催さる。不動ヶ岡不動尊には古例の火渡式あり。萩、彼岸花見物。はせ肥えて東都名高き釣場所に天狗連等の行列恰かも尾花野を見るが如くである。

内趣　名月に俗友の集り。初鮭、香魚、花壇の手入れ。紹干談調、新狸、みつば、京菘類の播種。牡丹、芍藥、鹽鯛の分譲。葉鶏、紅梅、葡萄の挿木。果樹の冗枝伐採。諸作物の除草中耕、施肥。宿萌除。

九月釣暦

はぜ（俗稱新幡）・あじ（中旬から下旬）・いしもち・たこ・あなご・こち・ぼら・あいなめ（全旬から下旬）

釣場所　東京附近では大川筋・中川尻・芝浦・洲崎附近・羽田海近・大鳥川（各川から釣船あり）・葛子安・種蛋沿岸一帶・國府にては巢州淺鯛は、たこ・太刀魚などの遊漁に適し、深川尻・神崎・川尻・堀津西の宮一帶の海岸では、はぜが盛んに釣れる。

釣法には、目黒蒲田電鐵沿線（池上線・池上・蒲田・目黒線・目黒・蒲田間）・京浜電車（京成電車・押上・曳舟間）・東武鐵道（東武伊勢崎線・浅草・曳舟間）・京成電車（京成本線

天候 曇晴 寒暖 計 欠 缺 席 届 遅 刻 早 退 欠 伺

本日ハ大震災後八周年ニ当リ被服廠跡ニ於テ追悼会ヲ行ヒ
其ノ後ニ於テモ拾五万人ノ霊ヲ合祀シ大火防止ノ
法要アリ
午前十一時半ニ社
午後壱時半ヨリ東京府水災公債会(日本橋区会議所内)
ニ於テ金壱千円ヲ寄附ス 畑井業武ト面会 氏ハ六朝
富田章次郎氏紹介ニテ 畑井業武ト面会 氏ハ六朝
日ニ来訪、朝鮮ノ事情ニ付キ意見ヲ交換シ 尚ホ当社ニ
対シ信用セラレ居ル旨ヲ語リ 今月廿四日倶楽部ニ於テ
午餐ヲ共ニシ懇談セラレンコトヲ希望シ 尚ホ
午後ニ於テ 斗六園ニ於テ会合アルヲ以テ 之ニ
出席セラレンコトヲ勧メ 来リ会セラルル旨ヲ答ヘ
(一四七百円三井有楽支店ヨリ受取)
帰社ス
四時半退社

天候 雨 寒暖 計 欠 缺 席 届 遅 刻 早 退 欠 伺

朝九時半頃ヨリ雨降リ出シ未ダ止マズ
夫レニ差支ヘ候会合モ無之ニ付キ
本日ハ出社セズ自宅ニ於テ
書類ヲ相調ヘ居リタル外
十二時ヤ社
同氏ヨリ金五千円ニ付キ
ヨリ電話ニテ
四時半退社 光悦ノ会合ニ立寄リ八時帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝九時半天村利之條介弁氏来訪ライノタイプノ
型看ヲ持参ス
正午過二十分土社寿美子宝科入交迄合伴ス
二時半過ヨリ上野ニ赴キ日本美術院々画会ヲ観ル会所ニテ横山永邦氏ニ会ス目ニ残リタルモノ
ハ院宅ノ屏風(大波ヲ)武山ノ鶏々ヲ観ノ抓リ絵ハ
各六隻描造展ニテハ日名十余三氏ノ肥刻ヲ忠源
ノ絵、木ノ精其ヲ十ノ描画ヲ一隻ヨリ五時過
帰宅

晴

五日会 池田

海の雅事気ず見余
午後三時
会合見雅ヲヨリ
来ル参銭参名
午後六時半

正午土社
午後一時西岡竹次郎氏来訪会人ノ話ヲ少キ来周日曜
雨未スリントヨリ電リ
会ス時新井喜雨(観文ノ良)氏来訪無量陸治氏ヲ
観文ノ助筆ヨリ依頼ヲ承ケル旨ヲ答ヘリ
午後二時頃ヨリ十日余臨席ヲ為メ久遠山ノ社邸ニ赴ク
会スル者甚観者相伯メ江木氏ヲ除キタル外係全部俄出
ノ商大臣鈴木久川氏新田友良
トトテ田所美治山地元太郎、野村静久馬金子直吉
ノ諸氏ト親戚外甚ヲ名ヤリ平田奈主ノ祝詞ハ近
親ヲ喝咽セシメ一同モ感ヲ催シ二首ノ一首
久遠山の……松ヲ植ヨヲ
ナリ
四時半帰宅ス時池田ニ於ケル五日会ニ赴カレ時半
帰宅自分主人役ヲリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

本日雲多く降り八十五度ニ九九時四十五分也社
十時三菱銀行役会に於ける業務の決定々十分ニテ閉ム
午後一時帝室林部長ヲ招キ新井藏先分支拂擴
ノ合分幹事住金二分人意向ヲ乞ヒ返事ヲ
明六日ニ約ス
午時倉成文太氏来訪
今時半山地土俣太郎氏松田源治氏依頼ノ件ニ付来訪
辞去ニ返事ヲ留ム
藤仔鮒氏ライノタイプ設計完成ニ付説明ス処アリ
三時半辰出掛ケ五時壽美会迄祥手ニ乗リ

朝来雨降り
十時十五分壽美会迄直田小林ヲ伴ニ自動車ニテ
多摩手川御殿ニ赴キ鵜飼ヲ観舟中懐料理ニテ午
餐ヲトル料亭井上ノ主人ノ包刀ナリ会後川ノ中洲
ニ名ヲ拾ニ四時帰荻夕立降セリ北海閣ニ有キテ
泊テ初二十分、宿ノ文松ハ上屋鋪十八尾(四円)ト共ニ弁十
四円茶男女中ニ八円合計弁松当用ノ為迎ヒ船着ニ
八月御用十ニリ前日申込ヲレタリ
寺度帰宅セルル旅ニリ欠席ニ付帰着後ト自動
車帰リヲメ夜九時来祥其ノ節壽百五拾円
借用額五リ仮テニテ午後ヨ内百円ハ見舞金トシテ
贈呈ス長男一郎妻ヤ知児携帯十時半ニ残リ
二郎以下二人ハ休ニ入ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昭和 大正 明治 慶應 元治 文久 萬延 安政 嘉永 弘化 天保 文政 文化 享和 寛政 天明 安永 明和 寶暦 宝永 正徳 享保 元禄 貞享 天和 延宝 寛文 万治 明暦 承応 慶安 正保 寛永 元和 慶長 天正

九月七日 大正十二年 辛未 明治四十五年 七月三十日

欽 諭 莚 筵

晴

今朝五時迄ニ相当ノ地震アリ震源地ハ江ノ川下流松江ノ辺ナリト中央気象台ハイフ

十一時吉祥寺発ノ電車ニテ直田公伴ニ十一時五分ヤ社

午後二時半西岡竹次郎氏来訪金千圓ヲ援助ス

金三時文部省事務官杜保吉治氏来訪上野公園科学博物館評議員依頼ノ為メ四十文部大臣ノ命ヲ伴シ来訪業務ノ由ヲ述ベラル

金四時長生ニ今朝柳宗セラレタル芳町男娼ノ家庭事情ヲ取調ベノ為メ

夜ニ入リテ帰宅

疾ニ床ニ就キヨリスバシヤット撞机ヲ直ヲ贈ル

九月八日 大正十二年 辛未 明治四十五年 七月三十一日

欽 諭 莚 筵

晴

午後一時迄ニ帰リ休キ後更ニ登校ス

八日会

帝国、大橋出田

秩父宮殿下御帰朝奉迎会

秩父宮殿下御帰朝奉迎会

四町

小池文太郎ヨリ為メ招有ノ在リ付会社ヨリ板井ヲ呼ビ十一時半社

午後一時ニ妻出勤登校ス

月曜社（人名）畑井篤太郎氏ヨリ

金千圓ヲ受ク

松田洋治氏来訪面会

浅田電機会長ニ薬保ス処アリ

件ニ付キ

会長成文太郎氏来訪

三井常務理事永楽理事前台ニテ朝鮮ノ件ニ付キ午後四時ニ帝国倶楽部ニ於テ秩父宮殿下御帰朝奉迎会ノ打合セ列ス、議事規則ヲ決ス、

会長福田雅太郎、下村宏、泰、

秩父宮殿下御帰朝奉迎会ノ打合セ列ス、議事規則ヲ決ス、

会長福田雅太郎、下村宏、泰、

木村、松村（真）、木、

松村（真）、木、

佐、

木村、松村（真）、木、

佐、

六時ヨリ山口ニ於ケル八日会ニ列ス、御田原西氏ヲ席、幸座相変ラズ盛ニ事業ヲ中村大尉ヲ伴ヒ行ヲヨリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

宿 雨晴

午前十一時半社
午後二時半 鮫川美介来訪
仰故先帝祭本日 朝鮮如七ヶ
午後四時退出仙石貢氏ヲ麻布高台ニ見ル即チ帰舟ヲ
命ジ直ニ後ヒ昨夜無事ニ帰リ一時心配シ居タリト
タリトノ事ナリ 萩川君モ今朝全快ヲ見舞ヒシタリトカ

宿 晴

午前十一時半社
午後一時半 松本健次郎氏来訪 若松ニ於ケル港湾船
入港料免除ニ関スル件ニ付打合ヲナシ本月ノ実役会
ヲ三十日トスル
今朝時刻十分 麦寒下寒寒会ノ延期ヲ決シ大久保利武侯副会長就任ノ挨拶ヲナリ
三時退出上野ニ於ケル新画会ノ観ル
此日江木銭相辞職 原松相之レヲ襲ヒ若槻
首相 松相ノ兼務ヲ以テ江木銭相ノ郵意ニ省ノ大
臣ノ異ヲ許シ之ヲ内閣ニ加フル事ニ決シタリト

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

今朝小坂播州より帰り又ノ病気ニ付見直ノ為メ
十一時半出社
午後一時岩沢林太郎氏来社壹本金ノ件ニ付
ノ意ヲ支ヘ余ノ意ヲ以テ
日本大坂ヨリ小松雅道氏来訪 社長大坂ヘ被遣ノ
依頼ノ為メ明日ニ延引
松村善太郎氏来社
同時頃出江木前銭相ノ部ニ支ヘ
時々ノ集ニ付意見ノ交換ヲ
夜分福井出来三ノ春君ヨリ日曜ニ来国大使迄
別ニ参ヒ度ノ催ニ付案内アリ吉祥寺ニ
ノ部氏ヲ帰ヲ待ル

天候 晴

暑気強リ日中八十五六度ニ上ル
十二時半社
夕食成文太郎氏来社
日々新夕社
来訪
此日午後四時五十五分ノ急行列車ニテ外遊中ノ各務
謹吉氏夫妻帰朝ニ付中央驛ニ
五時十五分帰宅ス時半寿美子
別邸ニ赴キ着後直ニ入浴流汗ヲ洗フ
後共ニ食

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 記事

朝来日光輝キ暑気座ニ堪ヘス夜曇ル
萩先生 松を訪ふ 庭も亦ヨシ（原の如シ）
旭ヶ滝ある百舌鳥の侭きヒ
午後3時頃北日電話ニテ招キ遣タル 奈田哥太郎
夫妻未ダ晩餐ヲ終ラス 夜十一時半 帰ル 奈田氏
ト分ル 八重垣ニテ 名ヲ成サシメ 斗目ヲ先キシ
昇進セシメタリ

天氣 晴 寒暖 記事

午後民国水交局内使
洋先生津田氏送別
午餐会 斯

十二時吉祥寺ヨリ出社 寿美ハ 本日帝劇ヘ行
ル筈
午後四時十五分 退去 帰宅
夜分 涼風

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

大正四年 令和四年 九月十五日 木曜

食事の合日	食	昼	夕
記事	晴		
摘要			

十一時五十分土社三菱海上保険ノ室役会ハ出席セズ
朝鮮宗教ノ三井幸男ヨリ青木幸男ニ
会談連ブ並二浦ニ行リト電報アリ
四時頃ヨリ共楽倶楽部ニ会ヒ
寿美西吉祥寺ニ立ヨリ帰宅

大正四年 令和四年 九月十六日 水曜 戊申

食事の合日	食	昼	夕
記事	曇		
摘要			

朝未ダ雨ヤリ十一時ヨリ社ニ重役会ニ出席
午後ヨリ重役会ニ列ス
午後三時ヨリ会計監査ニ来訪帰宅ス
四時半ヨリ快晴ニ向ヒ散歩ス
四時半ヨリ快晴ニ向ヒ散歩ス
寿美吉祥寺ヨリ帰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十時半 工業倶楽部、於ケル全国産業団体常任委員会ニ臨ミ終テ午餐ヲ共ニシ一時過ギ社

午後一時半 我邸ニ来ル国際観光委員会ノ一部特別委員会ニ出席

一、海外宣伝ノ方策確立ニ関スル件

（観光（国際）部会提出ノ件）

一、旅行斡旋機関ノ充実改善ニ関スル件

小委員ノ委嘱ヲ了リ次ノ如キ時半ヨリ委員会ニ於テ

外客誘致ニ関スル方策ヲ審議実施スベキ六項目（主ナル要旨ハ施設ノ改良、疾病救護ノ充実ナリ）ニ付キ意見ヲ交換シ、外客誘致ノ意義ヲ明カニシ、外国ニ於ケル観光事業ノ概況ヲ聴取シ、次ノ如キ答申ヲ共ニ了決ヲ

午前十時三十分出社 理事会列席

正午生田元之氏来訪 謝恩ス

三笠会集会ニヨリ臨式（午前）

松村義太郎氏来訪

原田熊雄氏ヨリ懇談会ニ関シ

其後落札価格ニ付、桜井小陽（弁護士）、吉川要作（弁護士）ノ意見ヲ聴ク

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

明治十二年 九月十九日 天氣 晴 寒暖 晴 記事

正午出社
午後一時ヨリ模範小學校ニ於テ開キ次回八日會ニ出席ノ事ヲ取締ヨリ報告ヲ請ケ且ツ諸氏ニ手ヲ乞ヒ快諾ヲ得タリ
仝三時半ヨリ、ウインターツール在ヴルサー會社ノ事務ロバート、ズルサー氏支配人ガスパー、取締ヨリ報告ヲ請ケ且ツ諸氏ニ手ヲ乞ヒ快諾ヲ得タリ
仝三時半ヨリ、ウインターツール在ヴルサー會社ノ事務ロバート、ズルサー氏支配人ガスパー、取締ヨリ報告ヲ請ケ且ツ諸氏ニ手ヲ乞ヒ快諾ヲ得タリ
仝三時半ヨリ、ウインターツール在ヴルサー會社ノ事務ロバート、ズルサー氏支配人ガスパー、取締ヨリ報告ヲ請ケ且ツ諸氏ニ手ヲ乞ヒ快諾ヲ得タリ

明治十二年 九月二十日 天氣 雨 寒暖 晴 記事

午後四時壽ニ天下茶話會ヲ開キ、諸馬鹽島風、五十子及ヒ會ス會所ハフール、テニス、ビンホン、ホート、ワタシエート其他小供遊戯ノ器具支備ヲ小供ノ樂園トモ云フヘキ設備アリ午後七時ヲ報ヒ帰宅六時ヲ過ヒ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴　事項 記載

今朝午前十一時二十分頃強震アリ大正十三年一月十五日以来ノ震動ニテ夜中ニ起ラサリシヲ幸トス余ハ服装ヲ変ヘ停止社セントシタル際ニテ秦実ヲ招キ午前ハ下リタリ

十一時廿五分ヲ社朝鮮ヨリ一旦夕帰宗セラルル三仟常務ヨリ出席中ノ要務ト雨スル報告ヲタリ

午後一時放本一氏来訪

松尾秀典ヨリ及ビタル樟本山林利権（仮称ニシテトヤール外ニ七八人ニ賛賞ニ件ヤ（過日大阪代理人ヨリ全様ノ話ヲタリ）三宅川副事会長ニ有無ヲ乞ヒ全然賛ヲ欠キ辺ノ無根ナルヲ確ム

四時半ニ至リ帰宅ス

老将会ノ出席ヲ見合セタリ

午後震度ヲ記ス

外務省ニ英国公使ヲ訪ヒ停止報アリ経済界ノ動揺甚ダシカリシモノアリ

石田三成顕成ヘラを（慶長五）徳川家康の布告す（一七九二）支那海部いりを九州諸浦に沖漁商船に対する全品全部を禁ず（昭和四）

午前十一時ニ安倉知ヨリ重役会ノ件ヲ聞ク

共ニ取締役ヲ兼ネ久保氏欠席ニ付キ田山室ヲ青木亜来役ヲ取締役ニ推薦ス

午後一時ヨリ重役会ヲ開ク

午後一時ヨリ重役会ヲ開ク

大木ノ放本一氏来訪

四時半ニ辞去ス

徳川幕府ヲ成敗ス（同）　横綱ニ其順成ヲ成敗ス（同三）　始めて天長節の儀を行ハる（同）　会津藩藩士（明元治）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 記事

午前十一時半出社 水田政吉氏 本社前来訪ラタノ
午後鏡川美介来訪
合四時十分退出帰宅

秋風のたつともなくてこなろぎの
なくやいとき月をうたふなわしろ
蓮舟子小坂文次氏来訪帰伸（夕刻ノ茂平ニテ）

天氣 晴 寒暖 記事

歌舞伎座、

正午ノ汽車ニテ本山兵次氏依頼ノ揮毫ニ着
午六時半毒美合迄歌舞伎座ニ至ル
劇ヲ観ル加茂平鬼界島後篇、樽屋お
せん、石川五右衛門三幕目ヲ観ル時半
退出帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

種別	氏名	住所	保証人	変更	備考
寮生	晴				

朝九時半社長より十時半より十一時の間に面会するようにとの電話あり仍テ十時廿五分に鳥居坂の御宅伺ふ。雑談約一時間甚だ愉快なり。
津江水飛ばし例の意見あり。
十二時五分前出社洋食七銭なり。松本健次郎氏と面会。会社北海道より帰途より若干の商談ありて来援せり。鉛筆書を視かり一覧す。
会社の百株（五円株）二十株を譲渡すことに決す。
四時退社上野に部下の勉強振を観んが為め教育会社組織、五千集及附属インキスタンドを購う。
夜分世天来訪。明日葬儀の為帰国するとて太刀及草履取り半蔵なるもの来訪。
昨日預けし荷物受取帰りの件を依頼す。

種別	氏名	住所	保証人	変更	備考
寮生	雨				

午後三時池袋驛
会合出席の為
松本健次郎氏宛の葉書
雨天の為め
右書久しく以金、

朝九時より雲となり九州北辺より漸次東進するの台風の影響なること午前より漸次強雨となり明月祭なるに拘らず金鶏学院の支援にて催されし観月会は来月に流れとなりぬ。
十一時四十分社
午後松村氏来訪
会四時半退去帰宅
在横浜石井久二より文房具薬袋領収の旨トシテ金十圓投函方を以て寿矢氏に依頼す。
午後額より何人かの十年以上勤続表と奉仕者の名及び主旨を記せる息子の為進呈ハルモニヤ毒と思ひ暇を遣ハス際ハ相当の仕向ハ致し置やいも出不悪ハ仕方なき人事なり。
寿矢より今朝送付せられたり。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 気圧 風位 風力

会合 受信

社会人会日

朝十時国司法助氏来訪
午后大阪本多兵次郎氏依頼ノ揮毫ニ関シ明月
十六夜の月を波間ニたゆたう孤舟ニ英金五拾圓
の贈与を添メ郵送す本日ノ旧暦十六夜ニ
当ニテ
右ハ時二十五分ノ急行ニテ西下ス宋田元通信次官
会事ス聚会談笑撰挙ト政友会ノ為メ優勢ト
ナル模様ニ祭ル

天候 半晴 寒暖 気圧 風位 風力

会合 受信

社会人会日

午前九時五十分二子宮駅着子供ヲ康雄家ヘト
共ニ出迎ヘラル康雄ノ妻ハ其後料理ノ稽古ニ当キ
十時十八分ノ汽車ニ合伴自動車ニテ送リカヘス
午后三時共田正元ノ両ニ送リ中村生ヲ伴ヒ聴ラシ
ルメロヲ数個ヲ持参ノ外ニ寿美依頼ノ茶金壱個
アリ
六時正ニ帰宅 今夜十時五十五分神戸駅発特
急ニテ呉島ニ赴キ明日夜明頃ニ一泊自個
設計ノデーゼル船（四百五十七噸内海トラック）ニ試運転ニ当
ムトノ事ヨリ三人歓送ヲ共ニス
本日郵便ニテ浪ラル榊頼康雄
会後時余ニ時帰宿

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

冠婚 葬祭 寒暖

夜来豪雨外出ス能ハス 引籠リ将棋ヲ客ス
午后十時五十五分、幹ヲ喪ヒ 神ヲ驚ス 即チ西下 島村秀雄、千代ト、来吸来リ送ル

交際 慶弔

統制委員会
午後二時南二番ノ邸ニ赴ク

東洋協会
大阪ビル内ニ赴ク

冠婚 葬祭 寒暖

芝松支庵重役会

交際 慶弔

朝八時三十五分下ノ郎着 伊東、塙田、小村、上岡島村ヲ従ヒ支庵ニ直ニ庁司ニ及リ小村芝松支庵長ト共ニ電車ニテ芝松ニ直行途中ニ会ヒ庁司告ケ氏来リ校舎ヲ芝庵重役会後ノ畑ニ往訪ヲ約ス
十一時芝港会社ノ重役会ニ臨ム中席松本社長ノ外森生、大倉、吉田ノ諸氏ヨリ普通浅薬ノ外ニ各組合ヨリ補殺ノ入港銭引下ノ対来ヲ陳ス即件了リテ尚浅ハ午後三時過迄ニ及ビタリ 信介影響ノ為十二三ヶ条ヲ陳ヘ 港銭引下ケハヲ入レザルヲ得ス
芝松支庵ニカヘリ会食ヲ共ニシ小村支庵長ト共ニ 市会終テ小村支庵長ト共ニ 漁業ニ関シ告ケ方ニ 公衆試験ヲ行ヒ 坂神ノ養魚ヲ試ト信介セラレ 併セノ結果ヲ聴取シ 活動写真ニテセーラー、逢獲ノ活況ヲ示サル 五時会処ヲ立ツ国司氏門司迄送リ来ル
七時頃ヨリ大吉ニテ伊東、小村、塙田、島村ト散会ヲ共ニス
正六ハ公式運行ヲ終リ来リテ列席 正宛ハ又全人ハ 昨夜共ニ新川ニテ宿泊セリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



スポーツの秋　晴れた秋空に響くグラウンドの喚聲。波のやうに捲き起る應援歌。カンと映えた熱球の響。一回つゞいた本拳打に觀衆は狂氣のやうになつてゐる。早稲田が慶應か。スコアブック片手に餘念のない幾萬のファン。塀の外を怨めしげに取り捲く幾千のファン。木に攀ぢて見る者、報告を聞くもの。中繼放送にブレヤボールドにどこもかしこも黒山の人だかり。外苑の空氣はスポーツマンの心のやうに明るい。櫻紅葉のちる上野には帝展の特選發表、紅葉とりどりの名作の前にも渦巻く人の波。

行事

一日　更衣（冬人體寒暖表掲載）各呉服店冬衣賣出・日記帳・年鑑類出づ・御鉾納總督府始政記念日　東京市觀菊會・帝展出品受付開始（五日迄）・向島白鬚神社祭
四日　北野神社還御祭
五日　達磨忌（縁日各寺にて法會を行ふ）
六日　十夜講（淨土宗各寺にて法會を行ふ）・湯島天神祭
十日　鐵道省親楓臨時列車を出し始む
十二日　會式（法華宗各門流にて各寺各子院にて）
十五日　浅草觀音・池上本門寺・目黒不動・川崎大師・成田山新勝寺・芝神明・神田明神・湯島天神・堅川三圍稲荷・王子稲荷・佃島住吉・深川八幡・芝愛宕・日枝山王・赤坂氷川・牛込赤城・目白不動・雑司ヶ谷鬼子母神・入谷鬼子母神・浅草鷲神社・巣鴨地蔵尊・高田馬場金乗院・目黒不動・目白不動・目黒不動・目白不動・目黒不動・目白不動

庭貫 金星

寝冨 午曇 来漫

記載

受信 受信 受信

朝六時三十五分神戸ニ着明石ニ来ル迄熟睡セリ午来及其ノ家氏会事午来氏ハ途中御前崎ノ北ニ造船ノ庄支配ニ於テ来氏ハ東上ノ途ヨリ午代子及副官カ乃八重司氏ヲ迎フル正六ハ直ニ造船処ニ到ヤ会ハ西宿ニ入ル

台一時三宮支店ニ到ヤ会ヲ了銀行支店長又市役所田ノ西人保険西服商事カ乃ノ諸氏ニ面会各自ノ報告ヲ聴ク三時共田ニ到ヤ典夫別荘ヲ訪ヒ午代ト面会一現場ヲ視明日正六ハ六庭屋作業ノ午答ヲナス

正六ハ六時帰宅昨朝下ノ席次来下刷数回意見相決ノ模様ヨリ午代ト注意ヒテ帰宿島村奈雄宿許ニ待受ケ居ヨリ晩餐ヲ共ニシ全人借賦ノ金部ヲ打ヌケル会計ヲ午ハ百円内外ヲ不義理ノ分ハ差当リ考慮ヲ要ス尚ハスケトレ今後給料ヲ家計ヲ騰ヒ得ヤヲ知ル其ノ心ヤケンハ援助ヲ為ヒヤトヤ心ヘヒリ

帰社 帝都

寝冨 雲雨 来漫

記載

受信 受信 受信

午台一時ヨリ四時迄和田伴造郎父及建林工務ヲ訪ヒ僕大手、南、西所長ヲ田畑林、新生保険会ス

三時恐ヨリ雨四時半長田ヨリ迎リ会所案庭ノ計画ハ雨為晩餐ヲ正六ハ下刷ノ為メ引ヒ帰リ晩餐中ヨリ金庫代百六拾五円小舟代四拾五円ヲ午代子ヨリ受ケ外ヘヤ中ヨリ人夫ヨリ拾円、豪田、共一、赤坂ノ母ヨリ各五圓ヲ共ニ子ハ帰宿

銀行ニ客又店長桑田豊氏来訪（白金寺）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

本日ハ井狩リノ山開ノ日ト云ヒ正六夫婦来泊ス
伴ニ井狩ノ人個ナリシモ正六ノ病気ト大雨ノ為メ
レトナリタリ
十時秀雄西ト訪ヒ来ル午餐後午后五時帰ル全人
西及ビ報告ニシバ一昨夜報告ノ木村七平氏、妻君ニ
誠意ヲ以テ三百圓ノ外ニ妻君ヨリ五十圓合圓
ノ借財ヲ申込キ遂ニ入リタリ
荘吉遠六氏ニ電話ヲ以テ依頼セントシタルモ不在リキ
八時三十八分ノ汽車ヲ以テ伴ノ驛ニ帰来康雄夫婦
秀雄夫婦ハ泊ス、長井兄弟、二女西、赤坂千代子見
送ラル
東井ヨリ田下一氏廣瀬二郎、藤山喜太、小松中松
ノ諸氏、合合、

午前九時半中央驛着共別ヲ直ニ知ラレ一石
将七十時半前工大ヨリ知ラル知ラル
合ヨリ十二時半出社
午后四時半ヨリ出社

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

大正十年 十月六日 木曜

十一時五十分出社

午后山口銭之助氏、石塚武氏来訪仲裁ノ依頼アリ

午后一時ヨリ議会ニ出席ス

午后三時ヨリ委員会ニ出席ス

午后五時ヨリ委員会ニ出席ス

午后六時ヨリ委員会ニ出席ス

午后七時ヨリ委員会ニ出席ス

午后八時ヨリ委員会ニ出席ス

午后九時ヨリ委員会ニ出席ス

午后十時ヨリ委員会ニ出席ス

午后十一時ヨリ委員会ニ出席ス

午后十二時ヨリ委員会ニ出席ス

午后一時ヨリ委員会ニ出席ス

午后二時ヨリ委員会ニ出席ス

午后三時ヨリ委員会ニ出席ス

午后四

朝十時 開会ニ先チ 板垣特別委員会ト
列席 十二時半出社
社ニ帰リ山出社セラレタリトテ
午後ハ苦悩室ニ籠リ居タリ
夜ニ入リ山氏ト午後ノ方ヲ依頼ス
来室 地久部長ヲ招キ大城戸検挙ノ来
ニツキ内ニ会人ヲ立事セシム
五時退出セラレタリ 六時前山口ニ赴キ八日
会ニ備ヘ会員会 御出席未着高橋等懇
談ニヨリ暴力団取押ノ模様ヲ共ニ知ラサリ公
氏ノ話ニ帝都内閣ノ確ノモノ約五十人内斗十五百名
ハ一時ニ揚ケタリトテ浅草松竹ヲ
モ公方面ヲアラタメタリトテ世十生花斜ノ為収容ス
ルモノ毎月百名内五六名ヲ検事ヨリ送リ他ハ説
諭放免ヲ知ラヌ収容ニテハトノコトリ余ハ内務大臣
ヘトノ一時半ニトノ依ヲ

十一時四十五分出社 理事会出席
大村松村竜太郎氏来訪
内務部長会ニ出
市会議長会ニ出
武田会ヨリ大阪及新潟ヘ片岡直方氏ヨリ件
ノ如シ
此時帰宅六時 御氏モ出ヨリ各所ヲ廻リ
ノ宴ニ列ス、主賓ノ外国、土方、呉王、津田、大橋信城
松永林ノ諸氏共会スルヨリ宴ニ馳走ニ
ニ時半辰出
共ニ帰ル来訪件会ヲ終リ保安ノ為メ
記任後援ヲ川及ビ清水ヨリクレシ
ノ為メ安全ヲ川出ニ正メタリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十時首相官邸ニ到キ時ヲ待ツ、程ナク首相及蔵相ヨリ財政並ニ外交ニ付テノ意見ヲ聴取ス御式終ツテ会スルモノ御一同、同邸ニ入ル、半田也田谷敬矢野恒太福井、日銀伊藤次郎右衛門、同谷口雄太氏横田千之助、小倉正恒及ビ私ノ順ニ着席ス則チ一同式ニ依リ小倉正恒ヲ推薦ス一同之ニ賛ス

十一時半頃ニ御式ヲ了リ直ニ別室ニ於テ懇談ス

十一時半頃ニ御式ヲ了リ直ニ別室ニ於テ懇談ス

午後一時頃ニ至リ一同ニ別レヲ告ゲ帰宅ス

午後一時頃ニ至リ一同ニ別レヲ告ゲ帰宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣	晴曇	發信	受信
雨雪			

十時四十五分出社々長ト社内面会ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後二時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後三時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後四時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後五時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後六時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後七時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後八時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後九時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後十時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後十一時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後十二時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議ノ件ト打合セノ事ハ葉柳男ト談合致シ呉レ度キ事ヲ

午後一時ヨリ内閣書記官室ニ於テ閣議

三郡合同懇親会ヲ開ク（高知新聞）

水曜 壬寅 十月十四日 明治十五年

天氣 晴 寒暖 晴

午前十一時半社ニ出ス
午後三時半退ク
会終テ帰ル

午後三時半退ク

午前十一時半社ニ出ス
午後三時退ク

午前十時半社ニ出ス
午後三時退ク

午前十時半社ニ出ス
午後三時退ク

午前十

午前十一時半に野来京春吉術紙、当午帝慶一郎（日本治）二郎（池治）ヲ大名キテ面見シテ十二時半ニ社

午餐後 車田氏ト合流午后四時 四十五分 帰宅 寿

午后六時頃 相葉助来ル金額 美ヲ伴ヒ来ル名刺ヲ出ス名刺ヲ見ル

午后六時頃 社長ハ夫婦ニテ会ヒ 明人ハ 明後十日

一夜帰宅 四時我迄有ニ 当午 原案観光 参員

状会ニ於テ 茶会決定ノ外委任ス

ル矣處 実施ヲ要スル事項多キヲ 葉決ス 午

葉観光地点ノ 所ヲ 四国ハ 高松地方ト

ノミヤリタル余ノ発案ニテ室戸ヲ追加スルコトニ

ス時ニ阿波ノ鳴ノ小三島ノ洞ヶ渓ハ内海ニ 当後地

方ハ高松ニ会フコト 明ニ決テ来京会 終ニ 午后四時

散会ス

夜半ニ及ブ

午前十時半午餐会ニ出席 長知男来訪 十五日若松 栄蔵

会社 洗鉄 低減 申入ノ件ニ 関シ下ノ 席 山陽 ホテルニテ 催

サレタル 実業会ニ 若案ヲ 説明ス

右ニ 関シ 仮令期限ヲ 附スルモ 依令 復旧ハ 困難ナル

ヲキシ 仍テ 原案 鉄 低減ノ 程度ハ 一割ニ 止メラレタキ

旨 松本 社長（建設ノ）ヨリ 書面ニテ 申込ム

午后四時頃 春吉氏ト共ニ 吉祥寺 別邸ニ 赴リ 夕ヲ

ヤハ頃ヨリ 雨ボツ〳〵下ル 中華ヲ 到ル頃ハ 降雨

トナル 高井戸附近ニテ 美介ノ 車ト 行違フヲ 以テ

渓小平ノ 運動会ヲ 終リ 為メ 中止セラレタリト 覚エ

ヌ 帰ル 小児 婦人ヲ 車中ニ 見受ケタリト 云フ 三時 過 別

邸ニ入ル

雨夜ニ至リテ止ム

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

本日ハ仕事今ニテ降リ出サヌ様ナリニテ幸ヒ降ラズ
ニテ遂ニ降リ寿美ハ未ダ四日ノ例ニ寄リ
セヌ
午后五時許引揚ケ寿美ハ仕ニ川越シ却リ矢張ハ午後
其中様ナリ五程ノ引揚ケ斗拾四時二時十五分今ハ着
今ハ着ク次ノ各所住宿ノ案内ニテ六名物ナル様覚
又寺内ニ建物ハ優リ家先時代ノ建造ニテ備内ニ天
海ナ植ノ横及家先頃ノ垂櫻ナリ大ナル櫻様ニ東
照宮ニハ建築ノ観ガキモナリ備前ハ元紅葉山ノ
別殿ヲ徒ラニ破却リテ中ニ家先ノ産ノ室ナリ
廿日ハ曇ニ探山ノ山水合天井ハ今人花井ヲ画
キタルモノナリ元三十六歌仙ノ東中北ノ坊文代ニ南来
天ニ天海ノ澳ニ宿ス天海住職ヲ礼及ビ此様北ノ坊ニ帰リ上野
寛永寺様ニ及ビ案内ノ権ハ今年ニ帰リ寺ニ
役ハ天海僧正トナル中坊ハ現在スルモ三十六歌仙ノ形ニ
ニ帰ル一部ヲ在スルモノニ見ル影セヌ九時今如ク五十分ニ道
ニ六時十五分稍在川越着ナリ寺ニ

夜半ヨリ雨ニテ前十時頃止ム十二時吉祥寺ヨリ出社
武田、濱田両氏ヲ廿四日ニ祥寺ニテ午餐会ニ案内ス（品川）
午后武田氏ト会見ノ上大阪ヨリ直ニ武甲ノ大阪ヘ
新株引受件ハ現下ノ情況ニテハ見送リタキ旨ヲ
依頼ス
昨夜松大、貝島太市両氏ヨリ長電アリ依頼
額納付済ノ（一割、概略斗割ノ位ノ）
半額弗（一株）ニ付サルト思フテ全ク之ヲ
メタル其程ノ事ニテ今ニ至リ信頼ヲ
実ニ松本氏ト返答シ其ヨリ太市氏ト同ジ
午后三時半工業倶楽部ニ於テ会合ス
先ツ政府ト連絡ヨリ意志ノ疎通ヲ計ル事ト
松岡幼平男来リ訪ヲ某重大事件ニ就キ
井坂氏ヨリノ案内ニ応ジ定刻ヨリ訪フ不在

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 摂氏 華氏

午前十時 議長倚子席ニ着ス 定刻ニ先チ出席議員ハ左ノ如シ

一 昨日ノ議事ヲ変更シ本日ノ議事ニ編入スルノ件
一 陸軍現役将校ノ内ヨリ三名不足ノ為メ其ノ欠ヲ補フ為メ大村中尉外十名ヲ選挙スルノ件
一 出テヒストモノヲ言ヒ出テヒストモノヲ言ヒ出テヒストモノヲ言ヒ

午前十一時半出社
午后一時ヨリ常務会社ノ重役会ト
午后四時半迄出勤ノ未帰ヲ待チ飛舞飯座
ヲ見物ス水雄 牧清会資金募集ノ為メ
ノ三枚ト筆山茶枝ト二人ノ帳ハ無ヘタル故テ二人
共ニヨリ堅帳ハ舞台ニ近リトノ列ニテ見ヨカリキ大
久保利武侯爵夫婦 夫列ニヨリ言葉ヲカワセリ外
顧ハ梅門五三桐 栗山大膳 蜂烏友錦 金武士前
其ノ他キテ也ヲ感覚ス 役者ハ雁次郎 秋治門
宗十郎 友衛門ノ連中ヨリ十時半帰宅

皆晴

午前六時半出社
午后一時家庭事務ヲ執リ社務制定
件ノ件ヲ終ス
金子肇 商船会社ヨリ重役会ノ列ニ三時半退出
帰宅 寿美会資金祥子ヨリ明日ズルサー武枝
持ヲ用意ノ為メヨリ
今早朝 五時八十代子金伴正宗 正吉ノ直シ会社ヨリ
来ル午后福井ヨリ正吉ノ会家ニ剣ルヲ
伴ヒ帰着後両人共 吉祥ヨリ来リタリ
此夕 旧暦九月十三日ノ夜 月見ノ月ヨリ 金想栗
役者ヲ庭ニ招キ 兵会ノ菩ヨリモ明日駅着ノ為
メ見合セヨリ 花谷・庄ハ栗山重吉ノ庭ヨリ
皇恵ノ酒宴ノ急ヤ八日ノ月

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

工業倶楽部清興会終ル江口氏歓迎会ニ赤阪山日主人側、

十月二十四日 霜降 後晴十八分 八せんきゅう 昭和四年 九月

記事	天候	発信	受信
	曇 晴		

今日ハ未着ハロバート、ズルサー氏（ズルザー会社ノ長ノ名板術家）ズブリン氏（満洲取締役）ゲスバー氏（神戸支店長）トズ社ト関大阪（倶楽）部ニ於テ午餐ヲ共ニシ、三菱電機会長武田秀雄、公益組合会長渡田虎、会社ヒューズノ八人余ト正午ヨリ午後十時迄ニ亘リ集ニ一時ヨリ午餐ニ入ル料理ハ未ダ軒ニ如ク和洋折衷ナリ不味ハ無カリシ会ヲ終ヒ福祥壽ノ希望ニ基ヲ開メタリ会後井上輝巌ノ月白ノ掛ケ物ヲ茶間ニ入人ノ鈴壽ヲ示シ後ニ座ヲ移シテ午前二ヲ時迄ヲ費ヤシ宗月ノ素ヲ午傳ニ来ル今ヲ以テ寿実ヲ開メタリ

午後六時ヨリ会社ニ於テ歓送会ヲ開ク

記事	天候	発信	受信
	晴		

今朝正六ハ桐島ノ兵衛トゴルフニ行リ初来ヤリシモ会社リ用向ノ為メ更会セヲ要スルニ至リタリ今回正六ノ用向キハスカサス帯在中再話セリタル事ニシテ会社ヲ持ニ農林省技師ト打合ノ必要アル為メリシモ会社ヲ持ニ農林省技師ト打合ノ必要アル事ヨリ取扱トセリタリ故ニ本日ノ鉛来モ止ヲ得ザルヨリ寿実ヲ代ニハ丸ビルヨリ自宅ニ帰リ七時迄正六ヲ停車場ニ送リテ共ニ帰庄ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信	西	着信	
発信		変更	
着信			

吉野大作来会ノ旨
依テ林ヲ招

来洋懇会開催、
時刻ハ会場ニ
九時ヨリ
到

祈禱ノ天与モ亦而トナリ十二時吉祥寺ヨリ出社
午后一時半大久保利武氏来訪　会ス如有二本援
処ノ地処ヲ百六十坪　三菱信托ヨリ介シテ宮川某ヨリ
譲受ケニカ所ノ件ヲリ当事者ニ面会セ　迄事スルヲ
ヨシトシ　翁ヘ置キ（転校ノ山田耕作氏ヨリ其後未ダ記シタル処ノ大久保利武氏モ協議ヲ終リ停滞ヲ
告ケ今回ハ協議スルヲヨシトシテ宮川ノ方ニ
実行（転売）ヲ会ハ無ニシトシテ了ス其后大久保氏方
ニ通ジ番リ様申ス　午后ヨリ
桃田製鉄所ヨリ新聞ノ件ニ付　三井合名
会社ヨリ　弁事会社来ノ件ニテ川島
桃井善太郎氏来訪
神戸鳥村秀雄ヨリ牧馬金弐千円　萩原善六氏ヨリ
共田別荘ヲ近代茶室六百円余ヲ主張ノ分ヲ送
金ス

発信	宮内	着信	
発信		変更	
着信			

吉野大作来会ノ旨
午后一時ヨリ
ト川氏来会ノ旨
午后九時ヨリ
会食ノ旨申来

午前十一時ヨリ社
本日午后五時半ヨリ吉野大作氏長男隆作ト川府
来吉（内閣書記官長）氏三女愛子ノ結婚披露ヲ
来宗会館ニテ　行ハル　青木菜雅氏夫妻媒酌（下ゴシラヘ披露ノ席次
（故伊藤公令夫人）安保海相来賓代トシテ祝杯ヲ余ハ西郷ノ為メニ千杯ス辱ケ夫ハ欠席

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣	晴
寒暖計	

午前九時内相官邸ニ於ケル天業防止委員会ニ臨席ス、
西氏ヨリ船員并ニ交易従業者（漁夫ヲ除ク）ノ天業ニ対スル処置ニ付キ十二時ニ至ル
午後三時ヨリ松本健次郎氏来訪、入閣ノ件ニ付キ一時間ニ亘リ其他ノ件ヲ談ジ午後五時内相官邸ニ於ケル統制委員特別委員会ニ臨ミ二条、三条ノ修正ニ関スル要求ヲ統制上ノ重要ナルヤ否ヤヲ論議ス、五時帰宅

訪客	松本健次郎氏来訪、談、政治ニ就キ
手紙	一件

濃尾大震災（明治二四）三年兵役を復すること一年延期一日以前徴兵検査ニ合格シ現役ニ編入セラレタル者ニ対シ（四和昭）

天氣	晴
寒暖計	

朝十時久原房之助氏来訪、従前ノ口説ヲ繰返ス、
十一時半辞去
午後三時統制委員会ニ臨ミ五時帰宅
夜ニ入リテ又々統制委員会ニ臨ム、
今日ハ信介娘ヲ伴ヒ来ル
十日信介娘ヲ伴ヒ来ル
針山監査会計
計来ル

訪客	朝久原来訪、談話ス
訪客	午後三時 統制委員会
訪客	信介来ル

大日本史を官に献ずる事（五保享）　刑法を定む（明治元）　国債償還基金納入の令を発す（四和昭）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

高師創立六十周年祝賀会
針業定款会
仙石氏ヲ訪ヒ
朝日新聞社来ル

朝十時半社ニ青木永泉理事ト面会引見各
社定期視察ニ発ス止見合ノ旨ヲ報告ス
仝十一時半朝日新聞社ニ立見
午後七時 針業会社ノ重役会ニ出ル 此朝仝社ニ
当ヲ四分トスルヤ否ヤハ 青木永泉両氏ノ意見ニ一任
取セリ
柳瀬福平傭夫ト来訪 辛亥連隊供奉
ノ抜刀ノ為メナリ
仝二時半武田秀雄ヲ訪ヒ 仙石貢氏ヲ瀬ノ別荘
ニテ 死去ノ報アリ 二時半直ニ 三時五十五分
熱海行急行ニ乗リ 吊問ニ赴ケリ藤沢ニテ青木氏ノ
同乗ニテ東京ニ帰リ出迎ノ青木氏ノ
運転ニテ 乗リ別荘ニ至リ未亡人、次雄、作郎
ノ諸子ヲ慰問ス 述べ度 厳ニ告別ス七時半
夜仝時国 大泰来訪

午晴

朝ヨリ雪リタルモ夕方、及ビ天気次第ニ良リナリ
午前十一時半社
午后四時退出 帰宅 血酔毒美午餐ヲ仝室ト共ニ
午睡ヲ貪リ
八時頃片割月カツトドヲタン次第ニ江ヲ加フ

ねむきもかをきもさかなにも生玄相をり
酔ふたる平の者

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



明治節　菊の薫りも高い明治節。代々木の神宮に正装の百官が参拝する姿を見れば子供心にも懐しかつた昔の天長節を思ふ。空は晴れて飛行機が快い唸りを挙げて幾臺も飛んでゐる。教師に引率された小學生中學生らの遠足や旅行の團體がどこにも見られる。動物園の日曜祭日は子供連れで一ぱい。猿の檻の前では木から木へ渡る子猿の愛嬌ある動作が大受けである。短い日足も暮れると西の空にくつきりと紫色した富士が見え鴈が一列彼方の丘に消えた。

木枯や干大根の葉の細りやう　雪待月

霜月・神鎮月

立冬　八日（後六時十分）
小雪　廿三日（後三時二十五分）

◐下弦　三日　●新月　十日　◑上弦　十七日　○滿月　廿五日

冷たき風にふく雨、木の葉は吹かれて折れ、落葉かなしく路に散る、はげしき自動車の輪（わだち）深く轢き入れる水溜りに濁れて殘る、聚まりかねる人の姿を語るや、寂寞たる行く秋人の後ろ影。

公園の秋雨

月事

一日　新嘗祭奉出・奈良正倉院御物曝涼（十五日迄有効）
特賣切符發賣を停止さる（唐申）
二日　去來忌・酉の市（吉原・鷲・鳥越・千束・花又・鷲神社・新宿・花園・十二社・大鳥神社・目黒・大鳥神社・巣鴨・大鳥神社・池上・本門寺・蒲田・蒲田八幡・大森・大森八幡・品川・荏原神社・目黒・大鳥神社・三ノ輪・鷲神社・入谷・鬼子母神・下谷・鷲神社・浅草・鷲神社・千束・鷲神社・酉の市は十一月の酉の日を以て祭日とする）
三日　明治節・明治神宮祭（勅使參向）・二重橋・菊花大會開かる（～七日迄）
四日　初子大黒天詣（十一月は子の日が四日又は十六日・廿八日の日を以て祭日とする）・申子
五日　京都極樂寺十夜講（十六日迄）
六日　ふいご祭・火焚祭（代表騎馬武者）
八日　己巳
十日　世界大戰平和克復記念日・此頃帝國議會召集詔書公布さる
十一日　吹き也詣（～十三日）・奥澤九品佛十夜法會（～十四日）
十三日　七五三祝（～十五日）・中山法華經寺會式・陸軍特別大演習（～廿日頃迄）
十五日　觀菊御會
申の日　大師講（二十四日迄）・近松巢林子忌
廿一日　鐵魂祭・報恩講（～廿三日）
廿二日　新嘗祭
廿三日　安房神社神賓祭
廿六日　品川子體競神祭（二十八日迄）
廿七日　滿期兵除隊
三十日　（此月富士の石室を發賣。又此月より宮參を開くるの名し實者に菊に給與り御酒を頂戴す。煙突・ストーブの掃除）
（備考）（　）は臨時祭日（皇室祭祀に關り易き疾病の注意・冷水摩擦）
十一月節　火の用心なさいませう。

季寄

時令　初霜、初時雨、火桶、落葉、初冬、冬の月、鷹野、冬の蝿、殘菊、木枯、薄氷、神樂、冬の雨、敗荷。（花）椿、山茶花、水前草、紅葉、黄櫨、錦木、菊、冬薔薇、冬葵、ダリヤ、クロツカス、カロステマルウやり。（魚）かながしら、鮒、鯖、伊奈太、鰡、さわら、眼張、鮟鱇、きす、目鯛、いぼ鯛、いしもち、鮫。大根、漬菜、白菊、馬鈴薯、うど、蜜柑、金柑。

外興

紅葉霜に見頃となりて鹽原、碓氷、木曾溪谷、裾野、飛き迄り等何れも遊覽によい。參詣を兼ねて熊野、高野或は西日光の稱ある多武峯などお訪へば鳥は時雨を慈びて、高塔靜かに紅葉の散る樣、閑雅靈の落花に比して一段の眺めである。日枝神社、神田明神等七五詣で。西の市延喜の一番札を受くべく未明より參詣者群集する。京都には空也詣、大阪には住吉神社寶の市あり。吉原遊女の積夜具扉の夜な賑し、諸神社の神樂も見物多い。こゝ、めばる釣り。鐵鰡にはやまどり、山鳴など獵獸を肥やす。

内趣

爐開の茶事。詩歌の獵集。越年植物に肥料を施し、果樹の剪定を行ふ。茶木、桐苗、柑類、蘆鐵に蟲除の設備なし、ちさ、人參等を播種す。

行樂の名所

十和田、箱根、熱海、伊豆、長うと、鬼怒沼、那須山、赤城山、鳳凰山、富士裾野、鹽原、碓氷、木曾溪谷、奥多摩、御岳、高尾、秩父、飯能、川越、日光、鬼怒川、塩原、那須、赤城、伊香保、草津、白根、妙高、戸隠、上高地、乗鞍、御岳、木曾、駒ヶ根、赤石、富士裾野、箱根、熱海、伊豆、長うと、鬼怒沼、那須山、赤城山、鳳凰山

午前八時上野ニ於ケル東京府葬ノ式ニ参列ス

十五分 天皇皇后両陛下ハ全家ニテ全ク平常ニテ行幸啓アラセラレ 余ハ許可ヲ得テ一台ヲ以テ特ニ単独ニテ御先ヲ致シ

当日ハ新宿駅ヨリ行幸啓御先ヲ致シ

東京府葬ニ参列ノ為メ特ニ行幸啓アリ

行幸啓 午前十九分

許可ヲ得テ列席ス

午前八時参集

八時二十分天皇皇后両陛下

仙台ニ於ケル式

時 晴 寒暖 風雨

午後三時半青木ト共ニ直ニ住式部ヘ出キ芳子八倍惟一妻ビト全ク病気ノ見舞ノ為メ三日前ヨリ熱トレ十日ノ夜ヨリ肺ニ入リ列席出来ザリキ見込ヨリ帰途ノ則チ本田芳太郎ヲ訪ヒ式ノ模様ヲ聞ク夫ヨリ面会七時ノ約束ニテ帰宅

支那政治式ノ事件ニ付テハ詳ニハ入会ヲ許サル

田中大臣伯爵原敬ノ暗殺ノ事件ニ付テハ詳ニハ入会ヲ許サル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十時内相友邨ニ於ケル失業防止委員会ニ臨ミ庄司、三浦両氏ヨリ紡績並ニ織屋ニ於ケル失業ノ情況ヲ聴取ス

庄司氏ノ話ニ綿糸ノ代價ハ原料代七割工賃三割綿布ハ原料五割工賃五割

十一時五十分ヨリ社長各地ヘ電ニテ大概左様ノ意味ヲ通ジ置キタル旨ヲ報告ス

午后三時半ヨリ麻製綱会社ニ於テ金子基輔氏ヨリ見積書ヲ提出セラレ其ノ説明ヲ聴ク

五時過ギ帰宅

五日、晴ヤ（能ク午前中曇リ午后一九八度 曇三部ノ内）

朝刊一、春子三部ノ寄（一部二）ノ永ノ病気ノ為メ治療費ニ充ツル為メ金五百円借用ノ願ヒ出ノ為メ見舞トシテ金五百円ヲ送金ス

午前九時半機内高相来訪近日ノ内製綱会社ニ満鉄ノ注文ヲ大連ニテ建設センスル製綱会社ノ御国ニ於ケル一應談合致度トノ事ニテ時日ハ明日依頼ス旨ヲ御会合ノ席ニテ取扱メ度トノ事ニテ十時四十分辞去

十一時十五分ヨリ社ニ於ケル各地ノ出荷ニ関シ会合ス

午後十二時半小松市一部氏来訪隣地崩壊ノ場所修理方（石垣ノ下）ヲ依頼スル為メ午后ヨリ三条製紙ヘ出張ス

午後四時南工場ニ於テ統制委員会ニ臨ミ桜井家ヨリメリヤス業者（内十八軒業者）ノ立場ヨリ前田、三輪、外見三名ノ紡績業者ヲ統制室ニ呼ビ出シ紡績業者ヲ統制室ニ呼ビ出シ取扱ヒ後審議ニ入リ反対陳情アリタル為メ紡績業ヲ満場一致ヲ以テ協立スルニ決ス

帰宅後社ヨリ帰リ来リタル為メ直ニ出掛ケ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十時 御船室役会ニ臨ミ同処ニテ午餐ヲ共ニス

午後七時 保理大臣官邸ニ於ケル時々談会ニ臨ム

席会我ハ大来前田トリ保理ハ千ナオピアー大使ヲ歓送ニ臨レソレヨリ後トテ席会御成ノ質問アリ保理及井上蔵相ヨリ昨年来ノ経過ヲ説明シ尚ホ輸出金額（金）ノ明言ヲ避ケ単ニ額ト称スル事次第ナル旨ノ説明アリテ明六七ガルヲ得来ルベキコト全額（内来）移出スルモ差支ヘナキ旨ヲ述ベタリ（午後十二時三十分頃散会）

午後九時半 帝国ホテルニ於ケル林田直治（全市郵便ノ為メ奇事会ヲ以テ）主催ノ寿ノ美ヒヒ会ニ臨ム 仲介三好重道氏夫妻出席ス（前田林田）来賓代表板垣ヲホベ余ハ千ホノ仕ヲル

前亭篇類ヲ以テ（編氷光）　遊東遊廓遊興案内所発行（明治二八）　東京吉原遊廓細見図印刷ニ付版権譲渡ニ関スル契約書（昭和四）

晴

京都大学ノ会ニ赤坂ノ待合金ボタンニ午後六時半ニ赴ク

今朝頃ヨリ病気ニ付

午前九時半過ギ村真楊氏ヲ訪ヒセラル氏ハ両三日前来ヨリ上京ノ計ナリ静夫家内ニ美ト別居ノ件ハ余ノ意見ヲ以テ取リ出ヒセラレ各モ一ト通リ聞キ且ツ家内ノ病気ヲ以テ基因スルヲ以テ家内ノ病ハ以テ如何トモ為シ難キヲ以テ双方ノ意見ヲ聴キ善処スル様全部真楊氏ニ依頼シ取リ極メハ竹村ノ主ナル任ニ当ル旨ヲ以テ静夫ニ懇ト一ト通リ勧告シ置キ且ツ静夫ニ懇ト一ト通リ勧告シ置キ且ツ静夫ニ懇ト一ト通リ勧告シ置キ且ツ

天氣 晴 寒暑 記事

朝六時三十二分新宿発妻美子代子会盆山本ヲツレ昇仙峡探勝ノタメ甲府ニ赴ク 十時八時着二里十八町ヲ自動車ニテ三十分ニテスレテ長瀞橋ニ着 全部ヨリ渓歩一里ニテ仙娥ノ滝ヲ経ル 金運次奔湍ニ沿ヒ仙元上リ二丁ニシテ岩屋 奇石相次テ至リ松樹新緑ニ紫生シ紅葉水ニ映ス 再ビ自動車ニ乗リ昇仙橋ヲ経テハ側面ニ仙娥ノ滝ヲ見ル 落下林数丈三段ニ落ツ 右折シテ甲府ニ到リ更ニ一里ニテ御嶽神社ヲ過ギハ夜望ム 佳景ヲ尽シテ一泊ヲ乗ス 翌日ヲ以テ引返シ夢ノ松島ノ茶店ニ午食ヲ喫ス 午後ノ車ニテ帰途ニ就キ 夕刻ニ帰宅ス

八日会 十名 五時山口新鈴木 御、池田氏 昇仙峡行、

澁澤榮一ノ父ノ紅葉ヲ愛セル歌ヲ記シ松ノ老山

天氣 晴 寒暑 記事

朝九時半晴宇子氏来訪明年三月慶應卒業ノ為メ千代子ニ就職ノ件ヲ依頼シ夕ル由

午後一時山口銭ヲ助ケ石塚忠氏ヲ伴ヒ来リ石塚ヲ満州視察感想談ヲ聴ク

午過ギ九ノ二十分大島富士太郎男卿ヲ訪ヒ午後二時ヲ辞ス

金融時報電報会社重役会ニ列席

午後六時後藤氏ヲ訪ヒ行詰ヲ注意ス

松村竜太郎氏ヲ訪ヒ不在ニテ面会ヲ得ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 記事

斯会の合同

殺傷 変死 盗難

前略 午前十時半香山白雲氏来訪胸像ノ原型ヲ作ル
十一時半出社
午後ノ部半ニ麻布善福寺ニ於ケル大島高任大将男
告別式ニ会葬ス
仝一時十五分帰社直ニ桜ヶ岡ニ出ル明日ニ原芳山ノ結
婚披露ノ席順ヲ検閲ス
新井観次自来訪面会実行委員会副会長
辞任ニ付キ実ニ陳要スル処アリ
午後六時櫻内幸雄氏ヲ招キ帝国ホテルニ於テ櫻内幸
雄ヲ歓迎会ヲ開キ之ニ列ス
仝十時ノ汽車ニテ静岡ニ赴ク
仝十一時ノ汽車ニテ帰京ス

天候 晴 寒暖 記事

斯会の合同

殺傷 変死 盗難

午前六時起床洗面朝食ヲ済シ
仝十時ノ汽車ニテ静岡ニ赴ク
仝十一時ノ汽車ニテ帰京ス
午後六時ヨリ帝国ホテルニ於テ櫻内幸雄氏歓迎会ヲ開キ之ニ列ス
午後九時半帰宅
十二時ヲ過ギ就寝

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十一月十二日 木曜 晴

本日一時半ヨリ葬事ニテ正衣ヲ着ス

今朝十一時十分花鳥山ノ邸ニ渋沢子爵ノ逝去ヲ弔問ス

金所ニテ田中文相ニ会ス 未タ納棺前ナルヲ以テ奥ノ寝室ニ招ヒ遺骸ヲ拝ス 焼香ヨリ十二時出社

午後一時芝山内青松寺ニ於ケル高木素覚男葬儀ニ参列ス 一時ニ社ニ帰リ面会人ニ会ス 午後三時工業倶楽部ニ於ケル金庫会ニ臨席 引続キ金庫内相ト面ニ組合法ノ事ニ付キ懇談ヲ得タリ

午後五時迄ニ時ツブシタルビル入リ 六時ヨリ宗会ニ於ケル伊門二郎氏ノ長男勝ト千代子嬢トノ結婚披露ノ宴ニ臨ム 式ノ後媒酌人タル鍋田銀三氏主客ニテ祝杯ヲ上ベ 余ハ千秋丸ニテ帰ル

十一月十三日 金曜 曇少シ寒

午前十一時ヨリ社

午後一時陸軍服装部員 江川二等主計ニ改行中各支給ニ付説明ヲ聞ク

会ス 時半ヨリ各省部社長ヲ部報社ニ訪ヒ重役会

午後一時半服部金太郎氏ノ招待ニヨリ 精工舎ニ於ケル同氏ノ祝賀会ニ臨ム

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半出社
午後一時半同社ニ於ケル三井会社ニ於ケル会社ニ於ケル商議ニ付キ
協議スル処アリ渋沢子爵宅ニ於テ重ネテ
協議スルコトヽス
三時帰社 青木常務ヲ招キテ今春英国ニ於ケル
統制部ニ於ケル会社ニ於ケル意見ヲ聞ス
松田製鉄常務ヲ招キテ今回ノ合併ニ対スル詳細ノ
意見ヲ聴取シ尚ホ之ニ対スル各自ノ意見ヲ聴取シ
タリ 四時半退社帰宅
昨午ノ本日須田首相遭難
朝少ク驚キ且ツ悲ムベキ事ヲ思ハサル者ナシ
ト雖モ此ノ日ヲ以テ

朝天ナリト見込タル天候モ朝ハ晴トナリ十一時前ニハ
日光ノ輝ヤカリ一時頃ヨリ後ハ曇天トナル 渋沢十爵
ノ森伐ハ此日青山本場ニ於テ行ハタリ天候ノ一
時回復セルモ午前ノ有様ノ為メ遂ニ中止ヲ得
ベシ午後ノ事伐ハ十時ヨリ公衆ニ行ハレ一般ノ参列
ハ一時ヨリ三時迄ノ間ニ行ハレタリ 余ハ連日ノ疲労ヲ
医セン為メ翌十時迄休ミタリ一時頃各別荘ニ会葬
又車ヲ外苑ノ青山通口ニ止メテ徒歩ノ為メニ其外迎速
ニ往返スル事ヲ得タリ仍テ倫其ノ筆ヲ執テ別ニテ条
野ニ於テ庭ヨリ切出シ余ノ幕ロ賛キタルノ千駄
森伐ニテアリシテ 本日ハ同ノチームト日本橋チームト
ノ間ニ催サレタル外野ニ於ケル野球ノ会ニ於テ挙行セラル
辞ニ移シキ事ヨリ一時半帰ル 六七分毒ハ美
会迄ニ吉祥寺ニ於テ庭内ニ紅葉ヲ観賞ス 桜樹ノ如シ
昨日ノ雨以前三四日ハ一段ノ美観ヲ呈セリ

ト云ヒ合ヒテ夕飯ヲ終テ六時半帰途ニ就リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 曇

午前十一時十分社ヲ出デ大井ヲ視察セラレタリ

午後一時製鉄会社期末決算重役会ニ臨ム案ヲ議決シ本月二十日午後一時ト定ム

午後一時半製鉄会社ノ案ニ係ル商工大臣ノ褒賞ノ辞ヲ三井ノ団理事長ニ伝フ

四時半ニ返ス

天候 晴

工業倶楽部理事会ニ出席

午前

午後四時半ヨリ新大阪ホテルニ於ケル日本工業倶楽部理事会ニ出席

午後六時半ヨリ帝国ホテルニ於ケル日本工業倶楽部理事会ニ出席

午後十時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴 曇 雨

午前十時相田健治氏来訪一寸面会家内と春子十一時半社ニ行ク午後三時半ニ帰宅

午後七時半ヨリ常会ニ出席

十九日

晴 曇 雨

午前十時相田健治氏来訪一寸面会家内と春子十一時半社ニ行ク午後三時半ニ帰宅

午後七時半ヨリ常会ニ出席

清国軍事顧問として袁世凱に招聘される（明治四十一年）　東京開成館に付属民間高等商業学校を創立（明治四十二年）

晴 曇 雨

午前十時相田健治氏来訪一寸面会家内と春子十一時半社ニ行ク午後三時半ニ帰宅

午後七時半ヨリ常会ニ出席

留守中来訪の下に線を引ける訳

帰一幸枝子（文政一〇）　新聞開進（明治二）　三十歳のハツケンゼン氏ゴカ大学総長に就任（四和四）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

朝十一時半社理事会出席来屋地所和裁きり
来義者ノ嫌疑ヲ以テ理事及幹事ノタイピスト名
一名ヲ被疑者トシテ取調ベタリ
午后一時高知重役会ニ列ス先ヲ社長ノ名代ニ
出席ス（高知ニ一泊）
午后七時半ヨリ重役会ニ臨ム
三野副社長ノ音頭ニテ八時半帰宅

二十日会 午后六時
於内ポン小屋
幹事 武田中村

浙

曇ノち雨

岡山、長島愛生園（癩病療養所）ヲ訪ヒ
演劇 二十、二十一日
岡山ヨリ武田健輔ヨリ

浙

午前十一時半社
社長ヨリ
午后三時ヨリ
三野副社長ヨリ家庭事情ヲ聞ク
午后三時半ヨリ
午后五時半ヨリ
祖仙泊
鈴唐津小笠原（伯爵）ヨリ
ハ筆ヲ愛快ニ
若松来ル会社ニ
ヨリ

発信 箱根 雲
受信

発信 日本文豪の保全 九州会報 五件半 料
受信

発信 松方公爵夫人死去 午後五時半 箱根行
受信

本日午前壽美子ト箱根ヨリ帰ルトシ春枝ハヲ失発セシム
午時吹壽美子何夫人ヨリ報ニ松方夫人昨夜逝去ノ
報ニ接ス余ハ直ニ全部ニ非ス正作君ニ手紙ヲ送リ来リ
会ヲ乞ル旨ヲ報ス、野村部ヨリ命ニ依リ悔ヲ述ベ午餐ヲ
共ニシ一時半辞ス
別ニ事件ハ無ケレ共午後ヨリ談ズルヲ以テ午後五時半ノ汽車ニ
壽美子ヲ伴ヒ箱根ニ向フ五時半強霧雨着未ダ夜ニ入ラズ
ト雖モ霧ノ為メ見ル事ヲ得ザルモ宿ハ福住ニテ
高キヲ以テ壽美子ヲ安堵セシム晩餐ヲ共ニス

農商務省大海軍地理水路局江戸城内石垣・堀・諸門諸橋等ヲ撮影スル事ヲ禁ズ（元禄一六）　全部禁写真撮影ヲ禁ズ（昭和四）

発信 箱根 雨
受信

発信 午後六時十分 中里驛発着
受信

八時松方邸ニ通夜ニ参リ

本日ハ新潟奈ノ大祭日ナリ 十一時頃ヨリ雨降ル
午後二時十分ノ電車ニテ壽美子ト共ニ春枝ハ
下山シ時ニ十九分小田原発着ニテ六時十分東京驛
着帰宅ス晩餐後和服ニ改メ松方邸ニ参キ晩餐ヲ
夫人ノ通夜ヲナス十一時帰宅

女流作家随筆一集ヲ発行ス年二十五銭（明二九）　北海道大凶害全国義金届不届（四和四）

十一月二十四日

天氣 晴 寒暖 昨日

午前十一時三菱銀行重役會ニ臨席午餐ヲ共ニス
出仕下ノ通悼會ニ午下ノ懇談會ニ出席ヲ斷リ午後一
時半松方家ニ到リ故十夫人ノ告別式ニ參列ス式ハ
肅嚴ニ行ハルル筈ヲ十時ニ到ニハ會葬者甚多數
ナリキ並ニ父姉妹ノ夫女ニ生レ松方家ノ夫人トナリタル人
ノ最後トシテハ一種ノ感ヲ催ハズヲ得ス後庭散ハ概ネ省
ニ歸リテ夫ヨリ午睡セリ

四時半歸宅改世表六時金田中ニ於ケル石炭鉱業聯
合會ニ午前ニ參會ノ筈ニ付是時歸宅會長ハ
麻生太吉氏ニ代理ニ出席ヲ依頼セリ

午前十時 松方家葬儀

午後六時 金田中 訪

午後六時 悼會

石炭鉱業聯合會
十一月二十四日 午後六時 金田中

故松方十夫人逝悼會
松方家 二葉リヲ

午後六時 悼會

十一月二十五日

天氣 晴 寒暖 昨日

午前十時三菱銀行重役會ニ臨席午餐ヲ共ニス
出仕下ノ通悼會ニ午下ノ懇談會ニ出席ヲ斷リ午後一
時半松方家ニ到リ故十夫人ノ告別式ニ參列ス式ハ
肅嚴ニ行ハルル筈ヲ十時ニ到ニハ會葬者甚多數
ナリキ並ニ父姉妹ノ夫女ニ生レ松方家ノ夫人トナリタル人
ノ最後トシテハ一種ノ感ヲ催ハズヲ得ス後庭散ハ概ネ省
ニ歸リテ夫ヨリ午睡セリ

四時半歸宅改世表六時金田中ニ於ケル石炭鉱業聯
合會ニ午前ニ參會ノ筈ニ付是時歸宅會長ハ
麻生太吉氏ニ代理ニ出席ヲ依頼セリ

午後六時 金田中 訪

午後六時 悼會

石炭鉱業聯合會
十一月二十四日 午後六時 金田中

故松方十夫人逝悼會
松方家 二葉リヲ

午後六時 悼會

十一月二十五日

天氣 晴 寒暖 昨日

午前十時三菱銀行重役會ニ臨席午餐ヲ共ニス
出仕下ノ通悼會ニ午下ノ懇談會ニ出席ヲ斷リ午後一
時半松方家ニ到リ故十夫人ノ告別式ニ參列ス式ハ
肅嚴ニ行ハルル筈ヲ十時ニ到ニハ會葬者甚多數
ナリキ並ニ父姉妹ノ夫女ニ生レ松方家ノ夫人トナリタル人
ノ最後トシテハ一種ノ感ヲ催ハズヲ得ス後庭散ハ概ネ省
ニ歸リテ夫ヨリ午睡セリ

四時半歸宅改世表六時金田中ニ於ケル石炭鉱業聯
合會ニ午前ニ參會ノ筈ニ付是時歸宅會長ハ
麻生太吉氏ニ代理ニ出席ヲ依頼セリ

午後六時 金田中 訪

午後六時 悼會

石炭鉱業聯合會
十一月二十四日 午後六時 金田中

故松方十夫人逝悼會
松方家 二葉リヲ

午後六時 悼會

十一月二十五日

天氣 晴 寒暖 昨日

午前十時三菱銀行重役會ニ臨席午餐ヲ共ニス
出仕下ノ通悼會ニ午下ノ懇談會ニ出席ヲ斷リ午後一
時半松方家ニ到リ故十夫人ノ告別式ニ參列ス式ハ
肅嚴ニ行ハルル筈ヲ十時ニ到ニハ會葬者甚多數
ナリキ並ニ父姉妹ノ夫女ニ生レ松方家ノ夫人トナリタル人
ノ最後トシテハ一種ノ感ヲ催ハズヲ得ス後庭散ハ概ネ省
ニ歸リテ夫ヨリ午睡セリ

四時半歸宅改世表六時金田中ニ於ケル石炭鉱業聯
合會ニ午前ニ參會ノ筈ニ付是時歸宅會長ハ
麻生太吉氏ニ代理ニ出席ヲ依頼セリ

午後六時 金田中 訪

午後六時 悼會

石炭鉱業聯合會
十一月二十四日 午後六時 金田中

故松方十夫人逝悼會
松方家 二葉リヲ

午後六時 悼會

十一月二十五日

天氣 晴 寒暖 昨日

午前十時三菱銀行重役會ニ臨席午餐ヲ共ニス
出仕下ノ通悼會ニ午下ノ懇談會ニ出席ヲ斷リ午後一
時半松方家ニ到リ故十夫人ノ告別式ニ參列ス式ハ
肅嚴ニ行ハルル筈ヲ十時ニ到ニハ會葬者甚多數
ナリキ並ニ父姉妹ノ夫女ニ生レ松方家ノ夫人トナリタル人
ノ最後トシテハ一種ノ感ヲ催ハズヲ得ス後庭散ハ概ネ省
ニ歸リテ夫ヨリ午睡セリ

四時半歸宅改世表六時金田中ニ於ケル石炭鉱業聯
合會ニ午前ニ參會ノ筈ニ付是時歸宅會長ハ
麻生太吉氏ニ代理ニ出席ヲ依頼セリ

午後六時 金田中 訪

午後六時 悼會

石炭鉱業聯合會
十一月二十四日 午後六時 金田中

故松方十夫人逝悼會
松方家 二葉リヲ

午後六時 悼會

天候 晴 寒暖

往信 来信

故信 受信

観菊の宴、新宿御苑ニ於テ

午前九時五十分出社

正五位叙位ニ関スル件ヲ閣議ニ於テ決定ニ付キ、銀杯一組特別ヲ以テ賜金ニ其旨申送ル

社長十一時出社ニ付キ十二時退出

十二時十五分 寿美会道 観菊ノ御宴ニ陪スル為メ新宿御苑ニ参入ス 当日ハ大木子爵ヨリ御招待ヲ受ケタルヲ以テ午前十時ニ参内シ、直ニ陸軍大将ノ服ヲ着シ、馬車ニテ参入ス 午後一時ニ宴終リ、直ニ帰宅ス

天候 晴 寒暖

往信 来信

故信 受信

日本興業銀行総会ニ付午前十時工業倶楽部ニ参会

郵便物

午後二時ニ帰宅

午前十一時出社 神戸ノ島支店長未ダ出京セザルニ付キ、来訪ヲ待チ居リタルニ付キ、相談ノ為メ神戸支店ニ電報ヲ以テ相談セラルベキ事項ヲ通ジ、相談セラルベキ事項ヲ電報ス

午後二時家庭事情ニ付キ男爵ヲ訪ヒ、夜ニ入リ帰宅ス

午後七時ヨリ帝国商業銀行総会ニ列ス 無事ニ終了ス

午後七時ヨリ帝国商業銀行総会ニ列ス 無事ニ終了ス

午前十一時出社 神戸ノ島支店長未ダ出京セザルニ付キ、来訪ヲ待チ居リタルニ付キ、相談ノ為メ神戸支店ニ電報ヲ以テ相談セラルベキ事項ヲ通ジ、相談セラルベキ事項ヲ電報ス

午後二時家庭事情ニ付キ男爵ヲ訪ヒ、夜ニ入リ帰宅ス

午後七時ヨリ帝国商業銀行総会ニ列ス 無事ニ終了ス

午前十時五十分出社

正五位叙位ニ関スル件ヲ閣議ニ於テ決定ニ付キ、銀杯一組特別ヲ以テ賜金ニ其旨申送ル

社長十一時出社ニ付キ十二時退出

十二時十五分 寿美会道 観菊ノ御宴ニ陪スル為メ新宿御苑ニ参入ス 当日ハ大木子爵ヨリ御招待ヲ受ケタルヲ以テ午前十時ニ参内シ、直ニ陸軍大将ノ服ヲ着シ、馬車ニテ参入ス 午後一時ニ宴終リ、直ニ帰宅ス

日本興業銀行総会ニ付午前十時工業倶楽部ニ参会

郵便物

午後二時ニ帰宅

日本興業銀行総会ニ付午前十時工業倶楽部ニ参会

郵便物

午後二時ニ帰宅

日本帝国工会浅川会頭葉山来訪会談ス 午後六時散

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十一月二十八日

午前十一時ヤ社ヘ日十時ヨリ失礼未断止奉賀今
アリタルヲ社ヘ面会ノ為メ席ヲ更ムヤ社ヘ面会ヲ
ヲ断ハリ帰ヘ有志ヘ面会ヲ
午後当時工業倶楽部ヘ御国大礼根津中島平
田倶玄武等ト会合恤兵金募集ノ為メ国ヲ主メ
日華実業、工業倶楽部、東京商工会議所、銀行
倶楽部四団体ヲ三団体トスル事ヘ決シ美キリ国民
ト共ヘ三万弐千余五百円ヲ醵出シ事トス
而ヲ終ヘテ午后五時ヨリ工業倶楽部ニ於テ
六時来客会ヘ催サレタル仙石貢氏ノ三十日条ヘ
除ク相撲人ヨリ挨拶ノ為メ列ス会スルモノ百人許ニ
人ヘ縁故深キヲ以テ大養、町田、田中、櫻内、小泉俵井
ニ(原ママ)右川、郷村国次等ノ連中見エ大養氏来着ス
トヨリテ依テ八時ヤ帰宅

此夜忘ヲヤ雇メシヲ新川美介ヘ

比ノ櫻内前相、幸助氏ヘ史辞職勧告ノ有無ヲ記ス

もろ川がのはるかなる野辺の霞がたの道の白いつらなり　尾野一雪

十一月二十九日

天晴

土方ノ倅、甘粕手奉ト
牧師ヲ訪ヒ
茶
栗久保ヲ訪ヒ夜
一人酒

刑天会夜宴屋川
茶ニ寄ヲ後九時
辞

午前明夜迄メタル 土佐中候父(帝大在学ニシテ
百七拾弐名ヲ加ヘ百六拾四年八会ヲ并ニ会地正建物六棟
ヲ会ヲ五百円ヲ以テ会ヲ売却ス 豊四郎ヨリ養反
ミカン、ル市類壱箱ヲ以贈来 毒笛毎便ヲ発送
ヲ受取金ノ処置ヲ大々相談スル処アリ
金五百円ヲ金、 神頼勧次郎ヨリ我輩ヲ訪ヒ
各金四百円、学校ノ子供、直善ノ子供、準子、章治、
梅ノ木供、ヲ名ノ 建碑金拠、
午後三時ヨリ方久徴氏共男久雄ト伯世踏事委
氏二ヶ寿ヲト告婚披露ノ為メ来京会談ヲ為ス
的ハ串田氏ヲ仲ヲリ会席宏策遊三及各務位吉
右田忠三夫婦四時帰宅
寿美八仲ヲリ新川春ヲ会遊三越、割ヲ川口
奏ヲ訪ヲ見六時頃帰宅

日ぬうけにあらはにほし振る山　鷹女

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気 晴 摂氏 華氏

受信 発信 受信

日本航空輸送会社
次会
午前十時発行銭、

午前十一時十分北社々長と面会二七川南半会談り
其ノ外支障無り情況了解取ス
午後一時発銭会社ノ株会ニ臨ミ出社八万余圓ノ株
権ヲ売渡ス
午後四時二十分辰出松生と立寄り先方ニ於テ八合会ニ
臨ミ九時半帰宅
着月も七日を終るの紅葉かな

其楽倶楽部
北海道遠軍地ニ為メ金弐千圓也ヲ支出シ二葉
倶楽部ノ勝ヲ祈ル



師走・極月
春待月

ゆるき出る汽車追うて乗る師走かな　陽炎女

大雪 八日（前十時四十一分）
冬至 廿三日（前四時三十分）

下弦 三日　●新月 九日
上弦 十七日　○満月 廿五日

雪また雪に閉ざされし北海の荒木の小屋に一字こもる漁夫たち。
漁場の春のあかり淋しく、氷山となって吹えり、氷山となって吹き流し、霧は湯気となって吹き流し、霧は湯気となって吹き流し、霧は湯気

発信	受信
晴	

朝十時中島侍医次女来訪 政況ノ報告アリ
正午出社
枢府参与官見
午後二時閣議 閣相官邸ニ於テ 枢府参与官会 列席
ス 畢テ 特別奉賛会ニテ決定ノ金壱万円ヲ 摂政宮殿下ニ
上呈ノ案ヲ通リ可決 三時五十分退出帰宅
木梅ノ松ヲ植ユ
木村ヨリ葉ヲ堆ク 延年
和ノ緑花柱ヲ(十月十五日)寿美準備ニ要決シ
共葉巻札廣渡雪山業月夜山水 枝物法本(五枚共同)
ヲ 配ラシム

発信	受信
晴	

自分誕生日
午前十時内閣官邸ニ於テ 兼テ設置ノ事業防止特別委員会
ニ臨ミ 枢府ニ於ケル事業防止特別委員会ノ模様及ビ社会ノ
実況ヲ聴取シ 北道 并 青木ノ事ニ於テハ未作不作ノ
情況ヲ聴取シ 十二時十分退出ニ社
社ニ於テ木村林次郎氏ニ面会シ 午食ノ知ラリ
午後二時国民新聞社ニ於テ 創設者ノ談作者ノ懇
来訪
来宅 座右ニ於テ 御下賜ノ 昨今両日ニ亘リ 来ル人絶ヘ
間ナク 収容セラル 名刺 受ケ 午後ヨリ タイピストノ 前来ヨリ
帰宅
事務 頗ル 来客ニテ 誕生日ヲ祝フ 左ノ人ヨリ 祝電ト
其ノ 神戸 蒲鉾 (一本) ヲ 贈リ来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 計 欠席 遅刻 早退

社會の今日

午前十一時半ヤ社
午後四時退出ノ筈ニテ松田貞心翁ト
ノ新モヤ契約ノ件ニ付製鉄会社関係ノ重役
連中ヲ招キ武田、青木、三谷川、坂本、川村三氏
ノ外ニ松田翁ト共ニ座ヲ占メ茶菓ノ饗應ヲ
受ケタル後チ木挽町山口ニ到キ会食
ノ上春楽ニテ芭蕉扇ノ連中ト列ス全ク春楽ノコワ色
ト云ヒ松坂ト云ヒ余ハ嘗テ斯ル遊興ニ耽リタル事
ナキヲ以テ甚ダ辟易セリ
トモアレ十時半帰宅

太陰暦を太陽暦に改む(北日を以て六年の一月一日とす(明治五)　閣議諸儀内示昏睡止に決定す(昭和四)

天候 晴 寒暖 計 欠席 遅刻 早退

社會の今日

朝十一時ヤ社
午後青木常務ヨリ呈ス
招キ
松本正治ヨリ見舞ヲ受ケ
武田電機会社ト会見会社ヨリ会社
三時退出ノ筈ニテ朝鮮ニ
東京ヨリ
観世ニ帰宅
帰宅スルヤ
赤星氏ヨリ
右報アリ

京都大仏殿焼失(慶長七)　鎖八二百銭名義貨幣法廷で意義す(昭和四)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣	寒暖	雨量	發	着	受
晴					

午前十時家庭事務ヲ終リ茅町男、社友及余合合社規ノ制定ニ付相談ヲコヽロミ茅町男自署ノ綱領ノ草案ヲ清取ル午後之ヲ青木幸作ニ渡シ成文トナス筆ヲ擱ク午後會議ノ為メ出社ス大要ヲ話シ置リ今朝打合セノ午後三時三谷鈴業會長ヲ招キ船田氏事務所内ニ於テ會ヲ開ク昨日打合セノ通リ來ル廿日ヨリ高岡民會ヲ開催スル事ニ決シ午後五時半去

午前十一時々社
午後二時創業紙会社本社ニ於テ開カレタル全社員会ニ臨ミ来ル来ル来ル後江戸川工業所、大阪
植林井ニパイロプール雛話創立事務所立腹南豊辰
今夕全社会長ヨリ慰労ノ為メ会食ノ案内アリ出席ス
午後五時ヨリ帰宅ス
午後一時ヨリ引続キ臨時株主総会ニ列席ス
午後五時山ニ開カレタル日会ニ臨ミ幹事ニ上介久徴及藤山雷太ノ両氏ニ未着ハ帝保海相ヨリ晩餐後満ノ肉腫ニ付意見ヲ文書ニテ求メラレタル件ニ付
午前十時半明治神宮社務所ニ於テ宮司有馬良橘氏ニ海軍大将加藤友三郎氏ノ霊璽奉遷祭ニ参列ス
一時ヨリ催サルヽ外苑野球場及水泳場奉献奉告祭ニ明治神宮奉賛会理事トシテ列席ス
不在ニ付上程事件ハ式ハ形ノ如シ
午後一時ヨリ行ハル余等件ハ殿ノ通リ
次ニ午後ハ会ハ直ニ運ス
会開ニシテ臨時総会ニ分ニ
午後一時ヨリ引続キ臨時株主総会ニ列席ス
午後五時山ニ開カレタル日会ニ臨ミ幹事ニ上介久徴及藤山雷太ノ両氏ニ未着ハ帝保海相ヨリ晩餐後満ノ肉腫ニ付意見ヲ文書ニテ求メラレタル件ニ付

晴天
明治神宮外苑野球場
拡張工事及水泳場
奉献奉告祭
午前十時半社務所
ニ集合
出席ス

八日会山口福
原山ニ集合

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半社
本日ノ夫来稲正ニ参会ハ口実ニテ断リタル
午後三時帝国ホテルニ於ケル福沢家内輪招待ノ茶ノ会ニ臨ム寿美会過ヨリ新郎ハ板橋次郎氏次男坦次新婦ハ久綱男三女綾子ヨリ媒酌ハ徳田氏夫妻ニ依ル
三時ヨリ
来会者百人
四時十分茶会ヲ終リ隣ノビルヲニヤカンテ夜五時
来宗会
散ス祝ケル大橋新太郎六男達雄馬越恭平ノ
孫女達子ノ結婚披露ノ宴ニ臨ム媒酌ハ徳大寺侯爵夫妻ニテ代表ニテ伏ス盛会ナリ来会スル者五百人ヲ超ユ然ト雖ドモ家分者ヨリ伯爵浅野長勲氏、小三郎ノ夫妻ノ外ハ親戚ノミニテ会場ニ
帰宅ス

午前十一時半社ヘ出、社規ノ草案ヲ示ス
午後一時電務会社重役会ニ列席
午後九時金田中ニ寄リ芳賀矢一氏ヲ訪問ス
談話ニ、那件ニ付テハ、後方前田侯爵ヨリ、九山前総裁ニ、大塚専務ヨリ交渉ヲ為シ居ルヲ以テ、
本日ハ特ニ相談ヲ為ス必要ナシト
ノ事ニテ、帰宅ス

曇

午前十一時出社、昨日ノ決議ニ依リ小笠原、
清水両氏ニ対シ辞職ヲ勧告ス、
午後一時半ヨリ日比谷公会堂ニ於ケル
市民大会ニ出席ス、
午後七時半ヨリ青木常務ト会見ス、
午後十時半ヨリ日比谷公会堂ニ於ケル
市民大会ニ出席ス、
午後十一時半帰宅ス、

晴

午前十時出社、
午後一時ヨリ重役会ヲ開キ、
午後三時ヨリ重役会ヲ開キ、
午後五時ヨリ重役会ヲ開キ、
午後七時半帰宅ス、

晴

午前十時出社、
午後一時ヨリ重役会ヲ開キ、
午後三時ヨリ重役会ヲ開キ、
午後五時ヨリ重役会ヲ開キ、
午後七時半帰宅ス、

電報 發 着 受 信

電報 發 着 受 信

井上三郎侯爵夫人
十代子病気

朝来雪模様ナラント降リ来ル
昨夜八時過ヨリ大雪ト為政友会 犬養毅
伏竟兼外務大臣
内相 中橋徳五郎 蔵相 勝田主計
法相 鈴木喜三郎 逓相 元田肇
鉄相 床次竹二郎 農相 山本悌二郎
司相 前田米蔵 文相 鳩山一郎
拓相 秦豊吉 陸相 荒木貞夫
海相 大角岑生
久条ハ所々内閣ノ組レザルヲ以テ憲政会ヲ断リ
且勢事共ヲ持ス而シテ今朝ニ至リ遂ニ
来朝十一時ヨリ会中村宅ニ料ル筈ニ
寿美ハ正午井上家ニ葬儀ニ犬列ノ為メ侯爵邸ニ到リ
九日以来全人ハ毎夜通夜ノ為メ午近ク退会邸ニ宿セリ

電報 發 着 受 信

電報 發 着 受 信

昌雲
元侍会大橋新太郎氏
新年祝宴ニ後四時
本邸ニ来ル。

昨日午後四時中村宅料ニ到リ夜半十一時頃迄ニハ入室
出来リヤ否ヤ ニモ十二時過ヤ寸前ニ
半中村宅ニ到キ始メテ入室ヲハメタリ漸リ朝飯ヲ
十二時半ニ社ニ長ト面談ス
午後一時ヨリ紀室役会 休会中ハ松村一郎氏
高市役所ニ詰リ同紀ニ来ル置土不在ノ為メ市役所
ニ今朝登会ヲ為ス
会午時 紀室役会社室役会ニ於テ
午後四時新年祝賀ニ私ハ元侍会大橋新太郎氏明年
ヨリ新年ニ付六十ヨリ以上ノ人ヲ招待スル会ニ出席
九時半帰宅セシ夕夫婦、児ニ一所ニトリ一膳取ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信 発電 一般 記事

発信 発電 一般 記事

発信 発電 一般 変信

発信 発電 一般 変信

発信 発電 一般 記事

発信 発電 一般 変信

発信 発電 一般 変信

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣	晴
寒暖	
記事	

發信	受信

越天ル会議ス可キ筈
夫ヨリ春夏会
午後一時半 新

壽美重丸

正六夫帰ル中野ニテ通夜ノ九時帰宅入浴後ニ就リ
十時半壽美中野ヘ帰リ
土一時心社
午後一時半小松旅館ニテ昼食リ明日ノ打合ヲ済リテ
中野ヘ帰リ暫ク休ミ再ビ帰リ整頓セリ
八時医者ノ時帰宅正六夫帰ル夜半帰宅壽美
残リテ通夜ス

天氣	晴
寒暖	
記事	

發信	受信

千葉種畜令
午後春蚕合敏
新

立奈ばあ
午後八時

朝八時壽美中野ノ通夜ヨリ帰ル会社ニ一時ヲセリレ
トアリ
十時正六夫帰ル中野ヘ余ハ十一時ヨリ社ニ直ニ理事会ニ出
ミ社務ノ要実報告ヲ付助言スル処アリ
後刻文夫ヨリ引続キ富田幸次郎氏来訪会氏今回ノ
行動ニ対シ非難ノ点ヲ知ラセ之ヲ謝シ将来ヲ望ノ様ハ氏改革一致ノ為メニハ氏方脚下便利ナル可シトニ
望ヲ述ベ会氏ノ来訪ノ今項ニ付スルヨシ依テ十リシト答
ス
三時中野ヨリ母ヤカ六人ヲ引ツレ家政婦ノ矢道ヨリ
キヌノ来ル明ハリル様注意ス処アリ八時心振ノ天
幕ヲ張ル準備外指揮ス人数減ジ集ル壽美ハ
五時頃見ニ十時頃帰ル夫帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 記事

大日本山林会
本日林産物商取
扱ニ関シ鉄鎖鉄索販
売斡旋ノ為メ会堂
ニ於テ協議会ヲ開
キ候ニ付

会堂 午後一時

朝来八ツ仕合セニ差付ノ天気ニ
テ午時ニ十一時ノ間ニ土井山脊場ニテ執行
ハ時中野、斗牛桂ニ宿従シ余夫婦ハ九時青山ニ
斗牛着宿ヲ待チ会葬者五百六七十名ニ後
桜ハ直ニ葬会ニ葬場ニ送リ茶見ニ附ス 余夫婦正
六ハ中野ニ
カヘル三時半始ヒ 直ニ朝ヲ出シ四時半帰宅
十時ニ斗牛法要ニ行シ二時半帰宅 正六夫婦
ハ其時帰宅ス 十人共ニ
正六夫婦宅ニ於テズルザー来訪ノ為メ祥寺ニテ
ノタメ宅ニ 一寸ニ
ノ業ス
産業会理事ヨリ午後

天候 曇 寒暖 記事

和田村青年団
総会降雪ノ為メ
延期
九ツ半
正午

朝九時頃午後一時ヨリ
ニ日又換ル
池田町ニ高倉四伴投票ニ帰リ五井ニ
ノ針ヲ教ヘタル注意ス
久保、春十歳春、投票ニ来ル
帰リテ着午セル準備ノ土工本日落成
支那水害会協会ヨリ
ノ為メ金十円ヲ
出ス来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 記事

小野幸作殿宿衣
昨夜八ツ半
荒木陸相官邸
訪川ノ如来

社長ヘ面会社規実行
ノ手筈ヲ打合セタリ
新ニ青木大幸ヲ以テ幸格社長ヲ会議ニ列セシ
ムル事トシ針業・船出等ノ事ヲ本社理事ニ関係
其ヨリ夫々仰出ヲ以テ船ヲ以テ村上平取係役ヲ
会ニ招行ノ筈
新ニ青木大幸ヲ以テ信次氏就任ノ筈ニ決ス
島次ヨリ返信ニ依リ之ヲ諾ス 権七
午後四時半荒木陸相官邸ニ到リ三井ノ国氏ヲ乗リ合ス
今八時半荒木陸相官邸ニ到リ三井ノ国氏ヲ乗リ合ス
夜半近ク漸ク帰宅ス 模シ十二時半寝ニ

天氣 雪 寒暖 記事

中央病院ニ社員会
工業倶楽部
土用掛ケ
割銭ニ重役会
工業倶楽部
午後六ツ
新ラ賀紙ニ付会

朝十時永井柳太郎氏来訪会ス 打合ス
十一時ヨリ社ニ長会ニ出会ス 打合ス
三作常務理事ニ出ル三菱猪俣会社 室岡支店ノ件ヲ
午後ヨリ社ニ出ル 来ル三井会長ノ代リニ
三菱氏ノ代表理事、郵村常務代リニ 平井南平
氏来、永楽屋盛岡ノ代リニ 打合ス

午後新銭三号両式ヲ把キテ其写ヲ傳ヲ
会ス 時牧山新代氏 桜杉ヘ来ル
午後七時製銭ニ重役会ニ列ス
午後四時半退出ヨリ 牧 岩清六氏遺志ヲ
聞ク帰信ヲ三個所 夏幸ヨリ 余ハ木刀一振ヲ入ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖計

錦水 自分が病人

木下英太郎氏實弟太郎、日比谷一角休十枚十箱物拉拉ト來宗會銀九枚半 到

午後二時頃

風邪處方指相ト會見休ム來訪

余ハ是迄見ル症例ト長ハトラハ迄清潔ナル事ハ

朝十時半突然大阪ノ池田仙人馬氏ヨリ用談ハ毋（手紙）ヨリ備入ル金五十円（七利十點備）我宇前五円備ノ（四之ヨリ

此郵便ヲ以テ送ル一此手紙ハ仙人ヨリ公錢ヲ以テ送ルモノナリ）正午ノ汽車ニテ來訪ス 昨日午後ヨリ風邪ニ罹リ病床ニ伏シ休ム不手ヲ休ムトスルヨリ余ヲ訪ヨリ其不心得ヲ論ス 仙人ハ一時間餘ニシテ去ル 仙人ハ妻ヲ失ヒ殘リテ本社ヲ經營セラルヽモノナリ

十一時二十分ニ社ヲ出發 會ハ三谷事務所ニテ日本生命ト會見ノ報告ヲ聞ク 次ニ吉方ハ郵便局ニ到リ貯金ヲ引出シ

天候	気圧	温度	湿度	風向	風力	雨量
雨						

朝曇り正午頃より小雨降り一時晴 櫻様すりした
三時頃より本降りとなり
午前十時より市役所にて市葬執行会有之候処
午後一時より田前農相より松時半頃会見申来りこそ参来
其外午後より御会にて 朝松時会見ヲ約ス
今朝先ごろ美術組より 贈呈(堤(忠雄)氏の菜花)巻紙
製十枚 御太刀を振り拝受ス 代金百五拾圓 後川中期
より大物 中身ハ石刀武州照宝の作(天文年間ものと)
八幡大菩薩薄き下の部刻アリ作り見事なり
午後七時半 栄禮より母人の許に歳暮の挨拶に参り例
年の通りリストマスの菓子 刀 帯を贈る 特
等入来
市外花泉町 千駄三五三番地 水谷 薫
より氏ハ高田高台貞母、貴家と住居せしこと 池田幸田
より連中より今栗京都三ヶ所新敷五階日下部別荘に勤務ス
四時近より帰宅

天候	気圧	温度	湿度	風向	風力	雨量
晴						

朝十時町田農相来訪山口銀行室戸、用ス件ヨリ
十一時半出社ス 役室会後ハ別ニ談事ナシ
午後是松選一(深川ゴム会社ノ重役トヨリタリトノ報告アリ)
水田政吉、松村善太郎諸氏来訪年末挨拶ノ為
午後五時土佐貞作病気ニテ十息慶応在学中ノ看ヲ
遣ハス全人ニ依頼金五百圓ヲ渡ス
今三時永井柳太郎氏来訪年末挨拶ノ為
午後四時退去帰途ヒルたの美術倶楽部ニ立
寄リ照宝ノ太刀一振代金百五拾圓ヲ支拂フ
夜分赤坂区榎坂町五番地 新緑大日本実力行会内現代
名士傳記会集編纂部ヨリ電話ニ依リ本日午後五
圓ノ会ヲ部 案ニ基キ目下通ヲ中ニ付五
前南相櫻田幸雄ヲ通信ニ依リ為メ来訪
午後来訪ノ上仮ニ論社鳥内武喜氏ト金百圓ヲ
渡ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前九時半 曇 寒

午前九時半 巣林政雄氏来訪 年末挨拶ノ為メ

ナリ 面会シ久バスシテ帰ル

午後七時寿美ト共ニ吉祥寺ニ到ル 別邸ニ於テ

ル迎春ノ用意ヲナシ夜七時帰宅ス

一昨夜実父ノ佶俗祝ヲ為シ為メ神ヲタル山本

好文今夕帰京

中浪久次郎氏ヨリ地震ノ御見舞金弐十円ヲ恰悦分配

方青面ヲ以テ弘瀬章梅ニ届ケス

天候 晴 寒

朝寒冷アリ雷鳴シテ雪降シ午後晴天トナル

十一時半社ヘ長室会後ニ臨ム武田氏ハ所用ニテ

青木氏ハ電話ニテ欠席社長ト集田氏ト

余ノ三人ナリ 別ニ後事ナク町田氏来訪ノ趣ニテ名刺ヲ置リ

北田春吉氏夫人 本日吉祥寺ニテ午後七時ヨリ営葬

トアリキ 名刺ヲ清田歳氏ニ依頼シ香典弐拾円ヲ

贈ル午食一部氏ヲ今夏病没セルヲ以テナリ 寿ノ

三夏信托ノ役会ハ来会ナリ 閉会九分間位ニテ存条

件決

条田鎮治氏今朝病院ニテ死去 室枕養二氏来訪友

人依代トシ公吾ヲ招キテ依頼アリ快諾ス午後

四時半条田氏宅ヘ悔ニ赴キ故人未亡人其他ニ面

会ス 一五時半辞シ帰ル 田中前文相ノ葬儀会ニ悔ニ

本時帰宅ノ為メ故ニ三谷、橋本ノ二役ハ不参欠席ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴曇

正午出社
午後四時半倉橋文太及光村利之来訪半未時
別午於本百円ヲ両人ニ給與ス
机ノ掃除ニ着手
午後四時過ニ至ビル実行倶楽部ニテ茶檀巻ニ
一ヲヲ七円五拾銭ニテ購ニ帰宅帝会(例餐)
今朝中野正剛ヨリ会見ヲ申来リタルモ午内ハ多
忙ナルヲ以テ断リタリ
来京地方裁判所長西郷隆ヨリ又昭和七年度ノ裁事
調停委員ニ撰任ノ通知アリ(十月廿六日付)、

天氣 晴

今候温リ春陽ノ如シ朝十時半鳥居坂御
ヨリ福井氏御ニ歳暮ノ挨拶ニ立寄リ社々長
ト雑談ス
午後一時ニ至リ帝会社宣伝会ニ出席
午内机上ニ積ミタル書類ノ整理ヲ為ス
四時十分過ニ茅町邸ニ帰リ甲斐ノ両会歳暮ノ
挨拶ヲ為シ雑談時余辞シテ本地ニ戻ル
夕食ヲ了シ八時半ニ座敷ニ
夜分書斎ニ帰リ整理ヲ了ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

謄本
庶務課

曇 半晴 晴

欠 晴 曇 晴

原山鎮祭自治委員会
ヨリ後一時ヨリ午時迄

今朝八時日ノ出ヲ拝シ祝シ奉リ元旦ノ雑煮ヲ祝シ
ハレ連日天候ノ悪シカラザリシハ師走ノ極日トシテハ寒
ノ往今トニつつリし

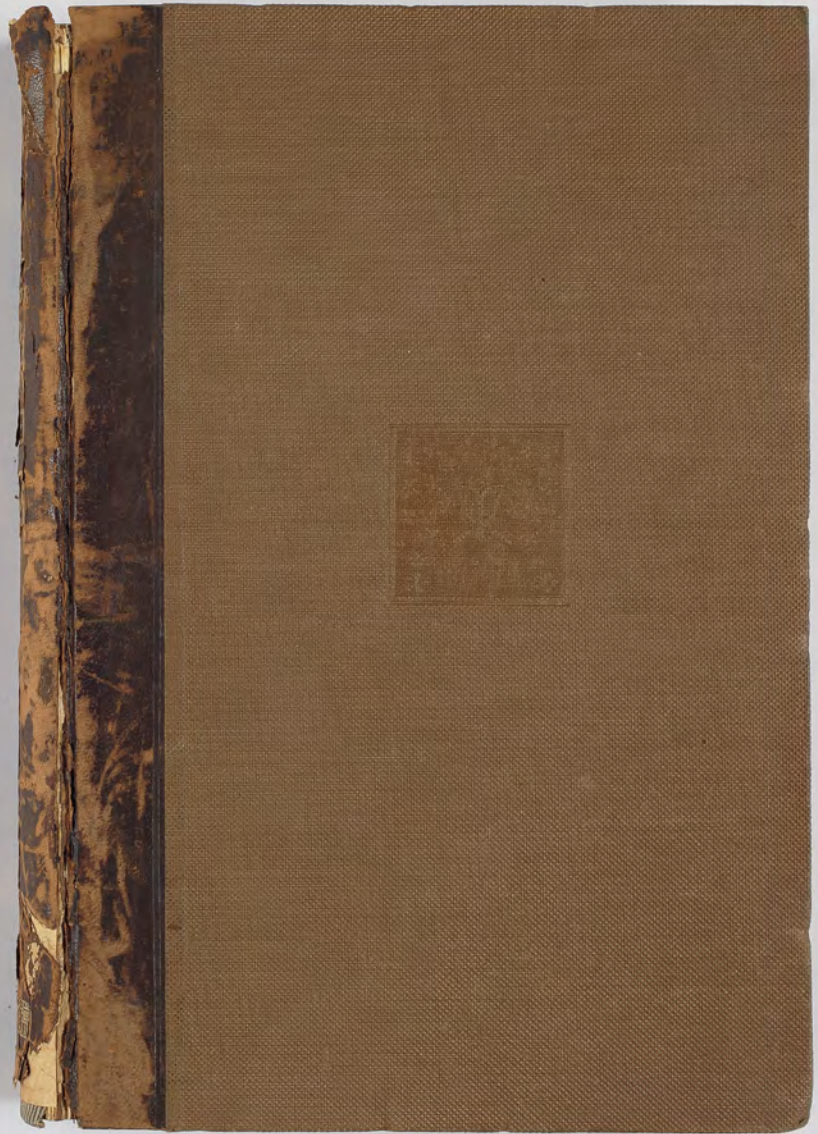
十二時七社ニ参詣ノ席上一公ニ歳暮ノ挨拶ヲ述ベ十二時
半散原田鎮守ノ祭礼ニ参詣午後五時ヨリ当別ニ
二時ヨリ終ル会兼看板五百名位ヨリ
時迄掛リ明ケ当ル兼帯ニ
分明八時半ヨリ夫婦祥ニヨリ来ル午後ヨリ
大久保ノ時頃ヨリ

散会後福井ニ寄リ

（午後のおやみも済ム）

晩ノ御作ニ御ヨリ歳暮ノ記トシテ福井庚澤ノ書
幅（保ル）ヲ頂キ夫ヨリ帰宅ス
ノ賜ラルヽヲ例年ノ如ク歳暮ノ挨拶ニ来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。